# L-04C

ISSUE DATE: '11.2

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT docomo

# ドコモ　W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式

## このたびは、「L-04C」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

**ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。**
**L-04Cは、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末永くご愛用ください。**

## FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強く電波レベルが4本表示されている場合で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本FOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- 本FOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワークおよびドコモのローミングサービスエリア以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DOCOMO and DOCOMO's roaming area.
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本FOMA端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様のFOMA端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報やFOMA端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。

本書について、最新の情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
■「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

- 本FOMA端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。
  ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「取扱説明書」をタップしてください。

# 本書の見かた／引きかた

本書は次のような方法で、知りたい機能や検索方法を探すことができます。



## 索引から　P142



機能の名称や、調べたい項目のキーワード、サービス名で探します。



## インデックスから　表紙



表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。



## 目次から　P2



目的ごとに分類された目次から探します。



## アプリケーション一覧から　P42



アプリケーション一覧から探します。

**お知らせ**

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- この『L-04C取扱説明書』の本文中においては「L-04C」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- FOMAカード（青色・緑色・白色）をご利用のお客様は、本書内に記載している「ドコモUIMカード」は「FOMAカード」と読み替えてください。

## 操作説明文について

本書では、各キーの操作を、、、、、、などを使って説明しています。
また、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

- タップとは、タッチスクリーンを指で軽く触れて行う操作です。タッチスクリーンの操作について詳しくは、「タッチスクリーンの操作」（P34）をご参照ください。

| 表記 | 操作内容 |
|---|---|
| ホーム画面で「メニュー」 | ホーム画面に表示されているアイコン をタップする |
| ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」 | ホーム画面に表示されている をタップして、表示された画面の をタップする |
| 「通話設定」▶「留守番電話サービス」 | 画面に表示されている「通話設定」をタップして、続けて「留守番電話サービス」をタップする |
| 電話番号を1秒以上タッチする | 画面に表示されている電話番号のうちの1つを長めに（1～2秒間）触れたままにする |

**お知らせ**

- 本書の操作説明は、Home selectorがドコモメニューに設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定であることを前提に説明しています。ホーム画面をOPTIMUS UIに切り替えた場合や、ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。Home selectorについては、「ホーム画面をOPTIMUS UIに切り替える」(P37)をご参照ください。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

# 目　次

## L-04Cのご利用にあたっての注意事項

- 本FOMA 端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本FOMA端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、動画の視聴などを行うと、大量のパケット通信が発生します。このため、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」などのパケット定額サービスのご利用を強くおすすめします（なお、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」をご契約の場合、短期間で上限額に達します）。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、マナーモードに設定中でも、着信音、操作音、各種通知音以外の音声（動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- 画面ロック中、画面にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「端末情報」▶「端末の状態」をタップしてください。
- ご利用のFOMA端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「端末情報」をタップしてください。
- 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」（P128）をご参照ください。
- FOMA端末のmicroUSB接続端子に、充電などのためPC接続用USBケーブル（試供品）接続を行った場合は、自動的に電源が入ります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではPC接続用USBケーブル接続を行わないようご注意ください。
- 本FOMA端末は、ドコモUIMカードが挿入されていないと通話やパケット通信などの機能を使用できません。
- 紛失に備え、画面ロックまたはパスワードを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「現在地情報とセキュリティ」（P63）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Androidマーケットなどの Googleサービスや、Facebook、MySpace、Twitterなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットУ以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本FOMA端末はモデムとしてはご利用いただけません。

# 安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

| | |
|---|---|
| 危険 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。 |
| 警告 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。 |
| 注意 | この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合、および、物的損害の発生が想定される」内容です。 |

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

| | |
|---|---|
| 禁止 | 禁止（してはいけないこと）を示します。 |
| 分解禁止 | 分解してはいけないことを示す記号です。 |

| | |
|---|---|
| 濡れ手禁止 | 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。 |
| 水濡れ禁止 | 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。 |
| 指示 | 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。 |
| 電源プラグを抜く | 電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。 |

■「安全上のご注意」は下記の7項目に分けて説明しています。

## FOMA端末、電池パック、アダプタ（FOMA充電microUSB変換アダプタ）、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

### ⚠ 危険

**高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けがの原因となります。

**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

### ⚠ 警告

**強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**充電端子や外部接続端子（microUSB接続端子）に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどの原因となります。

**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
ガスに引火する恐れがあります。

**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。**
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **FOMA端末の電源を切る。**
- **電池パックをFOMA端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

## ⚠ 注意

禁止

**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。**
落下して、けがの原因となります。

禁止

**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。**
けがなどの原因となります。

指示

**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。**
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

指示

**FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。**
充電しながら長時間使用すると、FOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

# FOMA端末の取り扱いについて

## ⚠ 警告

禁止

**FOMA端末内のドコモUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

指示

**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。**
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

**ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。**
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

**医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

**万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。**
誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

## 注意

**FOMA端末が破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

**自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
- 各箇所の材質について→材質一覧（P12）

**ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。**
視力低下の原因となります。

## 電池パックの取り扱いについて

■**電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

| 表　示 | 電池の種類 |
|---|---|
| Li-ion00 | リチウムイオン電池 |

## 危険

**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**火の中に投下しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
失明の原因となります。

## 警告

**落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

## 注意

**一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

**濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。**
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

**電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。**
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

# アダプタの取り扱いについて

## 警告

**アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**ACアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。**
感電の原因となります。

**コンセントやシガーライターソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**濡れた手でアダプタのコード、コンセントに触れないでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**指定の電源、電圧で使用してください。**
**また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。**
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：
　AC100～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

**DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**アダプタをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

**お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。**
火災、やけど、感電の原因となります。

## ドコモUIMカードの取り扱いについて

### ⚠ 注意

**ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。**
けがの原因となります。

## 医用電気機器近くでの取り扱いについて

**■本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

## ⚠ 警告

**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。**

- **手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。**
- **病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。**
- **ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。**
- **医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。**
- **自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから、電源を切ってください。**

**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。**

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。**

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

## 材質一覧

| 使用箇所 | | 材質／表面処理 |
|---|---|---|
| 外装ケース | ディスプレイ | PCシート(MR58) |
| | 上面カバー | PC+GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| | 下面カバー | PC+GF樹脂／アクリルウレタン系熱硬化塗装処理 |
| | フロントカバー | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| | リアカバー | PC+GF樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| | 電池カバー | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| フロント装飾部 | | PC+GF樹脂／アクリルウレタン系熱硬化塗装処理 |
| ハードウェアキーボード | | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |

| 使用箇所 | | 材質／表面処理 |
|---|---|---|
| ホームキー外縁 | | ABS樹脂／クロムメッキ処理 |
| ホームキー | | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| 開始キー／電源キー | | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| 音量キー | | PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| カメラ部 | | PCシート(MR200) |
| カメラ装飾部 | | ABS樹脂／クロムメッキ処理 |
| 外部接続端子カバー | | PC樹脂+ウレタン／アクリル系UV硬化塗装処理 |
| ヒンジ | | SUS 301 1/2H |
| 電池収納面 | | SUS 304 1/2H |
| 充電端子コネクタ(本体電池収納部) | | りん青銅／金メッキ処理 |
| ネジ | | Mild Steel／ZnBメッキ |
| 電池パック | 電池パック本体 | りん青銅 |
| | シール部 | 銀PET／黒つや消し印刷 |
| | 端子部 | 金メッキ処理 |

# 取り扱い上のご注意

## 共通のお願い

■**水をかけないでください。**

FOMA端末、電池パック、アダプタ、ドコモUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■**お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■**端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器を外部接続端子（イヤホンマイク端子）に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。

## FOMA端末についてのお願い

■極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45％～85％の範囲でご使用ください。

■一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■FOMA端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■microUSB接続端子やイヤホンマイク端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■通常はmicroUSB接続端子キャップをはめた状態でご使用ください。
ほこり、水などが入り故障の原因となります。

■リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

## 電池パックについてのお願い

■電池パックは消耗品です。
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。

■電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

■電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。
- 満充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として40パーセント程度の状態をお勧めします。

## アダプタについてのお願い

■充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。

■次のような場所では、充電しないでください。
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。

■強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
故障の原因となります。

## ドコモUIMカードについてのお願い

■ドコモUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■他のICカードリーダー／ライターなどにドコモUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■お客様ご自身で、ドコモUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

## Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■周波数帯について
FOMA端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次の通りです。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■

2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF：変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■Bluetooth機器使用上の注意事項
本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。

3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## 無線LAN（WLAN）についてのお願い

■**無線LANについて**

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。

■**2.4GHz機器使用上の注意事項**

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

## 注意

■**改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊪」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。

FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。

技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■**自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

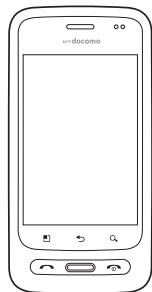
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■**基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

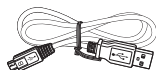
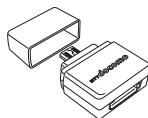
# 本体付属品および主なオプション品

## 本体付属品

**L-04C本体**
（保証書、リアカバー L21 を含む）

**電池パック L10**

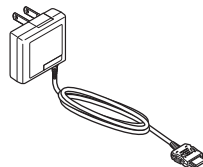
**取扱説明書**（本書）

**スイッチ付きイヤホンマイク**
（試供品）

**PC接続用USBケーブル**
（試供品）

**FOMA充電 microUSB 変換アダプタ L01**
（保証書を含む）

**microSDカード（2GB）**※
（試供品）

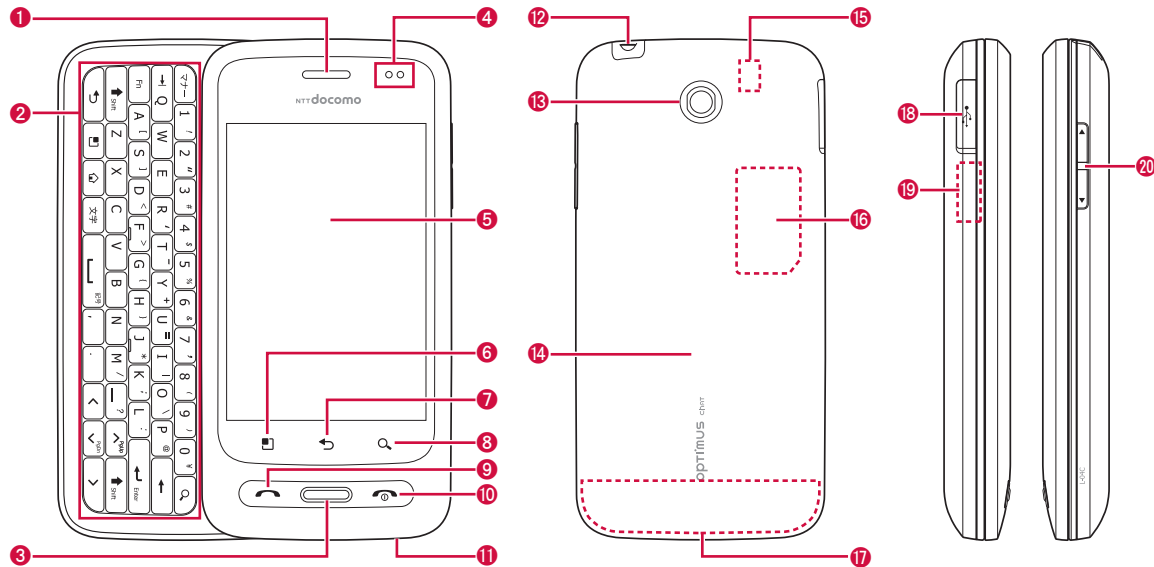
※お買い上げ時には、あらかじめFOMA端末に取り付けられています。

## 主なオプション品

**FOMA ACアダプタ 01／02**
（保証書、取扱説明書付き）

その他オプション品→P123

# ご使用前の確認と設定

## 各部の名称と機能

### 各部の名称

❶ 受話口（レシーバー）／スピーカー
❷ ハードウェアキーボード
❸ ホームキー
❹ **近接センサー**：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作が発生しないようにします。
❺ ディスプレイ（タッチスクリーン）
❻ メニューキー
❼ 戻るキー
❽ 検索キー
❾ 開始キー
❿ 電源キー／画面ロックキー／通話終了キー
⓫ 送話口（マイク）
⓬ イヤホンマイク端子
⓭ カメラレンズ
⓮ リアカバー
⓯ GPSアンテナ部（内蔵）
⓰ ドコモUIMカードスロット（本体内部）
⓱ **FOMAアンテナ部**：アンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
⓲ microUSB接続端子
⓳ microSDカードスロット（本体内部）
⓴ 音量キー

**お知らせ**

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

## ハードウェアキーについて

**本FOMA端末前面には、ハードウェアキーが6つ配置されています。それぞれのハードウェアキーの役割は以下の通りです。**

| キー | 役割 |
|---|---|
| メニューキー | このキーをタップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。 |
| 戻るキー | このキーをタップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。 |
| 検索キー | • ホーム画面でこのキーをタップすると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを検索できます。詳しくは「検索する」（P40）をご参照ください。<br>• アプリケーションを開いているときにこのキーをタップすると、アプリケーションの検索機能を利用できます。 |
| 開始キー | • ホーム画面で、このキーを押すと「通話履歴」タブが表示されます。「通話履歴」タブについて詳しくは「通話履歴」（P50）をご参照ください。<br>• 画面上で、連絡先、連絡先番号、または電話番号がハイライト表示されているときにこのキーを押すと、連絡先または電話番号に電話をかけることができます。<br>• 通話中に別のアプリケーションを表示している場合は、このキーを押すと通話画面が表示されます。 |

|  |  |
|---|---|
|  | • このキーを押すと、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。<br>• このキーを1秒以上押すと、最近利用したアプリケーションのアイコンが表示されます。アイコンをタッチすると、アプリケーションを開くことができます。 |
|  | • 通話中にこのキーを押すと、通話を切断します。<br>• このキーを通話中以外のときに1秒以上押すと、「携帯電話オプション」メニューが表示されます。 |

## ハードウェアキーボードについて

本FOMA端末には、ソフトウェアキーボードのほか、バックライト付きのQWERTY配列のハードウェアキーボードが装備されています。ハードウェアキーボードは多くの文字を入力する場合に便利です。

### ハードウェアキーボードを使用する

ハードウェアキーボードは、前面パネルをスライドすることで使用できます。

• ハードウェアキーボードを使用可能な状態にすると、バックライトが消灯状態でも自動的に点灯し、キーロックが解除されます。
• 画面表示は、本FOMA端末の方向に関わらず横画面表示になります。
• ハードウェアキーボードのバックライトも自動的に点灯しますが、一定時間、未操作の状態が継続すると、自動的に消灯します。
• ハードウェアキーボードによる入力について詳しくは「ハードウェアキーボードでの文字入力」（P47）をご参照ください。

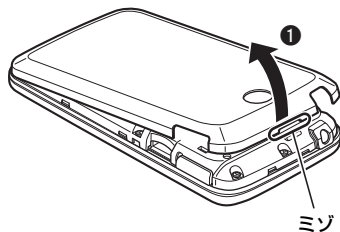
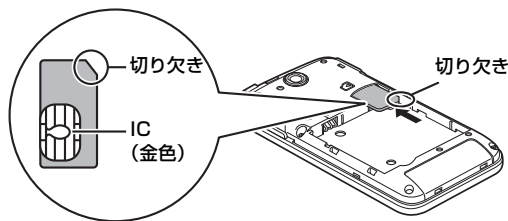
## ドコモUIMカードについて

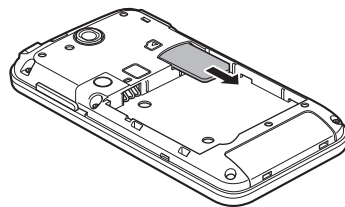
ドコモUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。
ドコモUIMカードが本FOMA端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。ドコモUIMカードを挿入または取り出す前には、必ずFOMA端末の電源を切り、ACアダプタケーブルも取り外してください。

### ドコモUIMカードの暗証番号について

ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P64）をご参照ください。

## ドコモUIMカードを取り付ける

1 リアカバーのミゾに爪を入れ、矢印(❶)の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

2 電池パックを取り出して(P24)、ドコモUIMカードの金色のIC面を下に向けてスロットに差し込む

## ドコモUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し、電池パックを取り出してドコモUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

# microSDカードについて

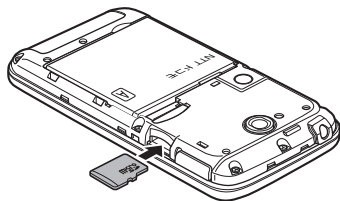
**microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。**

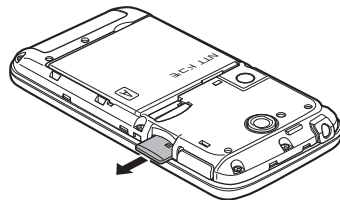
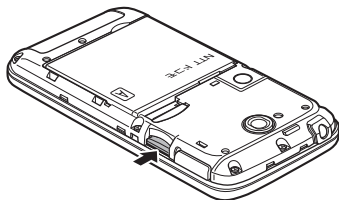
- microSDカードを取り付けていない場合、カメラ機能、音楽・動画の再生やダウンロードをご利用になれません。
- 本FOMA端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2011年1月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDメーカへお問い合わせください。

## microSDカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す(P22)

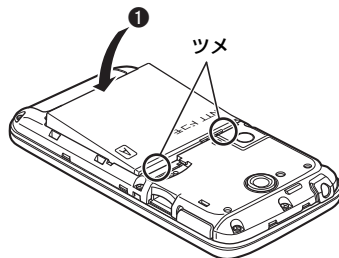
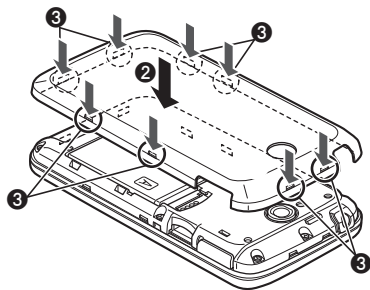
2 microSDカードの金属端子面を下に向けてスロットに差し込む

- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

## microSDカードを取り外す

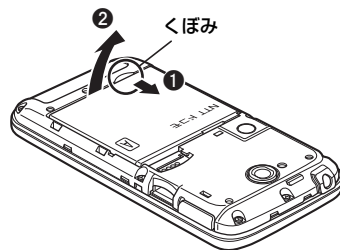
1 リアカバーを外し、microSDカードをいったん奥まで押し込み、ロックを外してから、microSDカードを取り出す

# 電池パックについて

## 電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す(P22)

2 電池パックは、「A」の記載があるラベル面を上にしてFOMA端末と電池パックのツメを合わせるように矢印(❶)の方向へ挿入する

3 リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し(❷)、ツメ部分を1つずつしっかりと押して閉じる(❸)

## 電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す(P22)

2 FOMA端末のくぼみに爪を入れ電池パックを矢印(❶)の方向に押しながら矢印(❷)の方向に持ち上げて取り外す

お知らせ

- 電池パックの取り付け/取り外しは、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

# 充電のしかた

## 充電について

- 詳しくはFOMA充電microUSB変換アダプタ L01、FOMA ACアダプタ01/02(別売)、FOMA海外兼用ACアダプタ01(別売)、FOMA DCアダプタ01/02(別売)の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ02、FOMA海外兼用ACアダプタ01は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用(国内仕様)です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。

- FOMA充電microUSB変換アダプタL01とACアダプタまたはDCアダプタで充電するには、電池パックをFOMA端末に取り付けた状態でないと充電できません。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間FOMA端末の電源が入らない場合があります。
- 電源オフ時に充電を開始すると、FOMA端末の電源がオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

#### 長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したままFOMA端末を長時間おくと、充電が終わった後FOMA端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本FOMA端末を一度FOMA充電microUSB変換アダプタL01またはPC接続用USBケーブル（試供品）から外し、改めてセットしてください。

## 充電時間（目安）

**以下は、電池パックが空の状態から充電したときの時間（目安）です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。**

| **FOMA充電microUSB変換アダプタL01とACアダプタ（別売）を使用した場合** | 約240分 |
|---|---|

## 利用可能時間（目安）

**以下は、十分に充電したときの使用時間（目安）です。使用時間は、使用環境や電池パックの状態により異なります。詳しくは、「主な仕様」（P133）をご参照ください。**

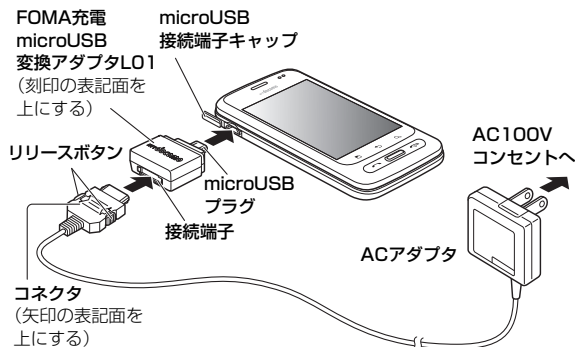
| **連続待受時間** | FOMA／3G | 静止時（自動）：約340時間 |
|---|---|---|
| | | 移動時（自動）：約250時間 |
| | | 移動時（3G固定）：約300時間 |
| | GSM | 約300時間（静止時） |
| **連続通話時間** | FOMA／3G | 約330分 |
| | GSM | 約330分 |

## 電池パックの寿命について

**L-04C専用の電池パックL10をご利用ください。**

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

## ACアダプタで充電する

**FOMA充電microUSB変換アダプタL01とFOMA ACアダプタ01／02（別売）を使って充電する方法を説明します。**

1 ACアダプタのコネクタをFOMA充電microUSB変換アダプタL01の接続端子に差し込む

2 FOMA端末のmicroUSB接続端子キャップを開く

3 FOMA充電microUSB変換アダプタL01のmicroUSBプラグをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- FOMA充電microUSB変換アダプタL01は、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

4 ACアダプタのプラグを電源コンセントに差し込む

- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、 ▶ ▶ ▶ ▶ のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックが満充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。

5 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から取り外し、microUSB接続端子キャップを閉じる

6 FOMA充電microUSB変換アダプタL01の接続端子からACアダプタのコネクタを取り外す

- ACアダプタのコネクタは、コネクタの両側にあるリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。

7 ACアダプタを電源コンセントから取り外す

**お知らせ**

- 充電中はFOMA端末の電源を切ることができません。電源を切る操作を行うことはできますが、操作後、自動的に電源が入ります。
- FOMA充電microUSB変換アダプタL01は、FOMA端末とACアダプタを接続して充電するためのアダプタです。FOMA USB接続ケーブルなどと組み合わせてパソコンと接続しても、充電やデータの送受信を行うことはできません。パソコンとの接続には、PC接続用USBケーブル(試供品)をご使用ください。

## パソコンで充電する

1 FOMA端末のmicroUSB接続端子キャップを開く

2 PC接続用USBケーブル(試供品)のmicroUSBプラグをFOMA端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、刻印がある面を上にして水平に差し込んでください。

3 PC接続用USBケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

4 充電が終わったら、microUSBプラグをFOMA端末から取り外し、microUSB接続端子キャップを閉じる

5 USBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

お知らせ

- 充電中はFOMA端末の電源を切ることができません。電源を切る操作を行うことはできますが、操作後、自動的に電源が入ります。

# 電源を入れる／切る

## 電源を入れる

1 [電源キー]を1秒以上押し続ける

- キーロック画面が表示されます。

2 [ロックアイコン]を右にドラッグしてキーロックを解除する

お知らせ

- キーロック画面は、電源を入れたとき、またはバックライトを点灯にしたときに表示されます。
- キーロックを無効にすることはできません。
- PINにより画面ロックを設定している場合は、電源を入れるとPINコード入力画面が表示されます。PINコードを入力して、「OK」をタップしてください。PINの入力ミスを訂正するには、[DEL]をタップします。

## 電源を切る

1 [電源キー]を1秒以上押し続ける

- 「携帯電話オプション」メニューが表示されます。

2 「電源を切る」

- 「電源を切る」メッセージが表示されます。

3 「OK」

- 電源が切れます。

## バックライトを点灯する

FOMA端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にしてキーロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 [通話キー]、[電源キー]または[キー]いずれかのキーを押す

- キーロック画面が表示されます。なお、バックライトが消灯の状態でも、着信時には自動的に点灯されます。

お知らせ

- バックライトが消灯されるまでの時間は設定できます。詳しくは「表示」（P63）をご参照ください。
- 画面ロック解除パターンを設定している場合、画面ロックを解除する前にパターンの入力が求められます。画面ロック解除パターンを作成する方法と解除する方法については、「現在地情報とセキュリティ」（P63）をご参照ください。

# 初期設定

## 初めて電源を入れたときの設定

**本FOMA端末の電源を初めて入れたときは、FOMA端末で使用する言語や日時の設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。**

**1** ⓞを1秒以上押し続ける

- 「L-04Cへようこそ!」と表示されます。

**2** 「開始するにはここをタッチしてください。」

- 「日付と時刻」画面が表示されます。
- 必要に応じて時刻と日付の設定を行います。詳しくは「日付と時刻」（P68）をご参照ください。

**3** 「次へ」

EメールとSNSアカウントの設定画面が表示されます。

- 「スキップ」をタップするとEメールの設定を省略できます。

**4** ソフトウェア更新についての説明画面で「OK」

ドコモメニュー画面が表示されます。

お知らせ

- 各設定画面で「終了」をタップすると、以降の設定を省略して、ソフトウェア更新についての説明画面が表示されます。
- Eメール、SNSアカウントの設定について詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P30）、「Eメール」（P69）をご参照ください。
- オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること（3G／GPRS）が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」（P60）をご参照ください。

## Wi-Fiを設定する

**本FOMA端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。**

お知らせ

- Wi-Fi機能がオンのときもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断されると、自動的に3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

### Wi-Fiネットワークのステータス

**本FOMA端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワークの通知が有効となっている場合、範囲内で利用可能なWi-Fiネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。**

### Wi-Fiネットワークに接続する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」**

- 「ワイヤレスとネットワークの設定」画面が表示されます。

**2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける**

- チェックマークが付いていれば、Wi-Fiネットワークが使用できます。

**3 「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

**4 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする**

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスをタップし、ネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「•」が表示されます。「パスワードを表示」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。

**お知らせ**

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の右に（オープンネットワーク）（セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。
- また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

| 電波が強い場合 | |
|---|---|
| 電波が弱い場合 | |

- 接続可能なネットワークであっても、ルーターの設定によってはネットワーク接続名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fiネットワークを追加する」（P30）をご参照ください。
- Wi-Fi接続する場合、接続に必要となる情報は、基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、これらを個別に指定することもできます。この方法について詳しくは、次項をご参照ください。

### 静的IPアドレスを指定してWi-Fiネットワークに接続する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

**2 ▶「詳細設定」**

**3 「静的IPを使用する」にチェックマークを付ける**

- 「静的IPを使用する」にチェックマークが付き、「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」「DNS2」の5項目が設定できるようになります。

**4 「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」「DNS2」をそれぞれ順にタップする**

- それぞれを設定するメニューが表示されます。適切な値を設定してください。「IPアドレス」「ゲートウェイ」「ネットマスク」「DNS1」には必ず値を入力してください。

### Wi-Fiネットワークの受信エリアに入ったら通知する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」**

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

**2 「Wi-Fi」にチェックマークを付ける**

3 「ネットワークの通知」にチェックマークを付ける

- Wi-Fiネットワークの受信エリアに入った場合、自動的に通知されます。

### Wi-Fiネットワークを追加する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 「Wi-Fiネットワークを追加」

- 「Wi-Fiネットワークを追加」メニューが表示されます。

3 「ネットワークSSID」ボックスをタップし、ネットワークSSIDを入力する

4 「セキュリティ」

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。

5 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する

- パスワードが設定されていない場合には、入力不要です。

6 「保存」

- Wi-Fiネットワークが追加されます。

### Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 Wi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワークに接続」

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

### Wi-Fiネットワークから切断する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「Wi-Fi設定」

- 「Wi-Fi設定」画面が表示されます。

2 切断するWi-Fiネットワーク名を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワークから切断」

- Wi-Fiネットワークから切断されます。

## オンラインサービスアカウントを設定する

**Facebook、Google、Microsoft Exchange ActiveSync、MySpace、Twitterなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本FOMA端末で情報が更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。**
**また、不要なアカウントは削除することもできます。**

お知らせ

- Facebookアカウントをお持ちでない場合は、http://www.facebook.com/でアカウントが取得できます。
- Twitterアカウントをお持ちでない場合は、http://twitter.com/でアカウントが取得できます。

### オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 「アカウントを追加」
- 「アカウントを追加」画面が表示されます。

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする
- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- アカウントの追加処理が終了すると、「アカウントを管理」グループに追加したオンラインサービスが表示されます。

**お知らせ**

- 「バックグラウンドデータ」にチェックマークを付けると、FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションが自動的にデータ通信を行います。また、「自動同期」にチェックマークを付けると、アプリケーションが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。

### オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 設定を行うアカウントをタップする
- オンラインサービスの同期データリストが表示されます。

3 同期するデータをタップする
- タップしたデータが同期されます。

### オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期の設定」画面が表示されます。

2 削除するアカウントをタップする
- 「データと同期」画面が表示されます。

3 「アカウントを削除」
- 「アカウントを削除」メニューが表示されます。

4 「アカウントを削除」
- 該当のアカウントが削除されます。

# 画面表示／アイコンの見かた

## ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーにはFOMA端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

### ステータスアイコン

| アイコン | 説明 |
|---|---|
| | 電波レベル |
| | 圏外 |
| | Bluetooth機能有効 |
| | Bluetoothデバイスに接続中 |
| | 国際ローミング中 |
| | GPRS使用可能 |
| | 3G使用可能 |
| | FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク使用可能 |
| | GPRSによる通信中 |
| | 3Gによる通信中 |
| | FOMAハイスピード／HSDPAネットワーク通信中 |
| | 電池残量 |
| | 充電が必要 |
| | 充電中 |
| | GPS有効 |
| | GPS測位中 |
| | 機内モード設定中 |
| | ドコモUIMカードロック状態またはドコモUIMカード未挿入 |
| | マイクがミュート状態 |
| | マナーモード設定中（バイブレーションなし） |
| | マナーモード設定中（バイブレーションあり） |
| | アラーム設定中 |
| | Wi-Fi接続中 |
| | データ同期中 |

## 通知アイコン

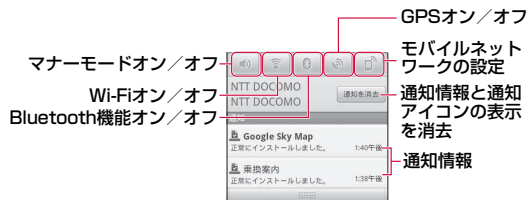
| アイコン | 内容 |
|---|---|
| | 新着Gmailあり |
| | 新着Emailあり |
| | 新着メッセージ（SMS）あり |
| | メッセージ（SMS）の配信に問題あり |
| | 新着インスタントメッセージあり |
| | 発信中または通話中 |
| | 通話保留中 |
| | 不在着信あり |
| | 留守番電話あり |
| | カレンダーに設定された予定あり |
| | 音楽を再生中 |
| | Wi-Fiがオンで利用可能 |
| | ドコモUIMカードが未挿入 |
| | USB接続中 |
| | microSDカードが未挿入 |
| | microSDカードに空き容量なし |
| | データアップロード中 |
| | データダウンロード中 |
| | データダウンロード完了 |
| | ログインまたは同期に問題あり |
| | インストール済みアプリケーションのアップデートあり |
| | その他の通知あり |
| | VPN接続中 |
| | VPN未接続 |
| | デバッグモード |

# 通知パネル

**通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。**

## 通知パネルを開く

### 1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、オンの状態では濃い色、オフの状態ではグレーで表示されます。

**お知らせ**

- ホーム画面で info をタップすることで開くこともできます。

### 通知内容の詳細を表示する

**1 通知パネルの通知メッセージをタップする**

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

### 通知パネルの表示を消去する

**1 通知パネルの「通知を消去」をタップする**

**お知らせ**

- 通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

### 通知パネルを閉じる

**1 通知パネルの下部を上にドラッグまたはスワイプする**

**お知らせ**

- ⮌をタップすることでも閉じることができます。

# タッチスクリーンの操作

本FOMA端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

## タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。

以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作

## タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- タッチ：画面に長く触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面をタッチしたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面をタッチし、タッチしたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面をタッチし、タッチしたままつまむように指を近づける

## 項目を開く

1 項目をタップする

## チェックマークを付ける／外す

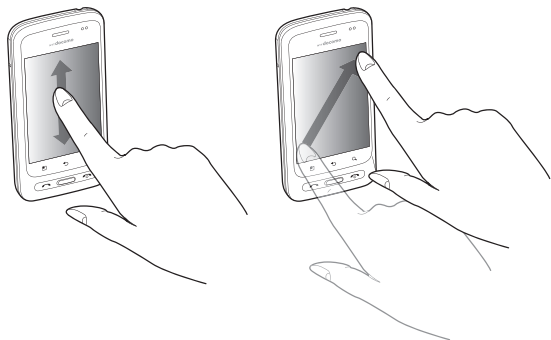
1 チェックボックスがある項目をタップする

- チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。

2 再びチェックボックスがある項目をタップする

- チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

## 画面をスクロールする

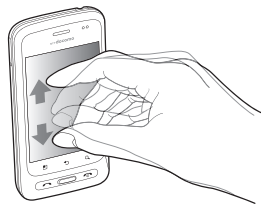
画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

ドラッグすると画面がスクロールします。

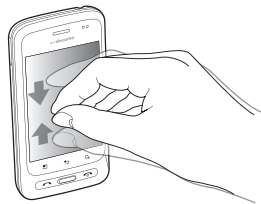
スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中にタッチすると、スクロールが停止します。

## 表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては、画面の文字が小さくて見にくいとき、表示を拡大することができます。また、拡大した状態から全体表示とするため縮小することもできます。

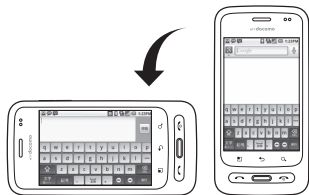
1 画面をピンチアウトする

- 指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

2 画面をピンチインする

- 指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

**お知らせ**

- 画面をドラッグすると[ズームアイコン]が表示される場合があります。このズームコントロールアイコンをタップすることで画面表示の拡大／縮小をすることもできます。[拡大アイコン]をタップすると1段階拡大、[縮小アイコン]をタップすると1段階縮小されます。ただし、表示が最小または最大の場合は、[縮小アイコン]または[拡大アイコン]がグレー表示となり、それ以上縮小または拡大することはできません。

## 画面の表示方向を変更する

**本FOMA端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。**

**お知らせ**

- 向かって左へ横向きにした場合に横画面表示へ切り替わります。右の場合、切り替わりません。
- 表示している画面によっては、FOMA端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。
- ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「表示」をタップし、「画面設定」画面で「画面の自動回転」のチェックマークを外すと、本FOMA端末を横向き／縦向きにしても画面の表示方向が切り替わらないようにすることができます。

# ホーム画面

**ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。**
**お買い上げ時のホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が左右2画面ずつ用意されています。**
**ホーム画面にはドコモメニューとOPTIMUS UIがあります。お買い上げ時の設定ではドコモメニューが表示されています。**

❶ **ウィジェット**（例：クイック検索ボックス）
タップして、ウィジェット（ホーム画面に配置するアプリケーション）の起動や操作を行います。

❷ **ショートカット**
タップして、アプリケーションやFOMA端末の設定項目などを起動します。

**お知らせ**

- ドコモメニューでは、ホーム画面を最大9画面まで増やすことができます。設定方法については、「ホーム画面を設定する」（P39）をご参照ください。

## ホーム画面をOPTIMUS UIに切り替える

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶全体メニューを下へドラッグして、「本体設定」のグループにある「Home selector」をタップする

- Home selectorが開きます。

### 2 「ホーム」

- ホーム画面がOPTIMUS UIに切り替わります。

**お知らせ**

- 元のホーム画面に戻すには、ホーム画面で ▶「Home selector」▶「ドコモメニュー」をタップしてください。
- 本書の操作説明は、Home selectorがドコモメニューに設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定であることを前提に説明しています。ホーム画面をOPTIMUS UIに切り替えた場合や、ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。

## 左または右の画面の領域を表示する

### 1 ホーム画面を左または右にドラッグする

- 左または右の画面の領域が表示されます。

## 壁紙を変更する

### 1 ホーム画面を1秒以上タッチする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

### 2 「壁紙」

- 「壁紙を選択」メニューが表示されます。

### 3 壁紙のカテゴリーをタップする

- 「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像をタップして選択してください。続けて、画面に表示された枠をドラッグすることで壁紙として使用する部分を選択し、「保存」をタップしてください。
- 「壁紙　ドコモメニュー」「壁紙　ホーム」をタップした場合は、画面上部に選択している壁紙、画面下部にサムネイルが表示されます。サムネイルはドラッグすることで左右にスクロールさせることができます。サムネイルをタップして壁紙を選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。

## ホーム画面にショートカットを追加する

### 1 ホーム画面を1秒以上タッチする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

### 2 「ショートカット」

- 「ショートカットを選択」メニューが表示されます。

### 3 追加するショートカットの種類をタップする

- ショートカットの種類に応じた一覧が表示されます。

### 4 追加するショートカットをタップする

- ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。
- ショートカットによっては追加する項目を設定する必要があります。各画面の指示に従って設定してください。

**お知らせ**

- ホーム画面で ▶「追加」をタップすることで「ホーム画面に追加」メニューを表示することもできます。

## ショートカットアイコンを移動する

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンを1秒以上タッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- ショートカットアイコンが移動されます。

お知らせ

- ショートカットアイコンを1秒以上タッチするとポップアップメニューが表示されます。ポップアップメニューの「移動」をタップしても移動できます。
- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。
- 中央のホーム画面にあらかじめ用意されている「メニュー」「通話履歴」「電話」「カメラ」「メール」「連絡先」「ブラウザ」のアイコンは移動できません。

## ホーム画面にフォルダを作成する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

2 「フォルダ」

- 「フォルダの選択」メニューが表示されます。

3 作成するフォルダの種類をタップする

- フォルダが作成されます。

## フォルダにショートカットを追加する

1 ホーム画面で、フォルダに追加するショートカットアイコンを1秒以上タッチする

2 そのままフォルダにドラッグして指を離す

3 フォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開き、ショートカットアイコンがフォルダに追加されたことを確認できます。

## フォルダの名前を変更する

1 名前を変更するフォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開きます。

2 タイトルバーを1秒以上タッチする

- 「フォルダ名を変更」メニューが表示されます。

3 テキストボックスをタップ ▶ フォルダの名前を入力して「OK」

- フォルダの名前が変更されます。

## ホーム画面にウィジェットを追加する

1 ホーム画面を1秒以上タッチする

- 「ホーム画面に追加」メニューが表示されます。

2 「ウィジェット」

- 「ウィジェットを選択」メニューが表示されます。お買い上げ時に選べるウィジェットは以下の通りです。

| ウィジェット | 機能 |
|---|---|
| Latitude | 現在地表示ツール |
| YouTube | 動画再生ツール |
| アナログアラーム時計 | アラーム機能付きアナログ時計 |
| アナログ時計 | アナログ時計 |
| カレンダーウィジェット | カレンダー |
| ステータス | アプリケーション更新通知ツール |
| ソーシャルフィード | ソーシャルRSSリーダー |
| デジタルアラーム時計 | アラーム機能付きデジタル時計 |
| デジタル時計 | デジタル時計 |
| デュアルクロック | 2地域時刻表示時計 |
| ニュースと天気 | ニュースと天気予報表示ツール |
| フォトフレーム | 写真フレーム表示ツール<br>• ホーム画面がドコモメニューの場合は、表示されません。 |
| ブックマーク | ブックマークリスト |
| ホーム画面のヒント | 操作のヒント表示ツール |
| マーケット | Androidマーケットクライアントツール |
| メッセージウィジェット | メッセージ（SMS）送受信ツール |
| メモ | メモ表示ツール |
| 音楽ウィジェット | 音楽再生ツール |
| 検索 | 検索ツール |
| 今日のスケジュール | スケジュール表示ツール |
| 電源管理 | 電源管理ツール |

3 **追加するウィジェットをタップする**

• ウィジェットが追加されます。

## ホーム画面のアイコンを削除する

1 **ホーム画面で、ショートカットアイコン、フォルダ、またはウィジェットを1秒以上タッチする**

• ポップアップメニューが表示されます。

2 **「ホームから削除」▶「OK」**

• ホーム画面から削除されます。

**お知らせ**

• ホーム画面で[メニュー] ▶「削除」をタップして、削除する項目を選択しても削除できます。
• ドコモメニューの中央のホーム画面にあらかじめ用意されている「メニュー」「通話履歴」「電話」「カメラ」「メール」「連絡先」「ブラウザ」のアイコンは削除できません。

## ホーム画面を設定する

1 **ホーム画面で「メニュー」▶「ホーム設定」**

• 「ホーム設定」画面が表示されます。

2 **必要に応じて設定を変更する**

| 拡張ホーム画面数 | ホーム画面の画面数を設定します。 |
|---|---|
| 時計表示位置 | 中央のホーム画面の時計の表示位置を設定します。 |
| 12アイコンスキップ | チェックマークを付けると、ホーム画面で「メニュー」をタップしたとき、全体メニューが表示されます。 |

| 更新時の自動通信 | チェックマークを付けると、更新ファイルがサーバーにあるか自動で2週間おきに確認します。 |
|---|---|
| バージョン表示 | ドコモメニューのバージョンが表示されます。 |

お知らせ

- ホーム画面で ▶「ホーム設定」をタップしても、設定を変更できます。

## 検索する

「検索」ウィジェットを利用すると、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。
なお、検索データの種類、検索範囲を変更することもできます。

### 文字を入力して検索する

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの検索ボックスをタップする**

- クイック検索ボックスが表示されます。

2 **検索する文字を入力して または「実行」**

- ウェブ検索の結果ページが表示されます。
- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。リストのいずれかをタップし、最適なアプリケーションで内容を表示します。

### 音声で検索する

1 **ホーム画面で検索ウィジェットの をタップする**

2 **「お話しください」と表示されたら、マイクに向かって検索語をはっきりと発声する**

- 音声が文字に変換され、検索ボックスに入力されるとともに、検索語を含む情報がリスト表示されます。

お知らせ

- 正しく変換されない場合は、改めて をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。
- 音声検索では、ウェブのみで検索されます。

### 検索の設定を行う

1 **クイック検索ボックスで ▶「検索設定」**

- 「検索設定」画面が表示されます。

2 **必要に応じて設定を変更する**

お知らせ

- 検索対象設定画面は検索ボックスの左側の をタップし、表示されるメニューの をタップして表示することもできます。

| ウェブ | |
|---|---|
| Google検索の設定 | 検索文字の入力時にクイック検索ボックスの下に検索候補を表示するか否か、検索候補に以前の検索結果を反映するかどうかなどを設定することができます。また、ブラウザでウェブ検索履歴設定のページを開くことができます。<br>• Googleアカウントが必要になります。Googleアカウントをお持ちでない場合は、「オンラインサービスアカウントを設定する」(P30)をご参照ください。 |

| 電話 | |
|---|---|
| 検索対象 | 検索対象とするFOMA端末内のデータの種類、検索範囲が変更できます。 |
| ショートカットを消去 | クイック検索ボックスに表示されるリストとして、以前に選択した検索結果を表示しないようにできます。 |

## 12アイコンメニュー

**12アイコンメニューから、本FOMA端末のすべての機能にアクセスできます。**

### 1 ホーム画面で「メニュー」

- 12アイコンメニューが表示されます。

### 2 次のいずれかのアイコンをタップする

| メール | 全体メニューの対応するグループのアイコンが表示されます。 |
|---|---|
| Web | |
| アプリ | |
| カメラ／動画／音楽 | |
| データBOX | |
| 便利ツール | |
| 電話機能 | |
| 本体設定 | 「設定」画面が表示されます。(P60) |
| 地図 | 全体メニューの対応するグループのアイコンが表示されます。 |
| マーケット | |
| プロフィール | プロフィールとして「名前」「よみがな」「アドレス(1)」「アドレス(2)」を入力できます。<br>• 「電話番号」「Gmailアドレス」は表示項目で、変更できません。Gmailについて詳しくは、「Gmail」(P72)をご参照ください。 |
| ホーム設定 | 「ホーム設定」画面が表示されます。(P39) |
| タスク管理 | 起動中のアプリケーションの一覧が表示されます。<br>• 終了したいアプリケーションにチェックマークを付けて「選択アプリの終了」をタップすると、チェックマークを付けたアプリケーションを終了します。<br>• 「全アプリの終了」をタップすると、起動中のすべてのアプリケーションを終了します。 |
| ホーム | ホーム画面に戻ります。 |

## 全体メニュー

**全体メニューには、本FOMA端末にインストールされているすべてのアプリケーションのアイコンが表示され、タップすることでアプリケーションを開くことができます。**

### 全体メニューからアプリケーションを開く

### 1 ホーム画面で ▼

- 全体メニューが表示されます。アプリケーションのアイコンは、グループごとに表示されます。
- 画面下部の ▲ ▼ をタップするか、画面を上下にドラッグまたはスワイプすると、画面をスクロールできます。

### 2 アイコンをタップする

- タップしたアイコンのアプリケーションが開きます。

お知らせ

- ホーム画面で画面を上にドラッグまたはスワイプしても、全体メニューを表示できます。
- 全体メニューでグループのタイトルバーをタップすると、グループに含まれるアイコンが非表示になります。アイコンを非表示にしたグループのタイトルバーをタップすると、アイコンが再表示されます。
- 全体メニューでアイコンを1秒以上タッチするとポップアップメニューが表示されます。
  - 「移動」をタップすると、アイコンの位置を移動できます。
  - 「ホームに配置」をタップすると、ショートカットアイコンがホーム画面に追加されます。
  - 「情報表示」をタップすると、「アプリケーション情報」画面が表示され、アプリケーションの強制停止やアンインストールなどができます。ただし、お買い上げ時にインストールされているアプリケーションはアンインストールできません。

## アプリケーション一覧

| | | |
|---|---|---|
| アプリ | | |
| | Facebook for LG | Facebookクライアントソフト（P96） |
| | MySpace for LG | MySpaceクライアントソフト（P96） |
| | Twitter for LG | Twitterクライアントソフト（P96） |
| | Evernote Launcher | Evernoteクライアントソフト（P96） |
| | ニュースと天気 | ニュースと天気予報閲覧ソフト（P105） |
| | 取扱説明書 | 取扱説明書閲覧ソフト |
| Web | | |
| | ブラウザ | Webブラウザ（P79） |
| | 検索 | 検索ソフト（P40） |
| | Voice Search | 音声検索ソフト（P40） |
| 便利ツール | | |
| | 電卓 | 電卓ソフト（P108） |
| | カレンダー | リマインダー機能付きカレンダーソフト（P106） |
| | アラーム／時計 | アラーム機能付き時計ソフト（P105） |
| | バックアップと復元 | バックアップソフト（P113） |
| | ThinkFree Office | 統合オフィスソフトThinkFreeモバイル版（P97） |
| | ボイスレコーダー | ボイス（音声）レコーダー（P108） |
| | 電子辞典 | 電子辞典ソフト（P108） |
| | トルカ | トルカ管理ソフト（P97） |
| | スタートアップガイド | 操作・初期設定のサポートソフト（P44） |
| カメラ／動画／音楽 | | |
| | 音楽 | 音楽再生ソフト（P91） |
| | YouTube | YouTube動画再生／アップロードソフト（P105） |
| | カメラ | 静止画（写真）および動画撮影ソフト（P88） |
| | ビデオプレイヤー | 動画再生ソフト（P90） |
| 電話機能 | | |
| | 連絡先 | 連絡先（電話帳）管理ソフト（P52） |
| | 電話帳コピーツール | 連絡先（電話帳）バックアップソフト（P115） |
| | 電話 | 通話ソフト（P48） |

| | | |
|---|---|---|
| マーケット | | |
| | マーケット | Androidマーケットクライアントソフト（P110） |
| | ドコモマーケット | 「dメニュー」へのショートカットソフト |
| データBOX | | |
| | ギャラリー | 静止画（写真）／動画閲覧ソフト（P90） |
| メール | | |
| | spモードメール | spモードメールソフト（P72） |
| | メール | Eメールクライアントソフト（P69） |
| | Gmail | Gmailクライアントソフト（P72） |
| | エリアメール | 緊急速報「エリアメール」ソフト（P78） |
| | メッセージ | メッセージ（SMS）送受信ソフト（P76） |
| | トーク | Googleトーククライアントソフト（P85） |
| 本体設定 | | |
| | 設定 | 本体設定ソフト（P60） |
| | Home selector | ホーム画面切り替えソフト（P37） |
| 地図 | | |
| | マップ | Googleマップクライアントソフト（P99） |
| | プレイス | ランドマーク検索ソフト（P104） |
| | ナビ | Googleマップナビベータ版（P104） |
| | Latitude | 位置情報共有ソフト（P102） |

**お知らせ**

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時に本FOMA端末にインストールされているものです。
- ソフトウェア更新を行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

## グループを追加する

**全体メニューにグループを追加して、アイコンを整理することができます。**

### 1 全体メニューの最下部の「新規グループ追加」をタップする

- 「新規グループ追加」ダイアログボックスが表示されます。

### 2 グループ名を入力して「OK」

- 全体メニューにグループが追加されます。

**お知らせ**

- グループのタイトルバーを1秒以上タッチするとポップアップメニューが表示されます。
  - 「移動」をタップすると、グループの位置を移動できます。
  - 「削除」をタップすると、グループを削除できます。削除したグループに含まれていたアイコンは「アプリ」グループに移動されます。
  - 「名称変更」をタップすると、グループ名を変更できます。
  - 「色変更」をタップすると、グループのタイトルバーの色を変更できます。
- お買い上げ時に用意されているグループについては、削除や名称変更はできません。

## アイコンやグループを移動する

**1** 全体メニューのアイコンまたはグループのタイトルバーを1秒以上タッチする

**2** そのままドラッグし､移動先で指を離す

- アイコンまたはグループが移動されます。

# スタートアップガイドアプリ

**初めてお使いになる方に操作方法や初期設定をサポートするアプリです。基本操作練習や基本設定、用語辞典があります。**

※ 本アプリは起動時に大量コンテンツのダウンロードにより、多額のパケット料金が発生する可能性がございます。「パケ・ホーダイ ダブル」などのパケット定額サービスにご加入いただくことを強くおすすめします。

**1** ホーム画面で｢メニュー｣▶｢便利ツール｣▶｢スタートアップガイド｣

# 文字入力

**本FOMA端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードとハードウェアキーボードの双方で文字を入力することができます。**

## ソフトウェアキーボードでの文字入力

**画面上のテキストボックスをタップすると、タッチパネルにソフトウェアキーボードが表示されます。本FOMA端末の日本語入力では、テンキーとフルキーの2種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。**

### テンキーソフトウェアキーボード

**日本語を「かな入力」で入力する場合に使用します。**

### フルキーソフトウェアキーボード

**日本語を「ローマ字入力」で入力する場合に使用します。**

**お知らせ**

- 上記はiWnn IME（日本語キーボード）のソフトウェアキーボードです。キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P45）をご参照ください。

### テンキーソフトウェアキーボードで入力する

**以下のアイコンをタップすると、文字種の変更など入力操作の切り替えができます。**

| | |
|---|---|
| ／Undo | 1つ前の文字を表示（逆順）します。「Undo」と表示されているときは、直前の操作を取り消します。 |
| | 左へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。 |

| 文字 | 入力モードを切り替えます。1秒以上タッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。 |
|---|---|
| 記号 | 記号／顔文字リストを表示します。 |
| DEL | カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。 |
| → | 右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。 |
| 変換 | スペースを入力します。未確定の文字がある場合は、変換候補を表示します。 |
| 確定／実行／⏎ | 入力文字を確定します。すでに入力文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能を実行します。また、白い矢印のときは改行します。 |

**文字入力には8つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。**

| あ | ひらがな漢字 | AB | 半角英字 |
|---|---|---|---|
| カ | 全角カタカナ | 1 | 全角数字 |
| ｶﾅ | 半角カタカナ | 12 | 半角数字 |
| A | 全角英字 | 🎤 | 音声入力 |

**お知らせ**

- キーボードが不要な場合は、⮌をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

## キーボードを切り替える

### 1 ソフトウェアキーボードで 文字 を1秒以上タッチする

- 「iWnn IMEメニュー」が表示されます。

### 2 「テンキー⇔フルキー」

- キーボードが切り替わります。

## フルキーソフトウェアキーボードで入力する

**以下のアイコンをタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。**

| ⇧ | 大文字キーと小文字キーを切り替えます。 |
|---|---|
| 文字 | 入力モードを切り替えます。1秒以上タッチすることで「iWnn IMEメニュー」を表示します。 |
| 記号 | 記号／顔文字リストを表示します。 |
| ← | 左へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を狭めます。 |
| 変換 | スペースを入力します。未確定の文字がある場合は、変換候補を表示します。 |
| → | 右へカーソルを移動します。1秒以上タッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。また、未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、予測変換の対象文字数を増やします。 |
| DEL | カーソル位置の左の文字を削除します。1秒以上タッチすることで連続して削除できます。 |
| 確定／実行／⏎ | 入力文字を確定します。すでに入力文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能を実行します。また、白い矢印のときは改行します。 |

## 文字種を切り替える

**文字入力画面で 文字 をタップするたびに、「ひらがな漢字」▶「半角英字」▶「半角数字」の順に文字種が切り替わります。また、「キーボード設定（共通）」で「音声入力」にチェックマークを付けると、声で入力することもできます。**
**文字 を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示され、「入力モード切替」をタップすると入力モードを切り替えることができます。**

**お知らせ**

- 文字入力画面によっては、特定の文字種のみに限定されたり、選択できる文字種が制限される場合があります。

## 記号／顔文字を入力する

**文字入力画面で［記号］をタップすると、記号／顔文字入力モードになりディスプレイに記号または顔文字の候補が表示されます。**
**「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字の入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、記号または顔文字が入力できます。**
**「戻る」をタップすると、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。**

## 文字入力の設定を変更する

**文字入力画面で［文字］を1秒以上タッチすると「iWnn IMEメニュー」が表示されます。ここで「各種設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。**

| キーボード設定（共通） | |
|---|---|
| **キー操作音** | チェックマークを付けると、キーボード操作に伴って音が鳴ります。 |
| **キー操作バイブ** | チェックマークを付けると、キーボード操作に伴ってバイブレータが動作します。 |
| **キーポップアップ** | チェックマークを付けると、入力時に選択した文字を拡大して表示します。 |
| **自動大文字変換** | チェックマークを付けると、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にします。 |
| **キーボードタイプ** | 画面の向き、入力モードごとに使用するキーボードのタイプを設定できます。 |
| **キーボードイメージ** | キーボードのデザインを設定できます。 |
| **音声入力** | チェックマークを付けると、音声入力が可能になり、文字入力モードに音声入力が追加されます。 |
| **キーボード設定（テンキー）** | |
| **フリック入力** | チェックマークを付けると、テンキーソフトウェアキーボードでの入力方法がフリック入力になります。チェックマークを外すとトグル入力になります。 |
| **フリック感度** | 「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、タップすると「フリック感度（低⇔高）」メニューが表示され、スライドバーにより感度の設定を行えます。 |
| **トグル入力** | 「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、チェックマークを付けるとフリック入力と同時にトグル入力が可能になります。 |
| **自動カーソル移動** | 自動カーソル移動の速度を指定します。 |
| **変換設定** | |
| **候補学習** | チェックマークを付けると、変換で確定した語句をiWnn IMEが学習します。 |
| **予測変換** | チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。 |
| **入力ミス補正** | チェックマークを付けると、入力間違いの修正候補を表示します。 |
| **ワイルドカード予測** | チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。 |
| **候補表示行数** | 変換候補を表示する行数を縦画面と横画面についてそれぞれ設定できます。 |
| **外部変換エンジン** | 外部の変換エンジンを利用して変換候補を表示するかどうかを設定できます。 |
| **外部アプリ連携** | |
| **マッシュルーム** | マッシュルーム拡張を使用するかどうかを設定できます。 |

| 辞書 | |
|---|---|
| 日本語ユーザー辞書 | タップすると「日本語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。[menu]をタップすると、単語の登録、編集、削除、日本語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。 |
| 英語ユーザー辞書 | タップすると「英語ユーザー辞書 単語一覧」画面が表示されます。[menu]をタップすると、単語の登録、編集、削除、英語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。 |
| 学習辞書リセット | 学習辞書の内容をすべて消去します。 |
| **IMEについて** | |
| iWnn IME | iWnn IMEのバージョン情報などが表示されています。 |

## ハードウェアキーボードでの文字入力

**ハードウェアキーボードは、前面パネルをスライドすることで使用可能となります。テキストボックスなど文字を入力する部分が選択されている状態で、キーを押すことで文字を入力できます。**
**また、ハードウェアキーボードには、特殊な機能が割り当てられているキーがあります。**

| キー | 説明 |
|---|---|
| [マナー] | このキーを1秒以上押すと、マナーモードになります。 |
| [⇥ Q] | 入力が確定している状態で[Fn]を押した後このキーを押すと、タブが入力されます。 |
| [Fn] | このキーを押した後にキーを押すと、キーの右上に表示されている文字が入力されたり、機能が実行されます。 |
| [Shift] | このキーを押した後、文字を入力すると大文字入力となります。 |
| [戻る] | このキーを押すと、直前の画面に戻ります。また、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネルを非表示にします。 |
| [メニュー] | • このキーを押すと、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。<br>• [Shift]を押しながらこのキーを押すと、「iWnn IME設定」画面が表示されます。 |
| [ホーム] | • このキーを押すと、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。<br>• このキーを1秒以上押すと、最近利用したアプリケーションのアイコンが表示され、すばやく起動できます。 |
| [文字] | このキーを押すと、日本語[あ]／英語[AB]に入力モードが切り替わります。 |
| [スペース/記号] | [Fn]を押しながらこのキーを押すと、記号または顔文字が入力できます。 |
| [検索] | • ホーム画面でこのキーを押すと、FOMA端末内の連絡先やアプリケーション、ウェブページなどを検索できます。詳しくは「検索する」（P40）をご参照ください。<br>• アプリケーションを開いているときにこのキーを押すと、アプリケーションの検索機能を利用できます。 |
| [←] | このキーを押すと、カーソル位置の左の文字が削除されます。1秒以上押すことで連続して削除できます。 |
| [Enter] | このキーを押すと、入力および変換した文字が確定されます。確定後は改行します。 |
| [^ PgUp][<][>][✓ PgDn] | このキーを押すと、カーソルを上下左右に移動します。利用するアプリケーションやウィジェットによっては、それぞれの方向にページをスクロールしたり、リンク、テキストボックスの移動ができます。 |

# 電話／ネットワークサービス

## 電話をかける／受ける

### 電話をかける

本FOMA端末では、一般的な通話のほか国際電話、緊急電話をかけることもできます。また、チケットの予約や銀行の残高照会などのサービスを利用するためポーズを入力することもできます。

#### 電話をかける

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

**2 電話番号を入力 ▶ [発信]**

- 電話番号の入力を誤った場合は、[⌫] をタップすることで消去できます。

#### ポーズを入力する

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

**2 電話番号を入力し、[メニュー] ▶「ポーズを入力」**

- 電話番号の後ろに「,」（カンマ）が表示されます。

**3 利用するサービスのメニュー番号などを入力 ▶ [発信]**

#### 緊急通報

| 緊急通報 | 電話番号 |
|---|---|
| 警察への通報 | 110 |
| 消防・救急への通報 | 119 |
| 海上での通報 | 118 |

**お知らせ**

- FOMA端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモUIMカードの保護について」（P64）をご参照ください。

#### 通話を終了する

**1 通話中に「終了」**

**お知らせ**

- [終話キー]を押すことで、通話を終了することもできます。

### 国際電話をかける（WORLD CALL）

**WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。**
**FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。**

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

**2 [0 +]を1秒以上タッチする**

- 「+」が表示されます。日本から国際電話をかけるときに「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信しています。

**3 国番号 ▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力し[発信]**

**お知らせ**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- WORLD CALLについて詳しくは、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

## 電話を受ける

**着信すると着信音が鳴ります。マナーモードでは着信音が鳴りません。バイブレータを設定していれば、バイブレータが動作します。**

### 電話を受ける

**1 電話がかかってきたら「応答」**

- 通話できます。
- キーロック中に電話がかかってきた場合は、[応答]を右にドラッグしてください。

**お知らせ**

- 連絡先に登録されている相手からの電話の場合、着信画面が表示され、名前、電話番号が表示されます。連絡先に登録されていない相手の場合には、電話番号のみ表示されます。

### 着信を拒否する

**1 電話がかかってきたら「拒否」**

- 着信が拒否されます。
- キーロック中に電話がかかってきた場合は、[拒否]を左にドラッグしてください。

**お知らせ**

- 着信時に[終話]を押しても、着信を拒否することができます。

### 着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する

**着信を拒否した相手にメッセージ（SMS）を送信できます。**

**1 電話がかかってきたら「簡単メッセージ」**

- 着信が拒否され、「簡単メッセージ」画面が表示されます。
- キーロック中に電話がかかってきた場合は、「簡単メッセージ」を上にドラッグしてください。

**2 定型文のメッセージ（SMS）を送信する場合は、いずれかの定型文の右側の「送信」をタップし、次画面で再度「送信」をタップする**

- メッセージ（SMS）を新規作成する場合は、「新しいメッセージ」をタップしてください。メッセージの作成方法については、「メッセージ（SMS）を送信する」（P76）をご参照ください。

#### 着信音を消音にする

**1** ◀ ▶ **を押す**

- 着信音が聞こえなくなります。

**お知らせ**

- あらかじめ着信音が鳴らないように設定することもできます。「音」（P62）をご参照ください。

# 通話中の操作

**通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのオン／オフ、保留などの操作ができます。**

## 通話音量を調整する

**通話中に相手の声の音量を調節できます。**

**1** ◀ ▶ **を押す**

- 操作に応じて、通話音量が変わります。

## 通話中オプションを利用する

**通話中に相手の音声をスピーカーで聞こえるようにしたり、一時的にマイクを無効にしたりできます。**

#### スピーカーをオンにする／オフにする

**1 通話中に「スピーカー」**

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえます。

**2 スピーカーがオンの状態で「スピーカー」**

- スピーカーから通話相手の音声が聞こえなくなります。

**お知らせ**

- スピーカーがオンになっている状態で本FOMA端末を耳に当てないでください。
- FOMA端末に向かって50cm以内の距離でお話しください。音が割れて聞き取りにくい場合は、スピーカーをオフにしてください。

#### マイクをオフにする／オンにする

**1 通話中に「ミュート」**

- 通話相手に音声が聞こえなくなります。

**2 マイクがオフになっている状態で「ミュート」**

- 再び通話相手に音声が聞こえるようになります。

#### 通話を保留する

**1 通話中に「保留」**

- 通話を保留します。

**2 保留になっている状態で「保留解除」**

- 保留が解除され、通話を再開します。

**お知らせ**

- 通話を保留するにはキャッチホン（P56）のご契約が必要です。

# 通話履歴

**着信や発信の履歴は自動的に記録されます。また、この履歴を利用して電話をかけたり、連絡先に電話番号を登録することもできます。**

## 不在着信の相手に電話をかける

**不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。**

### 1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルに不在着信の通知が表示されます。不在着信の通知には、相手の電話番号または連絡先に登録されている名前と、不在着信の時刻または日付が表示されます。
- 通知パネルの不在着信の通知をタップすると、「通話履歴」タブが表示されます。

### 2 不在着信通知をタップする

- 「通話履歴」タブが表示されます。
- 不在着信の履歴には、 が表示されます。

### 3 不在着信の履歴の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

## 通話履歴を利用して電話をかける

**通話履歴に記録された電話番号に電話がかけられます。**

### 1 ホーム画面で「通話履歴」

- 「通話履歴」タブが表示されます。

### 2 相手の名前または電話番号の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

**お知らせ**

- 「通話履歴」タブでいずれかの名前または電話番号を1秒以上タッチすることで、メニューが表示されます。そこで、「～に発信」をタップすることで電話をかけることもできます。

## 通話履歴の電話番号を連絡先に登録する

**通話履歴の中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。**

### 1 「通話履歴」タブで電話番号を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

### 2 「連絡先に追加」

- 連絡先画面が表示されます。

### 3 「連絡先を新規登録」

- 「連絡先を新規登録」画面が表示されます。

### 4 情報を入力して「完了」

- 連絡先として登録されます。

## 通話履歴を消去する

**通話履歴は自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を消去できます。**

#### 任意の通話履歴を消去する

### 1 「通話履歴」タブで電話番号を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

## 2「通話履歴から消去」

- 該当の通話履歴が消去されます。

### すべての通話履歴を消去する

## 1「通話履歴」タブで ▶「通話履歴を全件消去」

- すべての通話履歴が消去されます。

# 連絡先

**連絡先には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。連絡先を表示して、その連絡先にすばやくアクセスできます。**

## 連絡先を表示する

**連絡先に登録されている情報が表示できます。**

## 1 ホーム画面で「連絡先」

- 「連絡先」タブ画面が表示されます。
- 「お気に入り」タブが表示された場合は、「連絡先」をタップしてください。

**お知らせ**

- 「連絡先」タブを表示すると、画面右側にアルファベット順のインデックスが表示され、これをドラッグすることですばやく検索できます。また、検索文字を指定して検索することもできます。検索操作について詳しくは、「連絡先を検索する」（P52）をご参照ください。
- 初めて連絡先を開いたときは、連絡先を追加するための説明が表示されます。 ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」と操作することで、ドコモUIMカード、microSDカードに保存されている連絡先（電話帳）を読み込むことができます。

## 連絡先を登録する

**新たに連絡先を登録できます。**

## 1「連絡先」タブで ▶「連絡先を新規登録」

- 「連絡先を新規登録」画面が表示されます。

## 2 情報を入力して「完了」

- 入力した内容が登録されます。

## 連絡先を編集する

**すでに登録されている連絡先が編集できます。**

## 1「連絡先」タブで編集する連絡先を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

## 2「連絡先を編集」

- すでに登録されている情報が入力された状態で連絡先編集画面が表示されます。

## 3 情報の追加、削除、修正を行い「完了」

- 連絡先が更新されます。

## 連絡先を検索する

**「連絡先」タブでは、ドラッグして連絡先を検索するほか検索文字を指定して検索することもできます。**

## 1「連絡先」タブで

- 検索画面が表示されます。

## 2 検索する文字を入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、FOMA端末内の検索結果、または以前に選択した検索結果がリスト表示されます。

## 3 いずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

# 連絡先を利用して電話をかける／メールを送る／チャットする

**連絡先の情報を利用して電話をかけることができます。また、連絡先にメールアドレスやチャットなどのアカウントが登録されている場合、メールを送ったり、チャットアプリケーションを起動して、チャットすることもできます。**

## 1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

## 2 [電話][SMS][メール][チャット]のいずれかをタップする

- 電話をかけたり、メールやチャットができます。

| アイコン | 説明 |
| --- | --- |
| [電話] | 電話をかけます。 |
| [SMS] | メッセージ（SMS）を送ります。 |
| [メール] | メールを送ります。 |
| [チャット] | チャットを開始します。 |

**お知らせ**

- 連絡先を1秒以上タッチするとメニューが表示されます。そこで「連絡先に発信」をタップすると電話がかけられ、「連絡先に送信」をタップするとメッセージ（SMS）が送信できます。

# 連絡先住所の地図を表示する

**連絡先として住所が登録されている場合、その場所を地図に表示できます。**

## 1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

## 2 「～の住所を表示」

- 「マップ」アプリケーションに切り替わり、住所として設定されている場所が表示されます。

# 連絡先を削除する

## 1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

## 2 [メニュー] ▶「連絡先を削除」

- 確認メッセージが表示されます。

## 3 「OK」

- 連絡先が削除されます。

**お知らせ**

- 「連絡先」タブでいずれかの連絡先を1秒以上タッチすることでメニューを表示し「連絡先を削除」をタップすることでも連絡先を削除できます。

# 連絡先を共有する

**本FOMA端末に記録されている連絡先を他のアプリケーションでも共有することができます。**

## 1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- 連絡先の情報が表示されます。

## 2 ▶「共有」

- 共有するアプリケーションの選択メニューが表示されます。

## 3 いずれかのアプリケーションをタップする

- 選択したアプリケーションに応じて画面が表示されます。画面表示に従って操作してください。

**お知らせ**

- Bluetoothを利用した電話帳の転送機能には対応しておりません。

## 連絡先をお気に入りに追加する

**連絡先をお気に入りに追加すると、「お気に入り」タブに表示されます。「お気に入り」タブを使用すると、特定の連絡先をすばやく表示して利用できます。**

## 1 「連絡先」タブでお気に入りに登録する連絡先を1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

## 2 「お気に入りに追加」

- 連絡先が「お気に入り」タブに追加されます。

**お知らせ**

- お気に入りに追加した連絡先の情報を表示すると、画面の右上の星型アイコンが黄色で表示されます。
- 黄色の星型アイコンをタップすると灰色になり、連絡先が「お気に入り」タブに表示されなくなります。
- 灰色の星型アイコンをタップすると黄色になり、連絡先が「お気に入り」タブに追加されます。

# ネットワークサービス

## 利用できるネットワークサービス

**本FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスがご利用いただけます。各サービスの概要やご利用方法については、以下の表の参照先をご覧ください。**

| サービス名 | 月額使用料 | お申し込み | 参照先 |
|---|---|---|---|
| 留守番電話サービス | 有料 | 必要 | P55 |
| キャッチホン | 有料 | 必要 | P56 |
| 転送でんわサービス | 無料 | 必要 | P57 |
| 発信者番号通知サービス | 無料 | 不要 | P58 |

**お知らせ**

- サービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用いただけません。
- ネットワークサービスについて詳しくは、『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- ネットワークサービスのお申し込み、お問い合わせについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 本書では各ネットワークサービスの概要をFOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明します。
- サービス停止とは、留守番電話サービス、転送でんわサービスなどの契約そのものを解約するものではありません。

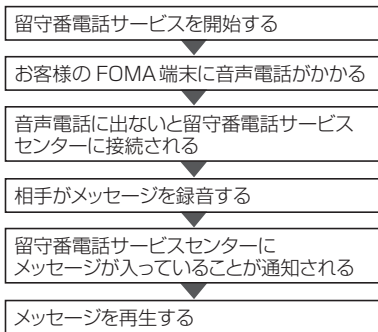
# 留守番電話サービス

**電波の届かないところにいるとき、電源を切っているとき、電話に出られないときなどに、音声電話でかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わってメッセージをお預かりするサービスです。**

お知らせ

- 留守番電話サービスを「開始」にしているときに、かかってきた音声電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」に「不在着信」として記録され、[アイコン]がステータスバーに表示されます。
- 本FOMA端末にはFOMA端末内にメッセージを保存する伝言メモの機能はありません。留守番電話サービスをご利用ください。

## 留守番電話サービスの基本的な流れ

留守番電話サービスを開始する
▼
お客様の FOMA 端末に音声電話がかかる
▼
音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される
▼
相手がメッセージを録音する
▼
留守番電話サービスセンターにメッセージが入っていることが通知される
▼
メッセージを再生する

お知らせ

- メッセージは1件あたり最長3分、最大20件まで録音でき、最長72時間保存されます。
- 留守番メッセージの件数表示は、すべてのメッセージを再生するまで表示したままです。

## 留守番電話サービスを設定する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「留守番電話サービス」**

- 「留守番電話サービス」画面が表示されます。以下の操作が行えます。

| | |
|---|---|
| **開始** | 「OK」をタップすると、留守番電話サービスを開始します。 |
| **呼出時間** | 呼出時間を0～120（秒）で入力します。<br>呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。 |
| **停止** | 留守番電話サービス設定時に「OK」をタップすると、留守番電話サービスが停止します。 |
| **設定確認** | 留守番電話サービスの設定状況が表示されます。 |
| **メッセージ再生** | 「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで留守番メッセージが再生されます。 |
| **設定** | 「OK」をタップすると、留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで留守番電話の設定を変更します。 |

| メッセージ問合せ | 留守番電話のメッセージがあるかどうか確認します。問い合わせ後、問い合わせが完了したことを通知するメッセージが表示されます。 |
|---|---|
| 件数増加鳴動設定 | 「件数増加鳴動設定」画面が表示されます。「サウンド」「バイブレータ」にチェックマークを付けると、留守番電話メッセージをお預かりしたときに、音／バイブレータのいずれか、または両方でメッセージの到着をお知らせします。 |
| 着信通知 | 「着信通知」画面が表示されます。ここでは、電源が入っていないときや圏外のときに着信があった場合、再び電源を入れたときや圏内に入ったときに着信日時や発信者番号をメッセージ（SMS）で通知する機能の設定を行います。<br>•「開始」をタップすると、着信通知の対象が指定できます。「全着信」を選択すると、すべての着信が通知されます。「発番号あり」を選択すると、番号を通知している着信のみ通知されます。<br>•「停止」をタップし、着信通知を行っている状態で「OK」をタップすると着信通知が停止されます。<br>•「設定確認」をタップすると着信通知の設定状況が表示されます。 |
| 表示消去 | 留守番電話の通知が消去されます。 |

**お知らせ**

- 留守番電話サービスセンターでメッセージをお預かりしている場合、ステータスバーに が表示されます。 は、すべてのメッセージをガイダンスに従って消去または保存すると、消すことができます。

### メッセージを再生する

**1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする**

- 通知パネルが表示されます。

**2 「新しいボイスメール」▶「はい」**

- 留守番電話サービスセンターに接続されます。ガイダンスに従い操作することで留守番メッセージが再生されます。

## キャッチホン

**通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の通話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、新たにお客様の方から別の相手へ電話をかけることもできます。**

**お知らせ**

- 保留中も、電話を発信した方に通話料金がかかります。

### キャッチホンを設定する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「キャッチホン」**

- 「キャッチホン」画面が表示されます。以下の操作を行うことができます。

| 開始 | 「OK」をタップすると、キャッチホンサービスを開始します。 |
|---|---|
| 停止 | 「OK」をタップすると、キャッチホンサービスを停止します。 |
| 設定確認 | キャッチホンの設定状況が表示されます。 |

### 通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出る

**1 通話中に「ププ…ププ…」という音が聞こえたら「応答」**

- 通話中の相手との通話は自動的に保留となり、後からかかってきた電話を受けます。

## 2 最初の相手との通話に切り替える

- 後からかかってきた相手との通話を終了する場合は、「終了」をタップします。後からかかってきた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 後からかかってきた相手との通話を保留にする場合は、「切り替え」をタップします。後からかかってきた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

### 通話中の電話を終了して、かかってきた電話に出る

## 1 通話中に ▶「通話を終了して応答」または「通話中通話終了」

- 通話中の相手との通話が終了し、後からかかってきた電話を受けます。

### 通話中の電話を保留にして、別の相手に電話をかける

**通話中の電話を保留にして、新たに自分から別の相手に電話をかけることができます。**

## 1 通話中に「通話を追加」

- 「電話」タブが表示されます。

## 2 相手の電話番号を入力して

- 最初の相手との通話は自動的に保留となり、新たにかけた相手との通話に切り替わります。「連絡先」タブ、「通話履歴」タブをタップすることで連絡先を検索することもできます。

## 3 最初の相手との通話に切り替える

- 新しくかけた相手との通話を終了するには「終了」をタップします。新しくかけた相手との通話が終了し、最初の相手との通話に切り替わります。
- 新しくかけた相手との通話を保留にするには「切り替え」をタップします。新しくかけた相手との通話が保留となり、最初の相手との通話に切り替わります。「切り替え」をタップするたびに通話相手が切り替わります。

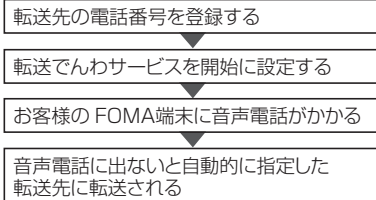
# 転送でんわ

**電源が入っていないとき、または電波が届かないところにいるとき、設定した呼出時間内に応答がなかったときなどに、音声電話を転送するサービスです。**

**お知らせ**

- 転送でんわサービスを「開始」にしているときに、かかってきた電話に応答しなかった場合には、「通話履歴」タブには「不在着信」として記録され、ステータスバーに が表示されます。

### 転送でんわサービスの基本的な流れ

転送先の電話番号を登録する
▼
転送でんわサービスを開始に設定する
▼
お客様の FOMA端末に音声電話がかかる
▼
音声電話に出ないと自動的に指定した転送先に転送される

### 転送でんわサービスの通話料について

発信者
▼ 発信者に通話料がかかります。
転送でんわサービスのご契約者
▼ 転送でんわサービスのご契約者に通話料がかかります。
転送先

**お知らせ**

- 転送でんわサービスが有効になっていても、呼び出しが継続している間に応答すれば、そのまま通話できます。

### 転送でんわサービスを設定する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「転送でんわ」**

- 「転送でんわ」画面が表示されます。以下の操作が行えます。

| 開始 | 転送先を変更する | 転送先の電話番号を入力します。 |
|---|---|---|
| | 呼出時間を変更する | 呼出時間を0～120（秒）で入力します。呼出時間を「0」とした場合には、着信履歴に記録されません。 |
| 停止 | | 「OK」をタップすると、転送でんわサービスを停止します。 |
| 転送先変更 | | 変更する転送先の電話番号を入力して「OK」をタップすると、転送先を変更します。転送でんわサービスが停止状態にある場合、「開始」にチェックマークを付けることで転送でんわサービスの開始操作も行うことができます。 |
| 転送先通話中時設定 | | 「接続する」をタップすると、転送先が通話中の場合、着信を自動的に留守番電話サービスセンターに接続します*。 |
| 設定確認 | | 転送サービスの設定状況が表示されます。 |

*「留守番電話サービス」のご契約が必要です。

### 転送ガイダンスの有無を設定する

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

**2 「1」▶「4」▶「2」▶「9」▶**

- 音声ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って設定してください。詳しくは『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

## 発信者番号通知

**電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を表示することができます。**

**お知らせ**

- （圏外）が表示されているところでは発信者番号通知の操作はできません。
- 相手の電話機が発信者番号表示が可能なときだけ有効です。

- 電話をかけたときに、発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定するか「186」を付けてからおかけ直しください。

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「発信者番号通知」**

- 「発信者番号通知」画面が表示されます。以下の操作を行うことができます。

| 設定確認 | 発信者番号通知の設定状況が表示されます。 |
|---|---|
| 設定 | 発信者番号の通知設定ができます。「通知する」をタップすると通知、「通知しない」をタップすると通知しないように設定します。 |

## 追加サービス

**ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用できます。**
**新しいネットワークサービスが提供されると、そのネットワークサービスを利用するために「サービスコード（USSD）」が通知されます。**
**また、追加したサービスを利用する際にドコモのサービスセンターから返ってくるコードに対応した応答メッセージを登録できます。**

### 追加サービスを設定する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」**

- 「追加サービス」画面が表示されます。

**2 「USSD追加機能」▶「USSD追加機能」**

- 「USSD追加機能」メニューが表示されます。

**3 「名称」と「コマンド」を入力して「OK」**

- 「名称」は、全角で10文字、半角で20文字まで入力できます。

### サービス利用時の応答メッセージを登録する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」**

- 「追加サービス」画面が表示されます。

**2 「USSD応答メッセージ追加」▶「USSD応答メッセージ追加」**

- 「USSD応答メッセージ追加」メニューが表示されます。

**3 応答時のメッセージとサービスコード（USSDストリング）を入力して「OK」**

- 新しいサービスを追加します。

**お知らせ**

- 新しいネットワークサービスは最大10件まで登録できます。

### 登録したサービスを利用する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「通話設定」▶「追加サービス」**

- 「追加サービス」画面が表示されます。

**2 「USSD追加機能」▶登録したサービスをタップする**

- 登録したサービスが利用できます。

# 各種設定

## 設定メニュー

**本FOMA端末では、ホーム画面で 「メニュー」▶「本体設定」を タップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。ここで表示されるメニューは以下の通りです。**

| 無線とネットワーク | 各種ネットワークに関する設定を行います。（P60） |
|---|---|
| 通話設定 | 各種通話に関する設定を行います。（P62） |
| 音 | 着信音の種類や音量、マナーモード、バイブレータなどの設定を行います。（P62） |
| 表示 | 画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。（P63） |
| 現在地情報とセキュリティ | GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。（P63） |
| アプリケーション | アプリケーションに関する設定を行います。（P66） |
| アカウントと同期 | アカウントおよび同期に関する設定を行います。（P66） |
| プライバシー | FOMA端末内のすべてのデータを消去します。（P66） |
| SDカードと端末容量 | microSDカードの状態表示、マウント、フォーマット、内部メモリの空き容量表示などを行います。（P66） |
| 言語とキーボード | 本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。（P67） |
| 音声入出力 | 音声認識装置の設定やテキストの読み上げに関する設定を行います。（P67） |
| ユーザー補助 | ユーザー補助に関するアプリケーションのダウンロード／インストールと設定を行います。（P67） |
| 日付と時刻 | 日付や時刻に関する設定を行います。（P68） |
| 端末情報 | 本FOMA端末に関する各種情報を表示します。（P68） |

**お知らせ**

- ホーム画面で ▶「本体設定」をタップしても、「設定」画面が表示されます。

## 無線とネットワーク

**各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。**

| 機内モード | 電波を発する機能を有効／無効にします。 |
|---|---|
| Wi-Fi | Wi-Fi機能をON／OFFにします。 |
| Wi-Fi設定 | Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。（P28） |
| Bluetooth | Bluetooth機能をON／OFFにします。 |
| Bluetooth設定 | Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。 |

| VPN設定 | VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。 |
|---|---|
| モバイルネットワーク | アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。 |
| On-Screen Phone設定 | On-Screen Phoneのパスワードを変更します。 |

● LG On-Screen Phone（OSP）とは

LG On-Screen PhoneはFOMA端末の画面をパソコンで表示でき、パソコンのマウス／キーボード入力を使ってFOMA端末を簡単に操作できる機能※です。
パソコンのキーボードを使って文字を入力したり、アラームやスケジュールや電話の受信などをパソコンに通知したり、ドラッグ&ドロップでパソコンとFOMA端末でファイルの交換をしたりできます。

※FOMA端末で操作できる機能のうち、LG On-Screen Phoneでは操作できない機能もあります。

● OSPについて

- 操作方法やパソコンソフトのダウンロード、その他詳しくは、下記のホームページをご参照ください。
  パソコンから
  →http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

## アクセスポイントを設定する

**インターネットに接続するためのアクセスポイントは、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。spモード、mopera Uのアクセスポイントはあらかじめ登録されています。お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。**

### 利用中のアクセスポイントを確認する

1 **ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」**

### アクセスポイントを追加で設定する<新しいAPN>

1 **ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」▶「新しいAPN」**

2 **「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」**

3 **「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」**

4 **その他、通信事業者によって要求されている項目を入力**

5 **「保存」**

**お知らせ**

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

## アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 **ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」**

2 **[メニューキー] ▶「初期設定にリセット」**

## spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

## mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

### mopera Uを設定する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 「mopera U（スマートフォン定額）」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

**お知らせ**

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。
- 「mopera U（スマートフォン定額）」をご利用の場合、「パケ・ホーダイ ダブル／パケ・ホーダイ シンプル」のご契約が必要です。mopera U（スマートフォン定額）の詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

# 通話設定

各種通話に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| ネットワークサービス | |
|---|---|
| 留守番電話サービス | 留守番電話サービスに関する設定を行います。（P55） |
| キャッチホン | キャッチホンに関する設定を行います。（P56） |
| 転送でんわ | 転送でんわに関する設定を行います。（P57） |
| 発信者番号通知 | 電話をかけたときに相手に発信者番号を表示するかどうかを設定します。（P58） |
| 追加サービス | 新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスを利用するための設定を行います。（P59） |
| その他の通話設定 | |
| 簡単メッセージ | 簡単メッセージ（自動応答メッセージ）を選択します。 |

# 音

着信音の種類や音量、マナーモード、バイブレータなどの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| 全般 | |
|---|---|
| マナーモード | マナーモードにする／しないを設定します。マナーモードにすると、音楽／動画メディア、アラーム以外は消音になります。 |
| バイブ | バイブレータを使用する場面を設定します。 |

| 音量 | 着信音、音楽／動画メディア、アラームの音量を設定します。 |
|---|---|
| **着信** | |
| 着信音 | 着信音として使用する音を設定します。 |
| **通知** | |
| 通知音 | 通知音として使用する音を設定します。 |
| **フィードバック** | |
| タッチ操作音 | 電話番号の入力時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。 |
| 選択時の操作音 | メニュー選択時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。 |
| 画面ロックの音 | 画面のロック／ロック解除時に音を鳴らす／鳴らさないを設定します。 |
| 入力時バイブレーション | 、、操作時など特定の操作を行った場合にバイブレーションが動作する／しないを設定します。 |

## 表示

**画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。**

| 画面の明るさ | 画面の明るさを設定します。 |
|---|---|
| 画面の自動回転 | 本FOMA端末を回転した場合、画面表示を自動的に変更する／しないを設定します。 |
| スライド画面ロック設定 | スライドオープン時に画面ロックを解除するかどうかを設定します。 |
| アニメーション表示 | アニメーション表示の設定を行います。 |
| バックライト消灯 | 操作しない状態がどれだけ継続したらバックライトを消灯するかを設定します。 |

## 現在地情報とセキュリティ

**GPSや画面ロック、パスワードの設定などを行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。**

| **現在地** | |
|---|---|
| 無線ネットワークを使用 | 無線ネットワークを使用するアプリケーションで位置情報を表示します。 |
| GPS機能を使用 | GPS機能を使用する／しないを設定します。 |
| **画面のロック解除** | |
| 画面ロックの設定 | 画面ロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。 |
| **SIMカードロック** | |
| SIMカードロック | SIMカード（ドコモUIMカード）のロックを使用する／しない、使用する場合に必要な設定を行います。 |
| **パスワード** | |
| パスワードを表示 | パスワード入力時に、入力した文字を表示する／しないを設定します。 |
| **デバイス管理** | |
| デバイス管理者を選択 | 本FOMA端末の管理者を追加、削除、または選択します。 |
| **認証情報ストレージ** | |
| 安全な認証情報の使用 | 安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可する／しないを設定します。 |
| SDカードからインストール | 暗号化された証明書をmicroSDカードからインストールします。 |
| パスワードの設定 | 認証情報ストレージのパスワードを設定／変更します。 |

| ストレージの消去 | 認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去してパスワードをリセットします。 |
|---|---|

● 画面ロック解除について

- 画面ロックの解除パターン入力を5回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。パターンをお忘れの場合、再入力画面で「パターンを忘れた場合」をタップしてFOMA端末に設定したGoogleアカウントでログインすると、新しいパターンを入力できます。
- Googleアカウントを設定していない場合、PIN、画面ロックパスワードを忘れた場合は画面ロックを解除できませんのでご注意ください。

## 暗証番号とドコモUIMカードの保護について

**本FOMA端末を便利で安全にお使いいただくため、本FOMA端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本FOMA端末をご活用ください。**

お知らせ

- 本FOMA端末に設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本FOMA端末、ドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

### ネットワーク暗証番号

**「ネットワーク暗証番号」とは、ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。**

お知らせ

- 「My docomo」については、取扱説明書裏面の裏側をご覧ください。

### PINコード

**ドコモUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。**
**PINコードは、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、ドコモUIMカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を認識するために入力する4～8桁の暗証番号です。**

お知らせ

- 別のFOMA端末で利用していたドコモUIMカードを本FOMA端末に差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。

- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

## PINロック解除コード（PUKコード）

**PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。**
**なお、PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップにお問い合わせください。**

## ドコモUIMカードのPINを有効にする

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**

- 「位置情報とセキュリティの設定」画面が表示されます。

**2 「SIMカードロック」**

- 「SIMカードロック設定」画面が表示されます。

**3 「SIMカードをロック」**

- 「SIMカードをロック」メニューが表示されます。

**4 PINコードを入力して「OK」**

- 電源を入れたときにPINコードの入力が求められます。

## PINコードを変更する

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**

- 「位置情報とセキュリティの設定」画面が表示されます。

**2 「SIMカードロック」**

- 「SIMカードロック設定」画面が表示されます。

**3 「PINコードを変更」**

- 「PINコードを変更」メニューが表示され、PINコードの入力が求められます。

**4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」**

- 「PINコードを変更」メニューでPINコードの入力が求められます。

**5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」**

- 「PINコードを変更」メニューで再びPINコードの入力が求められます。

**6 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」**

- PINコードが変更されます。

**お知らせ**

- PINコードは、初期設定で「0000」となっています。

## PINコードを入力する

**本FOMA端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。**

**1 ドコモUIMカードのPINコードを入力して「OK」**

## ドコモUIMカードのPUKロックを解除する

**1 PINロック解除コード（PUK）入力画面でPINロック解除コードを入力して「OK」**

**2 新しいPINコードを入力して「OK」▶確認のため、もう一度新しいPINコードを入力して「OK」**

## アプリケーション

アプリケーションに関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| **提供元不明のアプリ** | Androidマーケットで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可する／しないを設定します。 |
| **クイック起動** | 特定のアプリケーションを起動するためのショートカットキーを割り当てます。 |
| **アプリケーションの管理** | インストールされているアプリケーションをリスト表示／削除します。 |
| **実行中のサービス** | 実行中のサービスをリスト表示／停止します。 |
| **開発** | アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。 |

## アカウントと同期

アカウントおよび同期の設定を行います。
ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| **同期の基本設定** | |
|---|---|
| **バックグラウンドデータ** | 同期機能を有するアプリケーションが常に同期およびデータの送受信を可能とする／しないを設定します。 |
| **自動同期** | 同期機能を有するアプリケーションが自動的にデータを同期するようにする／しないを設定します。 |
| **アカウントを管理** | |
| Microsoft Exchange、Googleなど本FOMA端末で使用するアカウントを追加／削除したり、同期するアプリケーションの設定を行います。<br>• docomoアカウントは削除できません。 | |

## プライバシー

初期化の操作を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| **個人データ** | |
|---|---|
| **データの初期化** | 本FOMA端末内のすべてのデータを消去します。 |

## SDカードと端末容量

microSDカードの状態表示、マウント、フォーマット、内部メモリの空き容量表示を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| **USB接続モード** | |
|---|---|
| **マスストレージのみ** | USB接続時に、マスストレージモードにします。 |
| **SDカード** | |
| **合計容量** | 挿入されているmicroSDカードの全容量を表示します。 |
| **空き容量** | 挿入されているmicroSDカードの空き容量を表示します。 |
| **SDカードをマウント／SDカードのマウント解除** | microSDカードをマウント／マウント解除します。 |
| **SDカードをフォーマット** | microSDカードを本FOMA端末用にフォーマットします。 |
| **端末内部メモリ** | |
| **空き容量** | 端末内部メモリの空き容量を表示します。 |

## 言語とキーボード

本FOMA端末の使用言語やキーボードの設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| 言語を選択 | FOMA端末で使用する言語を選択します。 |
|---|---|
| **文字入力設定** | |
| iWnn IME | iWnn IMEの有効／無効を設定します。 |
| iWnn IME | iWnn IMEについて各種設定を行います。 |
| 端末内蔵キーボード | 端末内蔵キーボード（ハードウェアキーボード）について各種設定を行います。 |
| ユーザー辞書 | Googleが提供する文字入力アプリケーションを使用する場合のユーザー辞書について登録などを行います。 |

**お知らせ**

- Googleが提供する文字入力アプリケーションはAndroidマーケットからダウンロードできます。

## 音声入出力

音声の入出力に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| **音声入力** | |
|---|---|
| 音声認識装置の設定 | 音声認識装置の設定を行います。 |
| **音声出力** | |
| テキスト読み上げの設定 | テキストの読み上げに関する設定を行います。 |

## ユーザー補助

ユーザー補助に関するアプリケーションのダウンロード／インストールと設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| ユーザー補助 | ユーザー補助を有効／無効にします。 |
|---|---|

**お知らせ**

- ユーザー補助を設定したい場合は、あらかじめAndroidマーケットから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。

# 日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| **自動** | ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。 |
| **日付設定** | 日付の設定を行います。 |
| **タイムゾーンの選択** | タイムゾーンの設定を行います。 |
| **時刻設定** | 時刻の設定を行います。 |
| **24時間表示** | 24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。 |
| **日付形式** | 日付の表示形式を設定します。 |

# 端末情報

本FOMA端末に関する各種情報を表示します。ここで表示されるメニューと機能の概要は以下の通りです。

| | |
|---|---|
| **ソフトウェア更新** | 本FOMA端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。 |
| **端末の状態** | 本FOMA端末に関する各種情報を表示します。 |
| **電池使用量** | 電池の使用量に関する情報を表示します。 |
| **法的情報** | 利用規約に関する情報を表示します。 |
| **DivX VOD登録** | DivXを使用する際に必要となる端末の登録コードを表示します。 |
| **モデル番号** | 本FOMA端末のモデル番号（機種名）を表示します。 |
| **Androidバージョン** | 本FOMA端末で稼働中のAndroidのバージョンを表示します。 |
| **カーネルバージョン** | 本FOMA端末で稼働中のAndroidで使用されているカーネルのバージョンを表示します。 |
| **ビルド番号** | 本FOMA端末で稼働中のAndroidのビルド番号を表示します。 |
| **ソフトウェアバージョン** | 本FOMA端末のソフトウェアバージョンを表示します。 |

## 自局番号を表示する

**1** ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「端末情報」

- 「端末情報」画面が表示されます。

**2** 「端末の状態」

- 「端末の状態」画面が表示されます。「電話番号」として自局番号が表示されます。

# メール／ブラウザ

## Eメール

パソコンと同様にメールを送受信できます。一般的なメールのほかMicrosoft Exchange Serverを使用したメールの送受信も行うことができます。

### Eメールアカウントを設定する

**1 ホーム画面で「メール」▶「メール」**

- 「Eメールサービスプロバイダー」画面が表示されます。Microsoft Exchange Serverによりメールの送受信を行う場合には「MS Exchange」、それ以外の場合には「その他」をタップします。

**2 「メールアカウントの登録」画面でメールアドレスとパスワードを入力する**

**3 「次へ」**

- 「サーバー設定」画面が表示されます（「その他」を選択している場合はアカウントタイプを選択した後に表示されます）。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

お知らせ

- ここで設定した内容は、後から変更できます。詳しくは「Eメールの設定を変更する」（P71）をご参照ください。
- Microsoft Exchange Serverのバージョンや一部機能によってはご利用いただけない場合があります。

### Eメールを開く

**1 ホーム画面で「メール」▶「メール」**

- 「受信トレイ」画面が表示されます。

お知らせ

- 複数のメールアカウントを設定している場合は、受信トレイ画面で ▶「アカウント」で登録しているアカウントをタップして切り替えることができます。

### Eメールを作成する／送信する

**1 「受信トレイ」画面で ▶「作成」**

- 「作成」画面が表示されます。

**2 「To」ボックスをタップ ▶送信相手のメールアドレスを入力する**

**3 「件名」ボックスをタップ ▶件名を入力する**

**4 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する**

- ファイルを添付する場合は、 ▶「添付ファイルを追加」▶ファイルを選択します。

**5 「送信」**

- 下書き保存する場合は、「下書き保存」をタップします。

**お知らせ**

- 「To」ボックスの右側に ! が表示された場合、無効なメールアドレスが指定されています。入力内容を確認して修正してください。
- をタップすると、「連絡先」画面が表示されます。いずれかをタップすることで、連絡先として登録されているメールアドレスを入力することができます。
- 添付ファイル名の右側にある × をタップすると、添付ファイルが削除されます。
- 下書きとして保存したメールは、再び「作成」画面に表示し、必要に応じて内容を修正して送信できます。「受信トレイ」画面で ▶「フォルダ」▶「下書き」をタップしてください。「下書き」画面が表示され、下書き保存されたメールがリスト表示されます。いずれかをタップすると、「作成」画面に表示されます。

## Eメールを受信する／表示する

### Eメールを表示する

**1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする**

- メール画面にメールの内容が表示されます。

**お知らせ**

- 「メール」アプリケーションを開くことで、メールサーバーに自動的に接続し、新着メールがあれば受信して「受信トレイ」画面に追加されます。ただし、「メール」アプリケーションを開いたままの状態で、かつ新着メールを自動的に確認しない設定になっていると、新着メールは自動的に受信されません。こうした場合には、「受信トレイ」画面を更新します。詳しくは次項をご参照ください。
- 新着メールを自動的に確認する設定について詳しくは「Eメールの設定を変更する」（P71）をご参照ください。

### 「受信トレイ」画面を更新する

**1 「受信トレイ」画面で ▶「更新」**

- 新着メールがある場合は受信し、「受信トレイ」に表示されます。

## Eメールを返信する／転送する

**受信したメールに返信したり、送信者以外の相手に転送することもできます。**

### Eメールを返信する

**1 受信したメールの内容が表示された状態で「返信」**

- 「作成」画面が表示されます。

**2 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する**

**3 「送信」**

- メールが返信されます。

**お知らせ**

- メール画面で ▶「返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。
- 「作成」画面の1番上の「To」ボックスは、送信相手のメールアドレスを指定します。ここには、送信者のメールアドレスが表示されますが、カンマの後に別のメールアドレスを入力すると、送信者以外にも同報送信できます。
- 「作成」画面の上から2番目の「件名」ボックスは、件名を入力します。送信時の件名を引用し「Re:～」と表示されますが、この「件名」ボックスをタップすることで任意の件名に変更できます。

### Eメールを全員に返信する

**1 受信したメールの内容が表示された状態で「全員に返信」**

- 「作成」画面が表示されます。

2 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する

3 「送信」

- メールが返信されます。

**お知らせ**

- メール画面で[メニュー] ▶「全員に返信」をタップすることで「作成」画面を表示することもできます。

### Eメールを転送する

1 受信したメールの内容が表示された状態で[メニュー] ▶「転送」

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスをタップ ▶転送相手のメールアドレスを入力する

3 追記するメッセージがあれば、「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する

4 「送信」

**お知らせ**

- 「作成」画面の上から2番目の「件名」ボックスは、件名を入力します。送信時の件名を引用し「Fwd:~」と表示されますが、この「件名」ボックスをタップすることで任意の件名に変更できます。

## Eメールを削除する

1 受信したメールの内容が表示された状態で「削除」

- メールが削除されます。

**お知らせ**

- 「受信トレイ」画面で削除するメッセージを1秒以上タッチするとメニューが表示されます。ここで「削除」をタップすることで削除することもできます。

## アカウントを追加する

「メール」アプリケーションでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 「受信トレイ」画面で[メニュー] ▶「アカウント」

- 「メール」画面が表示されます。

2 [メニュー] ▶「アカウントを追加」

- 「Eメールサービスプロバイダー」画面が表示されます。

3 Microsoft Exchange Serverによりメールの送受信を行う場合には「MS Exchange」、それ以外の場合には「その他」をタップする

- 「メールアカウントの登録」画面が表示されます。

4 画面の表示に従い設定を行う

## Eメールの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面で[メニュー] ▶「アカウントの設定」

- 「アカウントの設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

| 全般設定 | アカウント名、署名、新着メールを確認する頻度、どのアカウントを優先アカウントにするかなどを設定します。 |
|---|---|
| 通知設定 | 新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音／バイブレーションなどを設定します。 |
| サーバー設定 | 受信／送信サーバーの設定を行います。 |

# spモードメール

ｉモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

**1** ホーム画面で「メール」▶「spモードメール」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

**お知らせ**

- spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

# Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、Gmailを利用してメールが送受信できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、アカウントを取得することで使用できます。

## Gmailを開く

**1** ホーム画面で「メール」▶「Gmail」

- Gmailが開き、「受信トレイ」画面が表示されます。

**お知らせ**

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

## メールを受信する／表示する

Gmailは、自動同期が設定されており、通信エリア内にいる場合、本FOMA端末で自動的に受信されます。メールを受信した場合、通知設定に応じて着信音が鳴ったり、バイブレータが動作します。
自動同期について詳しくは「アカウントと同期」（P66）、通知設定について詳しくは「音」（P62）をご参照ください。

### メールを表示する

メールを受信すると、がステータスバーに表示されます。

**1** メールの着信通知があったら、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。

**2** メールの着信通知をタップする

- 「受信トレイ」画面が表示されます。
- 「受信トレイ」画面では、最初に送信または受信したメールへのすべての返信が 1つのスレッドとして表示されます。

**3** いずれかのスレッドをタップする

- スレッドに含まれるメールが表示されます。

お知らせ

- ホーム画面で「メール」▶「Gmail」をタップして「受信トレイ」画面を表示し、いずれかのスレッドをタップすることでメールを表示することもできます。
- メールの内容を表示している状態でメールアドレスの横にある をタップすると、連絡先に登録できます。また、すでに登録済みの場合は、ふきだしにアプリケーションのアイコンが表示され、アイコンをタップすると登録済みの内容から電話発信やSMS、メールが利用できます。
- メールの送信者がGoogleトークの友だちとして登録されている場合、ステータス（オンライン、取り込み中など）が色付きのアイコンで名前の右に表示されます。詳しくは、「トーク」（P85）をご参照ください。
- 受信したメールの添付ファイルが画像ファイルである場合のみmicroSDカードに保存できます。ただし、「.bmp」ファイルは保存できません。また、microSDカードを挿入していない場合、添付ファイルは保存できません。
- 受信したメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。

### 「受信トレイ」画面を更新する

**1 「受信トレイ」画面で ▶「更新」**

- 本FOMA端末のGmailアプリケーションとGmailアカウントを同期し、新着Eメールがあった場合、受信トレイの表示が更新されます。

## メールを返信する／転送する

**受信したメールに返信することができます。送信者が複数の相手に対して送信している場合、全員に対して返信することもできます。また、受信したメールを第三者に転送することもできます。**

### メールを返信する

**1 受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

- ポップアップメニューが表示されます。

**2 「返信」**

- 「作成」画面が表示されます。

**3 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する**

**4 「送信」**

### メールを全員に返信する

**1 受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

- ポップアップメニューが表示されます。

**2 「全員に返信」**

- 「作成」画面が表示されます。

**3 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する**

**4 「送信」**

### メールを転送する

**1 受信したメールの内容が表示された状態で、メールアドレスの横にある をタップする**

- ポップアップメニューが表示されます。

**2** 「転送」

- 「作成」画面が表示されます。

**3** 「To」ボックスをタップ ▶転送相手のメールアドレスを入力する

**4** 追記するメッセージがあれば、「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する

**5** 「送信」

## メールを削除する

**1** 「受信トレイ」画面で削除するスレッドを1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

**2** 「削除」

- メールが削除されます。

## メールをアーカイブする

スレッド単位でメールをアーカイブとして保存することができます。アーカイブしたメールは受信トレイに表示されなくなります。ただし、削除とは異なり、必要に応じて再び表示することができます。

### スレッドをアーカイブする

**1** 受信したメールの内容が表示された状態で「アーカイブ」

- 「受信トレイ」画面が表示され、アーカイブを行った旨のメッセージが表示されます。

**お知らせ**

- 「受信トレイ」画面に戻ると、右上に「取消」リンクが表示されます。このリンクをタップすると、アーカイブ操作を取り消すことができます。

### アーカイブしたスレッドを「受信トレイ」画面に表示する

**1** 「受信トレイ」画面で ▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」

- 「受信トレイ」画面が表示され、アーカイブされたスレッドも表示されます。

## メールを検索する

**1** 「受信トレイ」画面で

- クイック検索ボックスが表示されます。

**2** 検索文字を入力して

- 検索文字に一致するメールがリスト表示されます。

**お知らせ**

- 「受信トレイ」画面で ▶「検索」をタップすることでクイック検索ボックスを表示することもできます。

## メールを作成する／送信する

新たにメールを作成し送信できます。また、画像を添付して送信することもできます。
なお、Gmailは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末側でパソコンからのメールの受信を拒否する設定をしていると、メールを受信できません。

## 1 「受信トレイ」画面で ▶「新規作成」

- 「作成」画面が表示されます。

## 2 「To」ボックスをタップ ▶送信相手のメールアドレスを入力する

- アルファベットまたは名前を入力すると、連絡先に登録されているメールアドレスが候補として表示されます。

## 3 「件名」ボックスをタップ ▶件名を入力する

## 4 「メッセージを作成」ボックスをタップ ▶メッセージを入力する

- 画像ファイルを添付するには、 ▶「添付」をタップします。「選択」画面が表示されるので、添付する画像をタップしてください。
- Gmailでは動画の添付はできません。

## 5 「送信」

- 下書き保存する場合は、「下書き保存」をタップします。

**お知らせ**

- 複数の宛先に送信する場合は、それぞれのメールアドレスをカンマで区切って入力してください。
- CcまたはBccで送信するには「作成」画面で ▶「Cc/Bccを追加」をタップします。「作成」画面に「Cc」ボックスと「Bcc」ボックスが表示されます。
- メモリ容量に空きがある限り、送信する宛先の数に制限はありません。
- 下書き保存したメールを表示して、編集をしたり送信するには、「受信トレイ」画面で ▶「ラベルを表示」をタップします。「ラベル」画面が表示されるので「下書き」をタップすると、下書き保存されたメールが表示されます。いずれかのメールをタップすることで、メールが「作成」画面に表示され、編集できます。

## スレッドの管理

**「受信トレイ」画面でいずれかのスレッドを1秒以上タッチするとメニューが表示されます。ここで表示されるメニューにより以下のような操作ができます。**

| | |
|---|---|
| **開く** | スレッドを開きます。 |
| **アーカイブ** | メールをアーカイブします。アーカイブについて詳しくは「メールをアーカイブする」（P74）をご参照ください。 |
| **ミュート** | スレッド全体をミュートします。ミュートすると、スレッドが受信リストに表示されなくなります。ミュートしたスレッドは、「受信トレイ」画面で ▶「ラベルを表示」▶「すべてのメール」をタップすると確認できます。 |
| **未読にする／既読にする** | スレッドを開くと自動的にステータスが既読に変更されます。既読のスレッドの場合は、「未読にする」をタップすることでステータスを未読にできます。未読のスレッドの場合は、「既読にする」をタップすることでステータスを既読にできます。 |
| **削除** | スレッドを削除します。 |
| **スターを付ける／はずす** | スレッドの星型アイコンを黄色にします。すでに黄色になっている星型アイコンのスレッドの場合には、スレッドを1秒以上タッチすると「スターをはずす」が表示され、タップすると星型アイコンがグレーになります。 |

| ラベルを変更 | このメニューをタップすると「ラベル」メニューが表示されます。チェックを入れたラベルが設定されます。 |
|---|---|
| 迷惑メールを報告 | スレッドが削除され、迷惑メールとしてGoogleに報告されます。 |
| ヘルプ | Googleモバイルヘルプページが表示され、Googleが提供するモバイル用ソフトウェアの情報が参照できます。 |

## Gmailの設定を変更する

**1** **「受信トレイ」画面または受信したメールの内容が表示された状態で ▶「その他」▶「設定」**

- 「設定」画面が表示されます。

**2** **必要に応じて設定を変更する**

| 全般設定 | 署名、操作の確認を行うかどうか、文字サイズ、ラベルなどを設定します。検索履歴を消去することもできます。 |
|---|---|
| 通知設定 | 新着メール受信時の通知、メール受信時の着信音／バイブレーションなどを設定します。 |

# SMS

**他の端末へ全角最大70文字（半角英数字のみの場合は160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。**

## メッセージ（SMS）を送信する

**1** **ホーム画面で「メール」▶「メッセージ」**

- 「メッセージ」画面が表示されます。

**2** **「新規作成」**

**3** **「To」ボックスをタップ ▶ 送信相手の電話番号を入力する**

- 入力した数字または漢字に前方一致する連絡先が表示されます。

**4** **「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ メッセージを入力する**

**5** **「送信」**

- メッセージが送信されます。

**お知らせ**

- 「メッセージを入力」ボックスの右上にカウンタが表示され、あと何文字入力できるかが示されます。
- メッセージを入力中に ▶「絵文字を挿入」をタップすると、絵文字が挿入できます。入力時には顔文字として表示されますが、Android搭載の端末で受信した場合、画面には絵文字で表示されます。
- メッセージ（SMS）が受信されたかを知るには、「メッセージ」画面で ▶「設定」をタップし、「受取確認通知」にチェックマークを付けます。

- ドコモ以外の海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先がドコモ以外の海外通信事業者の場合、「+」▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は「0」を除いた電話番号を入力します。
  また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

## メッセージ（SMS）を受信する／読む

### 1 ホーム画面で「メール」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます。

### 2 いずれかのスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

**お知らせ**

- メッセージ（SMS）を受信すると、がステータスバーに表示されます。メッセージを読むには、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、新着通知をタップします。

## 受信メッセージを削除する

### 1 「メッセージ」画面でいずれかのスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

### 2 削除するメッセージを1秒以上タッチする

- メニューが表示されます。

### 3 「メッセージを削除」

- 削除を確認するメニューが表示されます。「削除」をタップすると該当のメッセージが削除されます。

## スレッド全体を削除する

### 1 「メッセージ」画面で削除したいスレッドを1秒以上タッチ ▶「スレッドを削除」

- メニューが表示されます。

### 2 「削除」

- スレッド全体が削除されます。

**お知らせ**

- スレッドをタップしメッセージを表示した状態で ▶「スレッドを削除」をタップして削除することもできます。

## メッセージの電話番号を連絡先に登録する

1 スレッド表示画面で「連絡先」に登録するスレッドをタップする

2 ▶「連絡先に追加」

3 電話番号を追加する連絡先をタップ、または「連絡先を新規登録」をタップする

## メッセージ（SMS）を設定する

1 「メッセージ」画面で ▶「設定」
- 「設定」画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

| ストレージの設定 | 古いメッセージを自動的に削除するかどうか、保存するメッセージの件数を設定します。 |
|---|---|
| テキストメッセージ（SMS）の設定 | 送信したメッセージの受取確認を要求するかどうか、テキストメッセージの有効期間、テキストメッセージセンターの電話番号を設定します。ドコモUIMカードに保存したメッセージを管理することもできます。 |
| 通知設定 | 新着メッセージ受信時の通知、メッセージ受信時の着信音／バイブレーションを設定します。 |

# 緊急速報「エリアメール」

**気象庁から配信される緊急地震速報を受信することができます。**
- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源OFF時
  - 圏外時
  - 機内モード中
  - 音声通話中
  - ソフトウェア更新中
  - 国際ローミング中
  - メッセージ（SMS）送受信中
  - 他社のSIMカードをご利用時
- パケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

## エリアメールを受信する

1 エリアメールを自動的に受信する
- エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り、エリアメールの本文が表示されます。
- 画面ロックされている場合、エリアメールの本文は表示されません。画面ロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。

### 受信したエリアメールをあとで表示する

1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「 エリアメール」
- 「緊急速報「エリアメール」受信BOX」画面が表示されます。

## 2 いずれかのエリアメールをタップする

- エリアメールの本文が表示されます。

### エリアメールを設定する

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信BOX」画面が表示されます。

## 2 ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

## 3 必要に応じて設定を変更する

| | |
|---|---|
| **受信設定** | チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。 |
| **着信音** | 着信音の鳴動時間とマナーモード設定中の動作を設定します。 |
| **受信画面および着信音確認** | 緊急地震速報と災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。 |
| **その他の設定** | 緊急地震速報と災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。 |

# ブラウザ

**ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。**

### ブラウザを開く

## 1 ホーム画面で「ブラウザ」

- ブラウザが開いて、前回閲覧したウェブページが表示されます。最近、ブラウザを使用していない場合は、ホームページが表示されます。

**お知らせ**

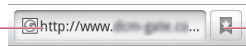
- メールやテキストメッセージなどに含まれるウェブページのリンクをタップして、リンク先のウェブページを閲覧することもできます。
- お買い上げ時のホームページはdメニューになっていますが、変更することができます。「ブラウザの設定を変更する」（P85）をご参照ください。
- パソコン用に作成されたウェブページを表示すると、最初は全体表示されますが、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P34）をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- 本FOMA端末で表示、再生できるファイル形式については、「ファイル形式」（P134）をご参照ください。

### ウェブページを表示する

**ウェブページを表示するには、URLを指定する方法と、文字を入力または音声入力して検索する方法があります。**

#### URLを入力してウェブページを表示する

## 1 ブラウザ画面の検索ボックスをタップする

URLや検索する文字を入力できます（検索ボックス）。

ブックマークリストを表示します。

## 2 ウェブページのURLを入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字に一致するウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。

## 3 リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して →

- 指定したURLのウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- ウェブページの表示を中止するには、× をタップするか、■ ▶「停止」をタップします。
- ブラウザ画面で■ ▶「再読み込み」をタップすると、ウェブページの表示を更新できます。
- ブラウザ画面で■ ▶「その他」▶「ページ情報」をタップすると、ウェブページの名前とアドレスを表示できます。
- ブラウザ画面で■ ▶「その他」▶「ページを共有」をタップすると、ウェブページのURLをメールで送信したり、他のアプリケーションで利用できます。

### 文字を入力してウェブページを検索する

## 1 検索ボックスをタップする

## 2 検索する文字を入力する

- 入力が完了する前でも、入力した文字の検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

## 3 リストのいずれかをタップするか、文字を最後まで入力して →

- 該当のウェブページが表示されます。

### 音声入力でウェブページを検索する

## 1 検索ボックスをタップする

## 2 🎤

- 「お話しください」と表示されます。

## 3 マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 音声が文字に変換され、検索ボックスに入力されるとともに、検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

## 4 リストのいずれかをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- 正しく変換されない場合は、改めて 🎤 をタップして音声入力するか、文字を入力して検索してください。

### ウェブページをスクロールする

## 1 ブラウザ画面をスクロールする方向にドラッグまたはスワイプする

- 表示しているウェブページによっては、上下左右にスクロールできる場合もあります。

### ウェブページの表示を拡大／縮小する

## 1 ブラウザ画面をドラッグまたはスワイプする

- 🔍－ 🔍＋ が表示されます。

## 2 🔍－ または 🔍＋ をタップする

**お知らせ**

- 操作時の表示が最小または最大の場合、🔍－ または 🔍＋ がグレー表示となり、利用できません。
- ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。

### 特定の箇所を拡大／縮小する

**1 ウェブページをピンチアウトする**

- 操作を開始した位置を中心に拡大表示されます。

**2 ウェブページをピンチインする**

- 縮小表示されます。

**お知らせ**

- ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。
- ピンチアウト、ピンチインについて詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P34）をご参照ください。

### 特定の箇所をすばやく拡大／縮小する

**1 ブラウザ画面の拡大する位置をダブルタップする**

- ダブルタップした位置を中心に拡大表示されます。

**2 ブラウザ画面を再びダブルタップする**

- 全体表示に戻ります。

**お知らせ**

- ウェブページによっては、拡大／縮小できない場合があります。

### リンク先のウェブページを開く

**1 ウェブページに含まれるリンクをタップする**

- リンク先のページが表示されます。

**お知らせ**

- リンクを1秒以上タッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「リンクをブックマーク」「リンクを保存」「リンクを共有」「URLをコピー」のいずれかが選択できます。
- 「リンクを保存」をタップすると、リンク先のファイルをmicroSDカードの「download」フォルダに保存できます。「リンクを共有」をタップすると、ウェブページのアドレスをメールやSNSで送信することで情報が共有できます。
- ⮌をタップすると、メニューを消去できます。
- メールアドレスのリンクをタップすると、「メール」アプリケーションが表示され、リンクに設定されているメールアドレスにメールが送信できます。
- 電話番号のリンクをタップすると、「電話」アプリケーションが開き、リンクに設定されている電話番号あてに電話をかけられます。
- 住所のリンクをタップすると、「マップ」アプリケーションが表示され、リンクに設定されている住所の地図が表示されます。

### ウェブページを前後に移動する

**1 ブラウザ画面で⮌**

- 移動前のページに移動します。

**お知らせ**

- キーボードが表示されている状態で⮌をタップすると、キーボードが非表示になります。
- メニューが表示されている状態で⮌をタップすると、メニューが非表示になります。

**2 ブラウザ画面で▣▶「進む」**

- ページをさかのぼって表示したときに、その次のページに移動します。

### ウェブページに含まれる文字を検索する

**1 ブラウザ画面で ▶「その他」▶「ページ内検索」**

**2 文字を入力し「完了」**

- 入力した文字に一致する最初の単語がハイライト表示され、その後の一致する単語は四角で囲まれます。

**3 または**

- 前または次の一致する単語をハイライト表示します。

**4**

- 検索を終了します。

### ウェブページに含まれる文字をコピーする

**1 ブラウザ画面で ▶「その他」▶「テキストを選択してコピー」**

**2 コピーする文字をドラッグする**

- 選択文字がクリップボードにコピーされます。

**お知らせ**

- コピーした文字は、ブラウザの検索ボックスや、ウェブページに含まれるテキストボックス、Eメールなど他のアプリケーションに貼り付けることができます。貼り付けたいテキストボックスを1秒以上タッチ ▶「貼り付け」と操作してください。
- ウェブページによっては、文字をコピーできないことがあります。

## ファイルをダウンロードする

**画像やウェブページなどをダウンロードできます。ダウンロードしたファイルは、microSDカードの「download」フォルダに保存されます。**

### 画像などのファイルをダウンロードする

**1 ウェブページに表示された画像や、ファイル、ウェブページへのリンクを1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**2 「画像を保存」または「リンクを保存」**

**お知らせ**

- ダウンロード方法はウェブページによって異なる場合があります。ウェブページの指示に従ってファイルをダウンロードしてください。
- ダウンロードを途中で中止するには、ブラウザ画面で ▶「その他」▶「ダウンロード履歴」をタップします。ダウンロード履歴がリスト表示されるので、ダウンロード中のリストを1秒以上タッチしてください。メニューが表示されるので「ダウンロードをキャンセル」をタップします。
- SSLで通信するウェブページや認証を必要とするウェブページに含まれるファイルはダウンロードできないことがあります。

### ダウンロードしたファイルを確認する

**1 ブラウザ画面で ▶「その他」▶「ダウンロード履歴」**

- ダウンロードしたファイルがリスト表示されます。

**2 リストのいずれかをタップする**

- ダウンロードファイルが開きます。

**お知らせ**

- 履歴を削除したい場合は、「ダウンロード履歴」画面でファイル名を1秒以上タッチ ▶「削除」と操作すると、該当の履歴が消去できます。

# ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークすることで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。
また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

## ブックマークする

1 ブックマークするウェブページを表示する

2 ▶「ブックマーク」

- 「ブックマーク」タブにブックマークのサムネイルが表示されます。

3 「★追加」

4 必要に応じて名前とURLを編集し、「OK」

- ブックマークリストに表示されていたウェブページのサムネイルが表示されます。

**お知らせ**

- ブラウザ画面で をタップしても「ブックマーク」タブが表示されます。
- 「ブックマーク」タブ表示中に ▶「最後に表示したページをブックマークする」をタップすることで、表示しているウェブページをブックマークできます。
- 「ブックマーク」タブを表示中に ▶「リスト表示」をタップすると、リスト表示になります。また、 ▶「サムネイル表示」をタップすると、サムネイル表示に戻ります。
- ブラウザ画面で ▶「その他」▶「ブックマークを追加」をタップしても表示中のウェブページをブックマークできます。

## ブックマークされたウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で ▶「ブックマーク」

- 「ブックマーク」タブが表示されます。

2 表示するブックマークをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- 「ブックマーク」タブのサムネイルまたはリストを1秒以上タッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「編集」「ショートカットを作成」「リンクを共有」「URLをコピー」「削除」「ホームページとして設定」のいずれかが選択できます。「ショートカットを作成」をタップすると、該当ブックマークのショートカットがホーム画面に追加されます。

## よく使うウェブページを表示する

1 ブラウザ画面で ▶「ブックマーク」

2 「よく使うページ」タブをタップする

- 閲覧頻度が高い順にリスト表示されます。

3 リストのいずれかをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- 「よく使うページ」タブでは、ブックマークされているウェブページ名の右に黄色の星型アイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、該当のウェブページが「ブックマーク」タブから削除されます。

- 「よく使うページ」タブのリストを1秒以上タッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「ブックマークを追加」（または「ブックマークから削除」）「リンクを共有」「URLをコピー」「履歴から消去」「ホームページとして設定」が選択できます。

### 閲覧履歴を利用してウェブページを表示する

**1** ブラウザ画面で ▶「ブックマーク」

**2** 「履歴」タブをタップする

- 閲覧したウェブページの履歴が閲覧日または期間ごとに分類されてリスト表示されます。閲覧した日のリストが表示されていない場合は、閲覧日または期間をタップすることで該当する閲覧履歴リストが表示されます。

**3** リストのいずれかをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- ブラウザ画面でを1秒以上タッチしても「履歴」タブを表示できます。
- 「履歴」タブでは、ブックマークされているウェブページ名の右に黄色の星型アイコンが表示されます。このアイコンをタップすると、ブックマークが削除されます。また、グレーの星型アイコンをタップすると、そのウェブページが「ブックマーク」タブに追加されます。
- 「履歴」タブのリストを1秒以上タッチすると、メニューが表示され「開く」「新しいウィンドウで開く」「ブックマークを追加」（または「ブックマークから削除」）「リンクを共有」「URLをコピー」「履歴から消去」「ホームページとして設定」が選択できます。
- 「履歴」タブを表示中に ▶「履歴消去」をタップすると、履歴リストがすべて消去されます。「よく使うページ」タブのリストも消去されます。

## 複数のウィンドウを利用する

**最大8つのウェブページを同時に開き、切り替えて表示できます。**

### 新しいウィンドウを表示する

**1** ブラウザ画面で ▶「新しいウィンドウ」

- 新しいウィンドウにホームページが表示されます。

### ウィンドウを切り替える

**1** ブラウザ画面で ▶「ウィンドウ」

- ウィンドウのリストが表示されます。

**2** 表示するウィンドウをタップする

- 該当のウィンドウに切り替わり、ウェブページが表示されます。

**お知らせ**

- ウィンドウのリストで「新しいウィンドウ」をタップすると、新しいウィンドウが開いて、ホームページが表示されます。
- ウィンドウリストの × をタップすると、該当のウィンドウが閉じます。

## ブラウザの設定を変更する

1 ブラウザ画面で［メニュー］▶「その他」▶「設定」

- メニューが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

| ページコンテンツ設定 | ウェブページを表示するときのテキストサイズやデフォルトの倍率、テキストエンコードの設定、ポップアップウィンドウを表示するかどうか、画像を読み込むかどうか、JavaScriptやプラグインを有効にするかどうか、ホームページの設定などを行います。 |
|---|---|
| プライバシー設定 | ブラウザのキャッシュ、閲覧履歴、Cookie、フォームデータ、位置情報へのアクセス許可を消去できます。Cookieを受け入れるか、フォームデータを保存するか、位置情報を有効にするかどうかの設定を行います。 |
| セキュリティ設定 | パスワードを保存するかどうか、セキュリティ警告を表示するかどうかを設定します。保存されているパスワードを消去することもできます。 |
| 詳細設定 | ウェブサイトごとの設定や、ブラウザの設定を初期値に戻すことができます。 |

# トーク

GoogleトークはGoogleのインスタントメッセージプログラムです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。Googleトークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」（P30）をご参照ください。

## Googleトーク利用の準備

Googleトークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、サインインなしでご利用になれます。

### Googleトークにログインする

1 ホーム画面で「メール」▶「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

**お知らせ**

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。

### 友だちを追加する

1 「トーク」画面で［メニュー］▶「友だちを追加」

- 「チャットに招待」画面が表示され、チャットへの招待状の送信先を入力するよう求められます。

## 2 招待相手のGoogleトークインスタントメッセージIDまたはGoogleアカウントを入力する

- 一部を入力すると、入力内容に一致するアカウントのリストが表示されます。その中に招待相手のアカウントがある場合、該当アカウントをタップすることで、送信先として指定できます。

## 3 「招待状を送信」

- 招待相手に招待状が送信されます。

### 招待を承諾する

**招待状を受け取ると「トーク」画面に「チャットへの招待」と表示されます。**

## 1 「トーク」画面で「チャットへの招待」▶「承諾」

- 「キャンセル」をタップすると招待を拒否します。
- 「ブロック」をタップすると招待を拒否して、相手をブロックするユーザーのリストに追加します。

**お知らせ**

- 招待状を受信した相手が承認すると、返信待ちの招待状リストから該当する招待状が削除されます。

### オンラインステータスとメッセージを変更する

## 1 「トーク」画面で自分のアカウントをタップする

- 「ステータスの設定」画面が表示されます。

## 2 オンライン をタップする

- 「ステータス」メニューが表示されます。

## 3 いずれかのステータスをタップする

- ステータスが変更されます。

## 4 「ステータスメッセージ」ボックスをタップ ▶ステータスメッセージを入力し「完了」

- ⮌をタップして、キーボードを消去すると、一度設定したことがあるカスタムステータスが表示されます。いずれかをタップすることで、カスタムステータスを変更することもできます。

**お知らせ**

- FOMA端末または他の環境のGoogleトークで設定しているステータスは、Gmail、Googleマップなど、他のアプリケーションのメンバーに表示されます。
- ログインした状態でしばらく操作を行わないとステータスアイコンが時計マークの表示となる場合があります。操作を開始すると時計マークは表示されなくなります。

# チャットする

## 1 「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする

- チャット画面が表示されます。

## 2 「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ 文字を入力して「送信」

- 文字ボックスに入力した内容が送信されます。

### チャット相手を追加する

## 1 「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする

- すでにチャットしていた相手とは別に、タップした相手とチャットできます。

### チャット相手を切り替える

**1 チャット画面で［メニュー］▶「チャット相手の切替」**

- 友だちのアイコンが表示されます。

**2 切り替える友だちのアイコンをタップする**

- タップした友だちとのチャットに切り替えられます。

### 複数の友だちとチャットする

**1 チャット画面で［メニュー］▶「グループチャット」**

- 「招待する人を選択」画面が表示されます。

**2 チャットに参加させる友だちのアイコンをタップする**

- タップした友だちがチャットに参加できます。

## チャットを終了する

### 特定の友だちとチャットを終了する

**1 「トーク」画面でチャット中の友だちを1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**2 「チャット終了」**

- チャットが終了します。

**お知らせ**

- チャット画面で［メニュー］▶「チャット終了」をタップして終了することもできます。

### すべての友だちとチャットを終了する

**1 「トーク」画面で［メニュー］▶「その他」**

- メニューが表示されます。

**2 「すべてのチャットを閉じる」**

- すべての友だちとのチャットを終了できます。

**お知らせ**

- ログアウトして、すべての友だちとのチャットを終了することもできます。詳しくは「ログアウトする」（P87）をご参照ください。

## ログアウトする

**1 「トーク」画面で［メニュー］▶「ログアウト」**

- ログアウトし、全体メニュー画面が表示されます。

## Googleトークの設定を変更する

**1 「トーク」画面で［メニュー］▶「設定」**

- 「全般設定」画面が表示されます。

**2 必要に応じて設定を変更する**

| | |
|---|---|
| **全般設定** | Googleに自動的にログインするかどうか、モバイルから送信している旨の通知の有無、不在への自動切り替え、検索履歴の消去を設定します。 |
| **通知設定** | チャットの通知をするかどうかや、着信音、バイブレーションを設定します。 |
| **概要** | 「利用規約とプライバシー」でGoogle利用規約を確認します。 |

# マルチメディア

## カメラで撮影する

### 撮影の前に

本FOMA端末で撮影した写真または動画は、すべてmicroSDカードに保存されます。カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。
ファイル転送中などmicroSDカードでデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。

#### 著作権・肖像権について

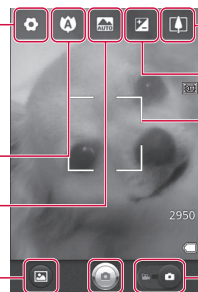
本FOMA端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することになりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

### 静止画を撮影する

本FOMA端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。静止画は、縦向きと横向きとのどちらでも撮影できます。

**1** ホーム画面で「カメラ」

- 静止画撮影画面が起動し、撮影できます。画面上部および下部にはメニューが表示され撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。設定画面は横向きで表示される場合があります。
- メニューのアイコンをタップすると ? が表示されます。このアイコンをタップすると、それぞれの機能の詳細が確認できます。
- メニューは、一定時間を経過すると自動的に非表示となりますが、タッチスクリーンをタップするか、をタップすると表示できます。

**2** をタップする

- シャッター音が鳴り、撮影されます。撮影後は、撮影された静止画がプレビューとして表示されます。
- 撮影したデータは、「ギャラリー」に保存されます。

## お知らせ

- 撮影後、表示されるプレビュー画面には（ギャラリー）（新規撮影）（削除）が表示されます。をタップすると、撮影した静止画を確認したり編集できます。をタップすると、新たに静止画を撮影できます。をタップすると、表示されている静止画が削除されます。

## 動画を撮影する

**カメラでは、モードを切り替えることで動画が撮影できます。動画は横向きで撮影されます。**

### 1 静止画撮影画面でをドラッグする

- 動画撮影画面に切り替わります。画面にはメニューが表示され撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。
- メニューのアイコンをタップするとが表示されます。このアイコンをタップすると、それぞれの機能の詳細が確認できます。
- メニューは、一定時間を経過すると自動的に非表示となりますが、タッチスクリーンをタップするか、をタップすることで表示できます。

### 2 をタップする

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。録画中は「録画」の文字が赤く表示されるとともに赤い丸が点滅します。

### 3 をタップする

- 録画が停止し、録画開始時の画面が表示されます。
- 撮影したデータは、「ギャラリー」に保存されます。

## お知らせ

- 撮影後、表示されるプレビュー画面には（ギャラリー）（新規撮影）（削除）が表示されます。をタップすると、ギャラリーで撮影した動画を確認したり編集できます。をタップすると、新たに動画を撮影できます。をタップすると、表示されている動画が削除されます。
- をタップすると、録画時間サイズを切り替えることができます。「メール」を選択すると、メール添付に適するよう録画時間の制限があります。

# 静止画や動画を見る

## ギャラリーで静止画や動画を見る

**ギャラリーでは、静止画をスライドショーで表示したり、編集することもできます。本FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「100ANDRO」をタップします。**

### 静止画や動画を見る

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「データBOX」▶「ギャラリー」**

- ギャラリー画面が表示されます。ギャラリーでは、カメラにより撮影されたものと、ダウンロードされたものがまとめて表示されます。本FOMA端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「100ANDRO」をタップします。

**2 「100ANDRO」をタップする**

- 撮影された静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- をドラッグすると、静止画や動画が撮影期間別に分けられます。

**3 いずれかのサムネイルをタップする**

- 静止画の場合は、をタップするか、タッチスクリーンをピンチイン／ピンチアウトすることで画像を拡大／縮小することができます。
- 動画の場合は、動画が再生されます。

**お知らせ**

- 「スライドショー」をタップすると、保存されている静止画や動画がスライドショーとして順に表示されます。
- 「メニュー」をタップすると、静止画や動画の共有や削除などができます。
- 「メニュー」▶「その他」をタップすると、静止画や動画の詳細情報の確認や、登録、編集などができます。

### 静止画をイメージエディターで編集する

**1 画像を表示した状態で「メニュー」▶「その他」▶「編集」**

- イメージエディターが起動し、静止画を編集できます。

**2 編集する**

- 静止画は横画面表示になります。
- 左右にメニューが表示され、それぞれのメニューをタップすると、静止画を編集できます。

**お知らせ**

- カメラのプレビュー画面で「編集」をタップすることで、イメージエディターを起動することもできます。

## ビデオプレイヤーで動画を見る

**microSDカードに保存されている動画を簡単に再生できます。**

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「カメラ／動画／音楽」▶「ビデオプレイヤー」**

- microSDカードに保存されている動画が一覧表示されます。

**2 いずれかの動画をタップする**

- 動画が再生されます。
- 再生中に画面をタップすると、ボタンや再生バーが表示され、一時停止や頭出しなどができます。

### お知らせ

- 動画の一覧を表示中に［メニュー］▶「複数選択」▶ 動画をタップして選択▶「削除」をタップすると、動画を削除できます。

# 音楽を聴く

## 音楽について

「音楽」アプリケーションは、microSDカードに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。音楽は次の音楽ファイル形式に対応します。
MP3、AAC、AAC+、eAAC+、WMA、WAV、OGG、AMR、XMF、MIDI

### お知らせ

- 音楽データによっては著作権により再生できないものがあります。

## オーディオファイルをFOMA端末にコピーする

音楽を利用するには、お持ちのオーディオファイルをmicroSDカードにコピーする必要があります。

### microSDカードをパソコンに接続する

**1** 「メニュー」▶「本体設定」▶「SDカードと端末容量」

**2** 「マスストレージのみ」にチェックマークをつける

**3** 本FOMA端末とパソコンをPC接続用USBケーブル（試供品）で接続する

- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。
- パソコン側に「新しいハードウェアが見つかりました」とメッセージが表示され、FOMA端末には「USBマスストレージ」画面が表示されます。

**4** 「USBストレージをONにする」

- 「USBストレージをONにする」メニューが表示されます。

**5** 「OK」

- 本FOMA端末のmicroSDカードがパソコンに接続され「USBストレージをOFFにする」が表示されます。
- パソコンでは、FOMA端末のmicroSDカードがリムーバブルディスクとして表示されます。

お知らせ

- パソコンに接続中は、本FOMA端末でカメラ、ギャラリー、ミュージックなどのmicroSDカードを利用するアプリケーションはご利用いただけません。
- microSDカードの情報を失わないようにするため、必ずお使いのパソコンの指示に従ってパソコンとの接続を解除してください。詳しくは「microSDカードをパソコンから切断する」(P92)をご参照ください。
- 本FOMA端末は、USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと、以下のオペレーティングシステム(OS)に接続できます。
  Windows® 7(32ビット/64ビット版)、Windows Vista®(32ビット/64ビット版)、Windows® XP(32ビット/64ビット版)

### オーディオファイルをコピーする

**1** パソコンでリムーバブルディスクを開く

**2** microSDカードのルートフォルダにフォルダを作成する

- サブフォルダを作成し、そのフォルダ内で音楽を管理することもできます。

**3** 作成したフォルダにオーディオファイルをコピーする

### microSDカードをパソコンから切断する

**1** パソコン側で、リムーバブルディスクの安全停止または取り外し操作を行う

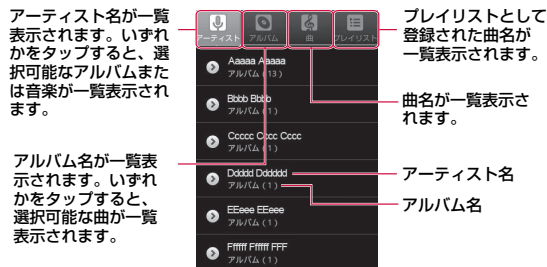
- 例えば、Windows® 7/Windows Vista®/Windows® XPでは、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行います。

**2** 本FOMA端末側の「USBマスストレージ」画面で「USBストレージをOFFにする」

- microSDカードがパソコンから切断され、「USBストレージをONにする」が表示されます。

## ミュージックライブラリ画面を表示する

**1** ホーム画面で「メニュー」▶「カメラ/動画/音楽」▶「音楽」

- ミュージックライブラリ画面が表示されます。ミュージックライブラリ画面は、「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」の4つのタブがあり、それぞれのタブをタップすることで、再生する曲が検索できます。

## 曲を検索する

曲を検索するには、アーティスト名/アルバム名/曲名で行う方法と、文字を入力して検索する方法があります。文字を入力して検索する場合には、入力した文字がアーティスト名、アルバム名、曲名のいずれかに一致するものが表示されます。

### アーティスト名／アルバム名／曲名／プレイリストで選択する

**1** 「アーティスト」「アルバム」「曲」「プレイリスト」のいずれかのタブをタップする

- タップしたカテゴリーに応じた結果が表示されます。

**2** リストアップされた項目のいずれかをタップする

- アーティスト名により検索した場合には、アーティスト名 ▶アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。アルバム名で検索した場合には、アルバム名をタップすることで曲名が表示されます。

### 文字を入力して検索する

**1** ミュージックライブラリ画面で🔍

- クイック検索画面が表示されます。

**2** 検索ボックスをタップ ▶検索文字を入力する

**3** 検索ボックスの🔍アイコンをタップする

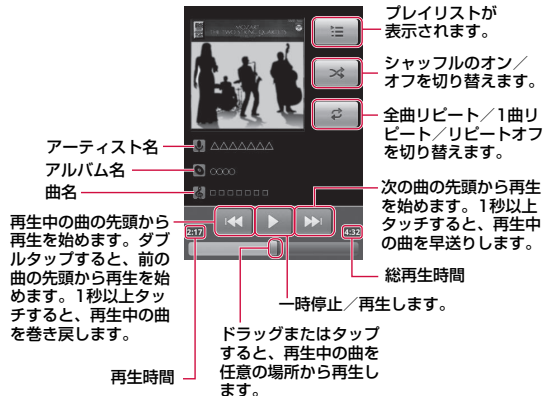
## 音楽を再生する

microSDカードに保存された音楽データは、トラック順に再生されます。また、再生順をシャッフルしランダムに再生することもできます。

### トラック順に音楽を再生する

**1** 再生する曲を検索する

**2** 曲名をタップする

- 音楽画面が表示され、タップした曲が再生されます。

### ランダムに音楽を再生する

**1** 再生する曲を検索する

**2** 曲名をタップする

- 音楽画面が表示され、タップした曲が再生されます。

**3** ⤮をタップする

- 再生している曲を含むアルバムに含まれる曲をランダムに再生します。

お知らせ

- ミュージックライブラリに含まれるすべての曲をランダムに再生するには、音楽画面で ▶「パーティシャッフル」をタップしてください。パーティシャッフルを解除するには、 ▶「パーティシャッフルOFF」をタップします。

## プレイリストを利用する

**プレイリストを利用することで、好みの曲を集めて簡単に再生できます。プレイリストは複数作成できます。**

### プレイリストを作成する

**1 ミュージックライブラリ画面で、好みの曲を検索する**

**2 好みの曲を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**3「プレイリストに追加」**

- 「プレイリストに追加」メニューが表示されます。

**4 操作したい項目をタップする**

- 「現在のプレイリスト」をタップした場合、現在設定されているプレイリストに追加できます。「新規」をタップすると、新たにプレイリスト名を指定して、そのプレイリストに追加できます。

### プレイリストを表示する／音楽を再生する

**1「プレイリスト」タブをタップする**

- プレイリストが表示されます。

**2 いずれかのプレイリストをタップする**

- プレイリストに含まれる曲が表示されます。

**3 いずれかの曲をタップする**

- タップした曲が再生されます。

お知らせ

- プレイリスト名を1秒以上タッチすると、メニューが表示されます。そこで「再生」をタップすると、プレイリストに含まれる曲を順番に再生できます。

## プレイリストを管理する

**作成したプレイリストは、後からプレイリスト名や曲名を変更したり、プレイリストに追加した曲を削除できます。また、プレイリストに追加された曲を着信音とすることもできます。**

### プレイリスト名を変更する

**1「プレイリスト」タブでプレイリスト名を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**2「名前を変更」**

- プレイリスト名を入力するメニューが表示されます。

**3 プレイリスト名を入力し「保存」**

- 「プレイリスト」タブに変更後の名前が表示されます。

お知らせ

- 「最近追加したアイテム」については、削除および名前の変更はできません。

### プレイリストの再生順を変更する

**1** **再生順を変更するプレイリストを開く**

**2** **再生順を変更する曲の左にある をドラッグする**

- 該当の曲がドラッグ位置に変更され、再生順も変更されます。

**お知らせ**

- 「最近追加したアイテム」「マイ録音」については、再生順を変更できません。

### プレイリストの曲を着信音にする

**1** **着信音とする曲が含まれるプレイリストを開く**

**2** **着信音とする曲を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**3** **「着信音に設定」**

- 該当の曲が着信音として設定されます。着信音について詳しくは「音」（P62）をご参照ください。

### プレイリストから曲を削除する

**1** **「プレイリスト」タブで、削除する曲が含まれるプレイリストをタップする**

- 該当のプレイリストに含まれる曲が表示されます。

**2** **削除する曲を1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**3** **「プレイリストから削除」**

- プレイリストから削除されます。

### プレイリストを削除する

**1** **「プレイリスト」タブで、削除するプレイリストを1秒以上タッチする**

- メニューが表示されます。

**2** **「削除」**

- プレイリストが削除されます。

# 便利な機能

## SNS

**本FOMA端末には、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）を利用するためのアプリケーションとして、Facebook for LG、MySpace for LG、Twitter for LGがあらかじめ用意されています。**

お知らせ

- Facebook for LGを利用する場合は、あらかじめhttp://ja-jp.facebook.comにアクセスしてユーザー登録を行ってください。
- MySpace for LGを利用する場合は、あらかじめhttp://www.myspace.comにアクセスしてユーザー登録を行ってください。
- Twitter for LGを利用する場合は、あらかじめhttp://twitter.comにアクセスしてユーザー登録を行ってください。

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」**

**2 「Facebook for LG」「MySpace for LG」「Twitter for LG」のいずれかをタップする**

- ログイン画面が表示されます。

**3 「Eメール」ボックスまたは「ユーザー名またはEメール」ボックスをタップして、ユーザー名または登録したEメールアドレスを入力する**

**4 「パスワード」ボックスをタップしてパスワードを入力する**

- 「このアカウントで同期」をタップしてチェックマークを付けてログインすると、同期するアカウントとして「アカウントと同期」（P66）に追加されます。

**5 「ログイン」**

- 初めてログインした場合は、画面の指示に従って初期設定を行ってください。

## Evernote

**Evernoteはウェブサイトの内容や撮影した画像、アイデアのメモなど、さまざまな情報をサーバーに保存し、必要なときに検索・閲覧できるサービスです。**
**情報の保存や閲覧はFOMA端末だけでなく、パソコンやその他デバイスからも行うことができます。**

お知らせ

- 本アプリケーションのご利用には、Evernoteアカウントの作成が必要です。
- 初めてご利用される際には、Androidマーケット（P110）からEvernoteアプリケーションをダウンロードする必要があります。
- アプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかる場合があります。

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「Evernote Launcher」▶「Evernote for Androidをダウンロードする」**

# ThinkFree Office

## ThinkFree Officeについて

ThinkFree Officeは、microSDカードに保存されたファイルの管理を行うファイルマネージャーです。ファイル名の変更やファイルのコピー、ThinkFree Onlineなどネットワークストレージへのアップロード、Zip形式ファイルの展開などが行うことができます。
また、Microsoft®のWord／Excel／PowerPointで作成されたドキュメントの作成、表示、編集機能も利用できます。

**注意**

- Word／Excel／PowerPointのファイルは、埋め込みデータなどの一部の機能が利用できません。
- Office2003で作成したパスワード付きのPowerPointファイル、Office2007で作成したパスワード付きのファイルは使用できません。
- 本FOMA端末のThinkFreeで編集後保存できる形式は、Wordでは「docx」、Excelでは「xls」、PowerPointでは「ppt」のファイルに限られます。

## ThinkFree Officeを開く

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「ThinkFree Office」**

- 初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意する」をタップします。

**2 「今すぐ利用開始」**

- 「アクティブ化の処理が完了しました」というメッセージが表示されます。

**3 「閉じる」**

- 「ThinkFree Office」画面が表示されます。

# トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、サイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「トルカ」**

- 初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意する」をタップします。

**お知らせ**

- トルカを取得、表示、更新する際には、通常のパケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  更新／メールを利用しての送信／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できないことがあります。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。

- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- 「トルカ」アプリは削除できません。

# GPS

## 位置情報サービスについて

**現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-FiおよびGPSを使用する方法があります。Wi-Fiでは、高速で現在地の測位ができますが、正確さに欠けることがあります。GPSを使用すると、多少時間を要することはありますが、正確な測位ができます。現在地を測位する場合には、Wi-FiとGPSの両方を有効にすることで、双方の長所を活かすことができます。**

## GPS機能

**本FOMA端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナを覆わないようにしてください。GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度要することがあります。**

注意

- GPSシステムの異常などにより損害が生じた場合でも、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本FOMA端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）により測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 本FOMA端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切の責任を負いかねます。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - かばんや箱の中
  - ビル街や住宅密集地
  - 密集した樹木の中や下
  - 高圧線の近く
  - 自動車、電車などの車内
  - 大雨、雪などの悪天候
  - 携帯電話の周囲に障害物（人や物）がある場合
  - 携帯電話のGPSアンテナ部周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- GPSは、米国国防総省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、精度や機能に影響する可能性があります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

### GPS機能を有効にする

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」**

- 「位置情報とセキュリティの設定」画面が表示されます。

## 2 「GPS機能を使用」にチェックマークを付ける

- GPS機能が有効になります。

### Wi-Fiによる現在地検索を有効にする

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「現在地情報とセキュリティ」

- 「位置情報とセキュリティの設定」画面が表示されます。

## 2 「無線ネットワークを使用」にチェックマークを付ける

- 「位置情報についての同意」メニューが表示されます。

## 3 「同意する」

- Wi-Fiを使用するアプリケーションで位置検索が使用できます。

**お知らせ**

- Wi-Fiを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

# 地図を利用する

**「マップ」では、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。Googleマップを開くと、近くの基地局からの情報により、おおよその現在地が表示されます。GPSで現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。**

**お知らせ**

- 現在地を取得する前にGPS機能を有効にしてください。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（3G／GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G／Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。

## マップを開く

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「地図」▶「マップ」

- Googleマップが開きます。

## 地図を拡大／縮小する

## 1 マップ画面で をタップする

- 地図が拡大表示されます。

## 2 マップ画面で をタップする

- 地図が縮小表示されます。

**お知らせ**

- 操作時の表示が最大または最小の場合、 または  がグレー表示になり、利用できません。
- ピンチイン／ピンチアウトすると、表示を拡大／縮小することができます。また、ダブルタップでも表示を拡大できます。

## 現在地を特定する

## 1 マップ画面で をタップする

- 現在地が地図上に青い丸の点滅で表示されます。

## ストリートビューを見る

**現在地のストリートビューに表示を切り替えることができます。**

### 1 マップ画面でストリートビューを表示したい部分を1秒以上タッチする

- ふきだしが表示されます。

### 2 ふきだしをタップ ▶ をタップする

- ストリートビューが表示されます。

**お知らせ**

- ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応地域の場合、はグレー表示となります。
- 「ストリートビュー」画面をドラッグすると、表示する方角を変更できます。ピンチイン／ピンチアウトすると、表示を拡大／縮小することができます。ダブルタップでも表示を拡大／縮小できます。をドラッグすると、表示する場所を移動できます。
- ストリートビューを表示している状態で、▶「コンパスモード」をタップすると、本FOMA端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

## 特定の場所を検索する

### 1 マップ画面で「地図を検索」ボックスをタップし、検索する場所を入力する

- 検索文字として住所の他に、地名、施設名（例：東京　美術館）を指定できます。
- 「地図を検索」ボックスをタップすると、以前に検索または参照したすべての場所のリストが表示されます。リストをタップし、その位置を表示することもできます。

### 2 または「実行」をタップする

- 該当する場所が地図上にアイコン表示されます。
- 検索結果が複数ある場合、をタップして検索結果のリストを表示することもできます。

### 3 場所のアイコンの上にあるふきだしをタップする

- 詳細情報が表示されます。
  - ：マップ画面に戻ります。
  - ：表示している場所へのナビを開始したり経路を検索できます。
  - ：表示されている電話番号に電話をかけることができます。
  - ：ストリートビューを表示できます。
  - ：「その他のオプション」メニューが利用できます。
- 表示される情報や利用できるオプションは、場所により異なります。

**お知らせ**

- 音声入力により検索することもできます。詳しくは「検索する」（P40）をご参照ください。

## レイヤを変更する

**地図上に複数の情報を重ねて表示できます。**

### レイヤを追加する

### 1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。各レイヤでは、以下の情報が表示されます。

| | |
|---|---|
| **渋滞状況** | 渋滞状況を表示します。ただし、提供地域は限定されています。 |
| **航空写真** | 航空写真を表示します。 |

| 地形 | | 地形を表示します。 |
|---|---|---|
| バズ | | 該当の地域に設定されている口コミ、写真、動画などの共有情報を表示します。 |
| Latitude | | Latitudeに参加します。詳しくは「Latitudeに参加する」（P102）をご参照ください。 |
| 地図をクリア | | 表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。 |
| その他のレイヤ | マイマップ | パソコンで作成したマイマップが閲覧できます。マイマップは本FOMA端末からは閲覧のみで、作成はできません。 |
| | Wikipedia | [W]を表示します。[W]をタップすると、その場所に関するWikipediaの記事が閲覧できます。 |
| | 路線図 | 路線情報を表示します。ただし、提供地域は限定されています。 |

2 「渋滞状況」「航空写真」「Latitude」のいずれかをタップする

- タップした情報がレイヤとして追加され ✔ が付きます。

### レイヤを削除する

1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

2 チェックマークが付いているレイヤをタップする

- チェックマークが外れ、レイヤが削除されます。

## 経路を調べる

**目的地への詳しい経路を表示できます。**

1 マップ画面で ▶「経路」

2 「現在地」ボックスをタップ ▶出発地を入力 ▶「到着地」ボックスをタップ ▶目的地を入力する

- それぞれのボックスの右にある をタップするとメニューが表示され、「現在地」「連絡先」「地図上の場所」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 移動の方法として のいずれかをタップする

4 「実行」

- 目的地への経路がリスト表示されます。

5 いずれかの経路をタップする

- 選択した経路が表示されます。

**お知らせ**

- 「地図で見る」をタップすると、経路が地図で表示されます。
- 「地図で見る」の下に表示される項目をタップすると、乗換や方向転換などの経路上のポイントが地図で表示されます。
- 地図表示上で をタップすると、リスト表示に戻ります。
- 「より早い時刻」または「より遅い時刻」をタップすることで前後の時間の経路が検索できます。
- 「その他のオプション」をタップすると、「時刻」「料金」「乗換回数」を指定して並べ替えたり、有料特急や空路の利用が設定できます。
- 自動車や徒歩で経路検索した場合は、経路が表示されます。

## 地図をクリアする

**表示されたレイヤや経路検索結果などをすべてクリアします。**

### 1 マップ画面で をタップする

- 「レイヤ」メニューが表示されます。

### 2 「地図をクリア」

- 表示されたレイヤや経路検索結果がクリアされます。

**お知らせ**

- クリアする内容がない場合、「地図をクリア」はグレー表示となり、タップできません。
- マップ画面で をタップし、チェックマークが付いているレイヤをタップしてチェックマークを外すことで、特定のレイヤだけをクリアすることもできます。

## 友人と所在地を共有する

**Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メッセージ（SMS）やメールを送ったり、電話をかけたり、友人の現在地への経路が検索できます。**
**位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。**

### Latitudeに参加する

### 1 マップ画面で ▶「Latitudeに参加」

- 初めてLatitudeに参加するときは、Googleのプライバシーポリシーに関する確認メッセージが表示されます。

### 2 「Googleプライバシーポリシー」のリンクをタップ ▶ 内容を読み終えたら「許可および共有」

- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

**お知らせ**

- 一度Latitudeに参加すると、メニュー項目が「Latitude」に変わります。

### Latitudeを開く

### 1 マップ画面で ▶「Latitude」

- Latitudeが開き、Googleアカウントで関連づけられたメンバーのリストが表示されます。

### 友人を招待して位置情報を共有する

**Latitudeに参加すると、自分の位置情報を友人と共有できます。自分が招待した友人や自分を招待した友人にだけ位置情報を知らせることができます。**

### 1 Latitude画面で ▶「友人を追加」

- 「友人を追加」メニューが表示されます。

### 2 いずれかの項目をタップする

- 「連絡先から選択」をタップすると、すべての連絡先がリスト表示されます。
- 「メールアドレスから追加」をタップすると、招待する友人のメールアドレスが入力できます。複数のメールアドレスを登録するには、それぞれのメールアドレスをカンマで区切って入力してください。

## 3 「友人を追加」

- 「共有リクエストを送信」メニューが表示されます。

## 4 相手のGmailアドレスが表示され、チェックマークが付いていることを確認して「はい」をタップする

- 共有リクエストの送信対象から除外する相手はタップしてチェックマークを外します。
- 友人がすでにLatitudeを利用している場合は、友人にはLatitude画面にメールリクエストや通知が届きます。Latitudeに参加していない場合は、GoogleアカウントでLatitudeに参加するようGmailあてにメールリクエストが届きます。

### 招待に応じる

**友人からLatitudeで位置情報を共有する招待を受けたときは、次の中から選択できます。**

| | |
|---|---|
| **受け入れて自分の現在地も教える** | お互いに位置情報を見ることができます。 |
| **受け入れるが自分の所在地は教えない** | 自分は友人の位置情報を見ることができるものの、友人からは自分の位置情報を見ることができません。 |
| **承認しない** | お互いの位置情報は共有されません。 |

### 友人の現在地を確認する

**友人の現在地を地図かリストで確認できます。マップを開くと、友人の現在地が表示されます。友人はそれぞれ写真アイコンで表示され、おおよその位置に矢印が示されます。友人が都市レベルの位置情報の共有を選択している場合は、その友人のアイコンには矢印がなく、都市の中央にアイコンが表示されます。**
**友人のプロフィールを見たり接続するには、写真をタップします。友人の名前がふきだしに表示されます。ふきだしをタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。**
**Latitudeを開くと、Latitudeの友人リストが、最後に取得された位置情報、ステータスなどとともに表示されます。リストの友人をタップすると、画面が開いて、友人の詳細情報や接続オプションを見ることができます。**

### 友人との接続と接続の管理

**地図上で友人の連絡先情報のふきだしをタップするか、リスト表示された友人をタップして、友人のプロフィールを開きます。プロフィール画面で、友人と通信したりプライバシー設定をすることができます。**

| | |
|---|---|
| **地図で見る** | 友人の現在地を地図上で表示します。 |
| **経路を検索** | 友人の現在地までの経路を検索します。 |
| **ストリートビューを表示** | 友人の現在地のストリートビューを表示します。 |
| **共有オプション** | 「最新の現在地を共有」「都市レベルの現在地のみ共有」「この友人に現在地を教えない」のいずれかを選択します。<br>「都市レベルの現在地のみ共有」を選択すると、都市レベルの現在地のみを共有し、ストリートレベルでは共有しません。友人側では、写真アイコンは現在地の都市の中央に表示されます。 |

| この友人を削除 | 友人をリストから削除し、位置情報の共有を完全に停止します。 |
|---|---|

### 共有情報を管理する

**友人への見え方や見える時間を管理できます。Googleアカウントには、Latitudeに最後に送られた位置情報だけが保存されます。Latitudeを停止したり、情報を非公開にしている場合は、位置情報は保存されません。**

**1 Latitude画面で自分の名前をタップ ▶「プライバシー設定を編集」**

- プライバシー設定は以下の中から選択できます。

| 現在地を自動検出 | 移動すると、Latitudeが位置を自動的に検出して位置情報を更新します。更新の頻度は、電池パックの充電レベルやいつ移動したかなど、いくつかの要素に基づき決定されます。 |
|---|---|
| 現在地を設定 | アドレスを入力したり連絡先から選んだりした相手と共有する位置情報を設定します。地図上の地点を指定するか、Latitudeで改めて現在地情報の共有を行います。 |
| 現在地を非表示 | すべての友人に位置情報を非公開とします。 |
| Latitudeを停止 | Latitudeを停止し、位置情報やステータスの共有を停止します。Latitudeにはいつでも参加できます。 |

## ナビを利用する

**Googleマップナビ（ベータ版）は、音声ガイダンス付きの経路案内ソフトです。**

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「地図」▶「ナビ」**

- 初めてアプリケーションを起動したときは、Googleマップナビの説明が表示されます。「同意する」をタップすると「目的地の選択」メニューが表示されます。

**2 いずれかの項目をタップする**

- 目的地を入力または選択すると、経路案内が開始されます。
  「目的地を音声入力」：声で目的地を検索
  「目的地を入力」：目的地を文字で入力
  「連絡先」：連絡先に登録されている住所を検索
  「スター付きの場所」：Googleマップでスターを付けた場所を検索
  ：経路オプション（高速道路や有料道路を使うかどうかを設定）
  「地図表示」：マップを表示

**お知らせ**

- 運転中の操作は同乗者が行ってください。

## プレイスを利用する

**プレイスを利用すると、現在地の近くのレストランや、カフェ、バー、ホテル、アトラクション施設、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。**

**1 マップ画面で をタップする**

- プレイスが開きます。

## 2 「レストラン」「カフェ」「バー」「ホテル」「アトラクション」「ATM」「ガソリン」

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると、詳細な情報が表示されます。

---

**お知らせ**

- ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「プレイス」をタップしてもプレイスを開くことができます。
- 「追加」▶ 検索する文字を入力 ▶「追加」をタップすると、検索条件を追加できます。

# YouTube

**YouTubeの動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードすることができます。**

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「カメラ／動画／音楽」▶「YouTube」

- 初めてアプリケーションを起動したときは、モバイル利用規約を確認するリンクが表示されます。国／地域を選択して規約を読み終えたら、⮌で戻って「同意する」をタップしてください。
「YouTube」画面が開きます。
🔍：キーワードを入力して動画を検索
📹：FOMA本体のカメラで動画を撮影してYouTubeにアップロード
- 動画をアップロードするには、YouTubeアカウントでログインする必要があります。

## 2 再生したい動画をタップする

- 動画が再生されます。
HQ：高画質（HQ）再生と低画質再生を切り替え
- 画面をタップすると、一時停止させたり、再生バーを表示して再生位置を変えたりできます。

# ニュースと天気

**最新のニュースや現在地の天気予報などを表示できます。**

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「アプリ」▶「ニュースと天気」

- 「ニュースと天気」アプリケーションが開きます。

## 2 「天気予報」タブ、またはニューストピックのタブをタップする

- 「天気予報」タブでは、今日の天気予報と、週間天気予報が表示されます。
- ニューストピックのタブでは、ニュースの見出しの一覧が表示されます。ニュースの見出しをタップすると、ブラウザでニュースサイトにアクセスして、ニュースの詳細が表示されます。
- 左右にドラッグしても、タブを切り替えることができます。

---

**お知らせ**

- ▣ ▶「更新」をタップすると、位置情報を取得して、情報を更新します。
- ▣ ▶「設定」をタップすると、天気予報、ニュース、更新に関する設定を行うことができます。

# アラーム／時計

## 時計を開く

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「アラーム／時計」

- 時計画面が表示されます。時計画面には、日付や曜日、「ニュースと天気」で設定した地域の天気予報も表示されます。

お知らせ

- ［icon］をタップすると、バックライトが暗くなり、電池の消耗を抑制します。再び［icon］をタップすると、バックライトが明るくなります。
- ［icon］をタップすると、microSDカードに保存されている静止画がスライドショーとして表示されます。［icon］をタップするとスライドショーが停止し、時計画面が表示されます。
- ［icon］をタップすると、「音楽」アプリケーションが起動して、音楽を再生できます。「音楽」アプリケーションについて詳しくは「音楽を聴く」（P91）をご参照ください。

## アラームを設定する

**1 時計画面で［icon］**

- 「アラーム」画面が表示され、画面下部には現在時刻が表示されます。

**2 「アラームの設定」**

- メニューが表示されます。

**3 アラーム時刻を設定して「設定」**

- アラームが動作するまでの時間が表示され自動的に消え、「アラームを設定」画面が表示されます。

**4 「アラームをオンにする」にチェックマークを付け、他のオプションを設定して「完了」**

- 「アラーム」画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。アラームのオプションとしては以下の設定ができます。

| | |
|---|---|
| アラームをオンにする | チェックマークを付けるとアラームが有効になり、チェックマークを外すと無効になります。 |
| 時刻 | 設定時刻が変更できます。 |
| 繰り返し | 曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。 |
| アラーム音 | アラーム設定時刻に鳴る音が設定できます。 |
| バイブレーション | チェックマークを付けるとアラーム音と同時にバイブレータが動作します。 |
| ラベル | 設定したアラームにラベルを付けることができます。 |

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。そのとき、メニューも表示されます。「停止」をタップすると、アラームが停止できます。また、「スヌーズ」をタップすると、10分後に再び動作します。

# カレンダー／スケジュール

## カレンダーについて

本FOMA端末にはスケジュールを管理するためのカレンダーが用意されています。Microsoft Exchange Serverにより構築されているスケジューラー、Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

## カレンダーを開く

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「カレンダー」**

- カレンダー画面が表示されます。

## カレンダー表示を変更する／予定を表示する

### 1日／1週間／1ヶ月表示に変更する

**1 カレンダー画面で ▶「日」**

- 1日表示になります。

**2 カレンダー画面で ▶「週」**

- 1週間表示になります。

**3 カレンダー画面で ▶「月」**

- 1ヶ月表示に戻ります。

**お知らせ**

- 月表示では上下にスワイプすると、前後の月が表示されます。日表示、週表示では左右にスワイプすると前後の日、週が表示されます。
- 1週間表示または1ヶ月表示になっている場合、カレンダー画面で ▶「今日」をタップすると、システム日付に基づき、今日の欄をハイライト表示できます。

### 表示するカレンダーの種類を設定する

**1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「カレンダー」**

- 登録されているカレンダーの種類が表示されます。

**2 表示するカレンダー をタップする**

- が表示されていると自動更新され、 が表示されているとカレンダーに表示されます。それぞれグレー表示になっている場合には、反映されません。

**3 「OK」**

- カレンダー画面が表示され、設定に従って情報が表示されます。

**お知らせ**

- 表示するカレンダーの種類は、本アプリケーションでは作成できません。ブラウザでGoogleカレンダーページにアクセスし「設定」メニューから作成してください。

### 予定を表示する

**1 カレンダー画面で表示する予定をタップする**

- 「予定リスト」画面が表示され、予定がリスト表示されます。

**お知らせ**

- カレンダー画面で ▶「予定リスト」をタップすることで「予定リスト」画面を表示できます。

## 予定を作成する

**1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「予定を作成」**

- 「予定の詳細」画面が表示されます。画面表示に従い各項目を入力し「完了」をタップしてください。

**お知らせ**

- 作成した予定の時刻が近づくと、ステータスバーに が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、「カレンダーの通知」画面が表示されます。「通知を消去」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズ」をタップすると5分後に再度通知します。

## カレンダーの設定を変更する

**1 カレンダー画面で ▶「その他」▶「設定」**

- 「設定」画面が表示されます。

## 2 必要に応じて設定を変更する

- 予定の通知方法や着信音／バイブレーション、リマインダーの通知時刻の設定が行えます。

# ボイスレコーダー

## 音声を録音する

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「ボイスレコーダー」

- ボイスレコーダー画面が表示されます。

### 2 ●

- 録音が開始されます。録音中は、録音時間が表示されます。

### 3 ■

- ▶ をタップすると、録音内容が再生できます。また、「削除」をタップすると、録音内容を削除できます。

## 録音した音声を検索する／再生する

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「ボイスレコーダー」

- ボイスレコーダー画面が表示されます。

### 2 「リストへ移動」

- 音声録音画面が表示され、録音日ごとに録音ファイルがリスト表示されます。

### 3 いずれかの録音ファイルをタップする

- 音声が再生されます。

**お知らせ**

- 音声録音画面において ● をタップすると、ボイスレコーダー画面が表示されます。
- 再生時、スライダをドラッグすると、ツマミの表示位置から再生できます。また、 ❚❚ をタップすると一時停止、 ■ をタップすると再生を停止できます。

# 電卓

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「電卓」

- 電卓画面が表示されます。

**お知らせ**

- 電卓画面でキーが表示された部分を左にドラッグまたはスワイプするか、 ▶「関数機能」をタップすると、関数画面が表示されます。関数画面でキーが表示された部分を右にドラッグまたはスワイプするか、 ▶「標準機能」をタップすると、電卓画面に戻ります。
- 「CLEAR」をタップすると直前に入力した数値または演算子が削除されます。また「CLEAR」を1秒以上タッチすると、入力したすべての情報が削除されます。
- ▶「履歴消去」をタップすると履歴が消去されます。

# 電子辞典

## 単語を検索する

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「電子辞典」

- 辞典画面が表示されます。

2 テキストボックスをタップする

3 検索文字を入力する

- 入力した文字に一致する単語がリスト表示されます。

4 いずれかの単語をタップする

- 意味が表示されます。

お知らせ

- ⮌をタップすると、再び検索できます。

## 検索対象の辞典を変更する

「旺文社英和辞典」「旺文社和英辞典」「旺文社国語辞典」のいずれかに検索対象の辞典を変更できます。

1 辞典画面で▶「辞典変更」

- 「辞典変更」メニューが表示されます。

2 いずれかの辞典をタップする

- 検索対象の辞典が変更されます。

## 検索履歴から検索する

1 辞典画面で▶「検索履歴」

- 「検索履歴」画面が表示され、検索を行った単語がリスト表示されます。

2 いずれかをタップする

- 該当する単語の意味が表示されます。

## 蛍光ペンでマーキングする

1 単語の意味が表示された画面で▶「蛍光ペン」

- 表示されている単語がマーキングされます。

## 単語帳に登録する／単語帳を表示する

検索結果を単語帳に登録することができます。

1 単語の意味が表示された画面で▶「保存」

- 単語帳に登録されます。

2 辞典画面で▶「単語帳」

- 「単語帳」画面が表示され、登録された単語がリスト表示されます。

3 いずれかの単語をタップする

- 単語の意味が表示されます。

お知らせ

- 「単語帳」画面で「すべて」をタップして「ENG」または「JPN」をタップすると、タップした言語の単語だけを表示することができます。
- 単語帳は、登録順にリスト表示されますが、「単語帳」画面において▶「並べ替え」をタップすると、単語順に変更することもできます。
- 「単語帳」画面で▶「削除」をタップすると、登録されている単語を削除できます。

## 辞典の設定を変更する

1 辞典画面で▶「辞典設定」

- 「辞典設定」画面が表示されます。

## 2 必要に応じて設定を変更する

- 蛍光ペンの色や文字サイズの設定を行うことができます。

# Androidマーケット

**Androidマーケットを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスしてFOMA端末にダウンロード、インストールすることができます。**

## Androidマーケットを開く

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「マーケット」▶「マーケット」

- 初めてアプリケーションを起動したときは、Androidマーケット利用規約が表示されます。

### 2 「同意する」

- Androidマーケットが開きます。

**お知らせ**

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。パケット通信を切断するには、ホーム画面で 「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」をタップし、「データ通信を有効にする」のチェックマークを外します。再度接続する場合はチェックマークを付けます。
- Androidマーケットについての情報が必要な場合には、Androidマーケットを開いた状態で ▶「ヘルプ」をタップします。

## アプリケーションを検索する／インストールする

### 1 目的のアプリケーションを検索する

- 「マーケット」画面で をタップすると、アプリケーションの名前などでアプリケーションを検索できます。
- 「マーケット」画面で「アプリケーション」をタップすると、カテゴリーの一覧が表示され、カテゴリーからアプリケーションを探すことができます。

### 2 アプリケーション名をタップする

- アプリケーションの機能やスクリーンショット、デベロッパー（開発者）の情報、すでに利用しているユーザーの感想や評価などが表示されます。また、 ▶「セキュリティ」をタップすると、このアプリケーションがアクセスする機能やデータの情報が表示されます。

### 3 インストール操作を行う

- 無料アプリケーションの場合は、「無料」ボタンをタップし「OK」ボタンをタップすると、ダウンロードが開始されます。
- 有料アプリケーションの場合は、金額ボタンをタップし「OK」ボタンをタップすると、アプリケーションの購入画面が表示されます。詳しくは「アプリケーションを購入する」（P112）をご参照ください。

**注意**

- 内容をよくご確認ください。アプリケーションをインストールすると、そのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

## 4 「OK」

- ダウンロードされ、自動的にインストールされます。インストールが完了すると、ステータスバーの通知領域にコンテンツダウンロードアイコンが表示されます。

お知らせ

- ダウンロードに長い時間を要する場合、ステータスバーをドラッグまたはスワイプして通知パネルを表示することで、進捗状況が確認できます。
- アプリケーションの多くは数秒でインストールが終了しますが、長い時間ダウンロードが終了しない場合には、「キャンセル」をタップすることで、ダウンロードを中止できます。
- ダウンロードおよびインストールが正常に終了すると、通知パネルにメッセージが表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプし、インストールの終了メッセージをタップしてください。インストールされたアプリケーションが開きます。

## アプリケーションを更新する

**インストールしたアプリケーションが更新された場合、通知パネルに表示されます。また、「マイアプリ」で更新されたことを確認できます。いずれの場合でも更新されたことを確認した場合、更新操作を行うことができます。**

### 1 通知パネルを表示する

- アプリケーションの更新通知が表示されます。

### 2 更新通知をタップする

- 「ダウンロード」画面が表示されます。

### 3 更新されているアプリケーションをタップする

- インストールと同様の手順でアプリケーションが更新できます。

お知らせ

- 「マーケット」画面で「マイアプリ」をタップすると「ダウンロード」画面が表示されます。更新されたアプリケーションには「更新」と表示されます。アプリケーションをタップすることで、インストールと同様の手順で更新することができます。

## アプリケーションをアンインストールする

**インストールしたアプリケーションは、任意にアンインストールできます。**

### 1 「マイアプリ」画面で、アンインストールしたいアプリケーションをタップする

- アプリケーションの情報が表示されます。

### 2 「アンインストール」

- メッセージが表示されます。

### 3 「OK」

- アプリケーションを削除する理由が尋ねられます。

### 4 いずれかをタップして「OK」

- 「マイアプリ」画面に戻ります。ここで削除したアプリケーションをタップすると、再びインストールできます。

## アプリケーションを購入する

**有料アプリケーションの場合は、ダウンロードする前に購入してください。15分間試用することができます。購入後15分以内に返金を請求しない場合は、そのままクレジットカードより料金が支払われます。**

お知らせ

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリケーションは他のデバイスでもすべて無料でダウンロードできます。

### アプリケーションの購入

**1 購入するアプリケーションをタップする**

- アプリケーションの機能やすでに利用しているユーザーの感想や評価が表示されます。

**2 「購入」の下の金額ボタンをタップする**

- アプリケーションがFOMA端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するか表示されます。

**3 「OK」**

- 購入手続き画面が表示されます。
- 初回購入時には、「支払い方法を選択」▶「クレジットカードを追加」▶「OK」をタップして、Google Checkoutの手続きをしてください。これは、FOMA端末からアプリケーションを購入するための高速、安全、便利な購入手段です。Google Checkoutについて詳しくは、「http://checkout.google.com/」をご参照ください。

注意

- Google CheckoutはGoogleのサービスです。
- FOMA端末にはGoogle Checkoutパスワードが記録されるため、画面ロックを設定しFOMA端末のセキュリティを確保してください。詳しくは、「現在地情報とセキュリティ」（P63）をご参照ください。

**4 「払い戻しポリシー」リンク、「Googleの請求とプライバシーポリシー」リンクをタップし、読み終えたら⮌をタップする**

- 購入手続き画面に戻ります。

**5 「今すぐ購入」**

- 「注文が完了しました」とメッセージが表示されると、アプリケーションのダウンロードとインストールが行われます。

### 返金を要求する

**アプリケーションに満足できない場合、購入後15分以内であれば返金を要求でき、アプリケーションは削除されます。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。操作手順について詳しくは、次項を参照してください。**

### 返金とアプリケーションの削除

**1 「マーケット」画面で「マイアプリ」**

- 「マイアプリ」画面が表示されます。

**2 アンインストールするアプリケーションをタップする**

- メニュー画面が表示されます。

**3 「払い戻し」**

- アプリケーションを削除する理由を質問するメニューが表示されます。なお、メニューが表示されない場合は、試用時間が終了しています。

**4 いずれかの理由をタップして「OK」**

# データや設定のバックアップ

## バックアップと復元を利用する

「バックアップと復元」アプリケーションを利用すると、通話ログ（通話履歴）、連絡先、カレンダー（スケジュール）、システム設定、テキストメッセージ（SMS）、ブックマークをmicroSDカードにバックアップできます。

**お知らせ**

- 同期されている連絡先はバックアップされません。

### バックアップする

**1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「バックアップと復元」**

- バックアップと復元メニューが表示されます。
- 初めて起動したときは使用許諾契約書が表示されるので、「同意」をタップします。

**2 「バックアップ」▶「メモリーカード」**

**3 「新規追加」**

- すでにバックアップしたファイルがある場合は、ファイル名をタップするとファイルを置き換えてバックアップできます。

**4 バックファイルの名前を入力し、「続行」**

- バックアップ対象のリストが表示されます。

**5 バックアップしたくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す**

## 6 「続行」

- バックアップファイルが作成されます。

## 7 「続行」

- バックアップと復元メニューに戻ります。

### バックアップファイルから復元する

**データを復元する場合は、microSDカードのバックアップファイルに含まれるデータで、FOMA端末のデータを置き換えます。データの復元には十分ご注意ください。**

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「バックアップと復元」

- バックアップと復元メニューが表示されます。

## 2 「復元」▶「メモリーカード」

## 3 復元するファイルをタップする

- 復元対象のリストが表示されます。

## 4 復元したくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す

## 5 「続行」▶「データの復元」

- バックアップファイルからデータが復元されます。

---

**お知らせ**

- 復元項目にシステム設定が含まれる場合、復元後にFOMA端末が再起動されます。

### バックアップのスケジュールを設定する

**スケジュールを設定すると、自動的にバックアップができます。**

## 1 ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「バックアップと復元」

- バックアップと復元メニューが表示されます。

## 2 「スケジュール」▶「メモリーカード」

## 3 バックアップするスケジュールをタップして選択する

- 「毎週」「2週間毎」「毎月」をタップした場合は、続けて曜日や日付を選択してください。

## 4 「続行」

- バックアップ対象のリストが表示されます。

## 5 バックアップしたくない項目がある場合は、タップしてチェックマークを外す

## 6 「続行」

- バックアップのスケジュールが設定されます。

---

**お知らせ**

- 「バックアップ開始時刻」で開始時刻を設定してください。
- FOMA端末の電源を切っている場合は、バックアップ開始時刻になってもバックアップは実行されません。

### バックアップと復元の設定を変更する

**1** **ホーム画面で「メニュー」▶「便利ツール」▶「バックアップと復元」**

- バックアップと復元メニューが表示されます。

**2** **▶「設定」**

- 「バックアップ設定」画面が表示されます。

**3** **必要に応じて設定を変更する**

- セキュリティの設定や、スケジュールでバックアップしたファイルを保持する件数の設定が行えます。

## 電話帳コピーツールを利用する

microSDカードを利用して、他のFOMA端末と電話帳データをコピーできます。また、Googleアカウントに登録された電話帳データをdocomoアカウントにコピーできます。

### 電話帳コピーツールを開く

**1** **ホーム画面で「メニュー」▶「電話機能」▶「電話帳コピーツール」**

- 初めてご利用される際には、使用許諾契約書が表示されるので「同意する」をタップします。

### 電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

**1** **microSDカードをFOMA端末に取り付ける**

**2** **「エクスポート」タブ画面で「開始」**

- docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。

**3** **「OK」**

### 電話帳をmicroSDカードからインポートする

**1** **電話帳データが保存されたmicroSDカードをFOMA端末に取り付ける**

**2** **「インポート」タブ画面でインポートしたいファイルをタップ ▶「上書き」／「追加」**

- インポートした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

**3** **「OK」**

### Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

**1** **「docomoアカウントへコピー」タブ画面でコピーしたいGoogleアカウントをタップ ▶「上書き」／「追加」**

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

**2** **「OK」**

**お知らせ**

- 他のFOMA端末の電話帳項目名（電話番号など）が本FOMA端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、連絡先に登録可能な文字はFOMA端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- グループ情報はインポートできません。
- 連絡先（電話帳）をmicroSDカードにエクスポートする場合は、名前が登録されていないデータはコピーできません。

- 連絡先（電話帳）をmicroSDカードからインポートする場合は、「バックアップと復元」で作成したファイルは読み込むことができません。

## 連絡先（電話帳）をバックアップする

**本FOMA端末の連絡先（電話帳）をmicroSDカードにバックアップすることができます。また、ドコモUIMカードやmicroSDカードに保存されている連絡先（電話帳）を本FOMA端末に読み込むことができます。**

### 連絡先（電話帳）をmicroSDカードにバックアップする

**1** ホーム画面で「連絡先」

- 「連絡先」タブが表示されます。

**2** ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」

- メニューが表示されます。

**3** 「SDカードにエクスポート」

**4** エクスポートしたい連絡先（電話帳）をタップ▶「完了」▶「OK」

- 連絡先（電話帳）がmicroSDカードに書き出されます。

### 連絡先（電話帳）をドコモUIMカードやmicroSDカードから読み込む

**1** ホーム画面で「連絡先」

**2** ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」

- メニューが表示されます。
ドコモUIMカードから読み込む場合は、「SIMカードからインポート」をタップしてください。

**3** 「SIMカードからインポート」または「SDカードからインポート」をタップする

**4** インポートしたい連絡先（電話帳）をタップ▶「完了」

- 連絡先（電話帳）読み込まれます。

## メッセージ（SMS）をドコモUIMカードにバックアップする

最大20件のメッセージ（SMS）をドコモUIMカードにコピー／移動することができます。

### 1 ホーム画面で「メール」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます。

### 2 いずれかの受信メッセージまたはスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

### 3 バックアップするメッセージを1秒以上タッチする

- 「メッセージオプション」メニューが表示されます。

### 4 「コピー／移動」をタップし、「SIMカードにコピー」または「SIMカードに移動」をタップする

- メッセージ（SMS）がドコモUIMカードにコピー／移動します。

### 5 「OK」

# 海外利用

## 国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用しているFOMA端末を電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。音声電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

● **対応エリアについて**
本FOMA端末は3GネットワークおよびGSM／GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。

● **海外で本FOMA端末をご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。**

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの『国際サービスホームページ』

**お知らせ**

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

## ご利用できるサービス

| 通信サービス | 3G | GSM | GPRS |
|---|---|---|---|
| 音声電話 | ○ | ○ | ○ |
| SMS※1 | ○ | ○ | ○ |
| メール | ○ | × | ○ |
| パケット通信 | ○ | × | ○ |
| GPSの現在地確認※2 | ○ | × | ○ |

（○：利用可能　×：利用不可）

※1　宛先がFOMA端末の場合は、日本国内と同様に相手の電話番号をそのまま入力します。
※2　GPS測位時や位置情報から地図を表示した場合などはパケット通信料がかかります。

**お知らせ**

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。接続可能な国・地域および海外通信事業者については、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

# 海外でご利用になる前の確認

## 出発前の確認について

**海外でFOMA端末を利用する際は、日本国内で次の確認をしてください。**

### ● ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳しくは取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

### ● 充電について

- 海外でのご利用は日本よりも電池を多く消耗する場合があります。
- ACアダプタ（別売）の取り扱い上のご注意については「アダプタについてのお願い」（P15）をご参照ください。
- ACアダプタ（別売）での充電方法については「ACアダプタで充電する」（P25）をご参照ください。

### ● 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。

### ● 遠隔操作設定について

ご契約されている留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを海外から操作するには、遠隔操作設定を開始に設定します。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

### ● SMS受信拒否について

海外でSMS（圏外時などの着信情報を含む）の受信を拒否するように設定できます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

## 滞在国でのご利用について

**海外に到着後、FOMA端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。**

### ● 接続について

利用中のネットワークのサービスエリア外に移動すると、他に利用できる通信事業者のネットワークを自動的に検索して接続し直します。
お買い上げ時の「ネットワークモード」は「GSM／WCDMA自動」（自動モード）に設定されています。
「ネットワークモード」の設定を変更するには以下の操作を行います。
ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークモード」▶「GSM／WCDMA自動」／「WCDMAのみ」／「GSMのみ」

### ● ディスプレイの表示について

利用中のネットワークの種類は、ディスプレイのステータスバーにアイコンで表示されます。

| アイコン | ネットワークの種類 |
|---|---|
| G | GPRSネットワーク |
| 3G | 3Gネットワーク |

### ● 時計設定について

「日付と時刻」の「自動」のチェックボックスにチェックマークを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することでFOMA端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 手動で設定する場合は、「自動」のチェックを外して「日付設定」「タイムゾーンの選択」「時刻設定」をそれぞれ行ってください。

### ● 国際ローミング中のネットワークサービスの利用について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外から留守番電話サービスや転送でんわサービスなどのネットワークサービスを操作できます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれま

せん。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

- 海外からネットワークサービスを操作するには、「遠隔操作設定」を開始に設定する必要があります。遠隔操作設定につきましては、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 国際ローミング中に電話が着信した場合、相手に国際ローミング中であることを通知するガイダンスを設定したり、着信を規制（ローミング時着信規制）したりすることができます。操作方法につきましては『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。
- 海外からネットワークサービスを操作した場合、ご利用の国の国際通話料がかかります。
- 接続する海外の通信事業者によっては、海外から操作可能なネットワークサービスも利用できないことがあります。

**● 着信通知について**

国際ローミング中にFOMA端末の電源が入っていないときや圏外のときに着信があったときに、着信情報（着信日時や発信者番号）をSMSでお知らせします。

**● お問い合わせについて**

- FOMA端末やドコモUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難されたあとに発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

### 帰国後の確認

**日本に帰国後は自動的にFOMAネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。**

- 「ネットワークモード」を「GSM／WCDMA自動」に設定してください。「GSM／WCDMA自動」に設定するには、ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークモード」▶「GSM／WCDMA自動」をタップしてください。

## 滞在先での電話のかけかた／受けかた

### 滞在国外（日本含む）に電話をかける

**国際ローミングサービスを利用して、滞在国から他の国へ電話をかけることができます。**

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

**2 ＋（0 ＋を1秒以上タッチする）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力する**

- イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

**3**

**4 通話が終了したら「終了」**

### 滞在国内に電話をかける

**日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。**

**1 ホーム画面で「電話」**

- 「電話」タブが表示されます。

## 2 相手の電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

## 3

## 4 通話が終了したら「終了」

## 海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

**電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。**

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「＋」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

## 滞在先で電話を受ける

**日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。**

**お知らせ**

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「着信拒否」が動作しない可能性があります。（P49）

## 相手からの電話のかけかた

**● 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**

日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。

**● 日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**

滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際電話アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。

**発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX**

# 海外のネットワーク接続に関する設定を行う

**海外で本FOMA端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。**

## 接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

### 1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークオペレーター」

### 2 「ネットワークを検索」▶接続する通信事業者名をタップする

- 「利用可能なネットワーク」画面が表示され、通信事業者名のリストが表示されます。
- 「ネットワークを検索」をタップして、再検索することもできます。

- 「ネットワークモード」（P61）の設定により、表示される通信事業者名は異なります。

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、FOMA端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後、「自動選択」に設定してください。

## 接続できる通信事業者を自動的に選択する

**1** ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークオペレーター」

**2** 「自動選択」

## パケット通信のアクセスポイントを切り替える

● spモードの場合

海外の通信事業者ネットワークに接続してパケット通信を行う際、アクセスポイントが「spモード」に設定されている場合は、アクセスポイントの変更を行わずにそのままご利用いただけます。

● mopera U（スマートフォン定額）の場合

海外でスマートフォンに接続する際、アクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に設定している場合は、アクセスポイントの切り替えが必要です。

**1** ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「無線とネットワーク」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

**2** 「新しいAPN」

**3** 「名前」に任意の名前を入力し、「APN」に「mopera.net」と入力する

**4** 「保存」

**5** 「アクセスポイント名」

**6** 作成したアクセスポイントのラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- mopera.netを利用した場合は、日本に帰国する際にアクセスポイントを「mopera U（スマートフォン定額）」に切り替えてください。切り替えずに使用した場合、料金が高額になる恐れがあります。

# 付録／索引

## オプション・関連機器のご紹介

**FOMA端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。**
**詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。**

- 電池パック L10
- リアカバー L21
- キャリングケース L01
- FOMA ACアダプタ 01※／02※
- FOMA海外兼用ACアダプタ 01※
- FOMA DCアダプタ 01／02
- FOMA乾電池アダプタ 01

※ ACアダプタの充電方法について→P25

## トラブルシューティング（FAQ）

### 故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新→P128）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

| | |
|---|---|
| FOMA端末の電源が入らない | • 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P23<br>• 電池切れになっていませんか。→P24 |

■ 充電

| | |
|---|---|
| 充電ができない | • 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P23<br>• アダプタの電源プラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。<br>• FOMA充電microUSB変換アダプタ L01とACアダプタ（別売）をご使用の場合、FOMA充電microUSB変換アダプタ L01とACアダプタ（別売）、およびFOMA充電microUSB変換アダプタ L01とFOMA端末が正しく接続されていますか。<br>• PC接続用USBケーブル（試供品）をご使用の場合、パソコンの電源が入っていますか。<br>• 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、FOMA端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。 |
| 画面に「充電してください」と表示される | 電池残量が少ない場合は電池パックを充電してください。→P24 |

■ 端末操作

| | |
|---|---|
| 操作中・充電中に熱くなる | 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影などを長時間行った場合などには、FOMA端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。 |
| 電池の使用時間が短い | • 圏外の状態で長い時間放置されるようなことはありませんか。<br>圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。<br>• 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。<br>• 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。<br>十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。 |
| 電源断・再起動が起きる | 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。 |
| キーを押しても動作しない | 画面ロックを設定していませんか。→P63 |
| キーを押したときの画面の反応が遅い | FOMA端末に大量のデータが保存されているときや、FOMA端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。 |
| ドコモUIMカードが認識しない | ドコモUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P22 |
| 時計がずれる | • 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「本体設定」の「日付と時刻」で「自動」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。 |
| 端末動作が不安定 | • ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。<br>※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。<br>• セーフモードの起動方法<br>電源がOFFの状態から電源キーを押し、docomoロゴが表示されたあと、ホーム画面が表示されるまで[メニュー]をタッチし続けます。<br>※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。<br>※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。<br>• 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。<br>• お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。<br>• セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。 |

■ 通話

| | |
|---|---|
| を押しても をタップしても発信できない | • 「SIMカードロック」を設定していませんか。→P65<br>• 機内モードを設定していませんか。→P60 |
| 着信音が鳴らない | • 音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。→P63<br>• マナーモードに設定していませんか。→P62<br>• 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→P55、P58 |
| 通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない） | • 電源を入れ直すか、電池またはドコモUIMカードを入れ直してください。<br>• 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが4本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。<br>• 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「しばらくお待ちください」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。 |

■ 画面

| | |
|---|---|
| ディスプレイが暗い | • 画面バックライト消灯時間を設定していませんか。→P63<br>• 画面の明るさ調整を変更していませんか。→P63<br>• 電池残量が少なくなっていませんか。→P32、P68 |

■ 音声

| | |
|---|---|
| 通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる | 音量キーで通話音量を調節してください。→P50 |

■ カメラ

| | |
|---|---|
| カメラで撮影した静止画や動画がぼやける | • 近くの被写体を撮影するときは、接写撮影に切り替えてください。→P88<br>• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。<br>• 人物を撮影するときは、顔追跡機能を設定してください。→P88 |

■ 海外利用

| | |
|---|---|
| 圏外が表示され、国際ローミングサービスが利用できない | • 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。<br>• 利用可能なサービスエリアまたは通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』などの国際サービスガイドでご確認ください。<br>• モバイルネットワーク設定でサービスに対応している通信事業者を検索してください。→P121<br>• 日本国内から海外へ移動した後に接続先を「自動選択」または対応しているネットワークに切り替えてください（P121）。日本国内で「自動選択」にしていた場合は、FOMA端末の電源を入れ直してください。 |
| 海外で利用中に突然、発信や着信ができない | • ドコモ インフォメーションセンターで、ご利用累積額をご確認ください。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめご利用停止目安額が設定されています。超過するとサービスがすべて停止します。ご利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算していただくことで、サービスを再開します。<br>• ネットワークの設定を確認してください。「自動」に設定されていると、特定のネットワークを受信し、利用できなくなる場合があります。設定を切り替え、滞在中の国や地域に対応するネットワーク（3GまたはGSM）に変更してください。→P121 |

| | |
|---|---|
| 相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／連絡先の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない | 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、FOMA端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。 |

■ データ管理

| | |
|---|---|
| データ転送が行われない | USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。 |
| microSDカードに保存したデータが表示されない | microSDカードを差し直してください。→P23 |
| 画像表示しようとすると「×」が表示される<br>またはプレビューで「×」が表示される | 画像データが壊れている場合は「×」が表示される場合があります。 |

■ Bluetooth機能

| | |
|---|---|
| Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない | Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、FOMA端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、FOMA端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。<br>→P60 |
| カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態でFOMA端末から発信できない | 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、FOMA端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。 |

## エラーメッセージ

| エラーメッセージ | 説　明 |
|---|---|
| 通信サービスなし | • サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。<br>• ドコモUIMカードが正しく機能していません。ドコモUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。 |
| SIMカードがロックされています | PINコード（P64）を正しく入力してください。 |
| SIMカードはPUKでロックされています | PUK（PINロック解除コード）（P65）を正しく入力してください。 |
| メモリ不足です | 空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P66）して容量を確保してください。 |

# 保証とアフターサービス

## 保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳（連絡先）などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳（連絡先）などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

  ※ 本FOMA端末は、電話帳（連絡先）のデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

## アフターサービスについて

### 調子が悪い場合は

**修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。**

### お問い合わせの結果、修理が必要な場合

**ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。**

**■ 保証期間内は**

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

**■ 以下の場合は、修理できないことがあります**

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（外部接続端子（イヤホンマイク端子）・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

**■ 保証期間が過ぎたときは**

- ご要望により有料修理いたします。

**■ 部品の保有期間は**

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

### お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容に

よっては故障修理をお断りする場合があります。
以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
・液晶部やキー部にシールなどを貼る
・接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
・外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。
キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
使用箇所：スピーカー、受話口部
- FOMA端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

### メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

# ソフトウェア更新

## ソフトウェア更新について

**FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。**
**ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページにてご案内させていただきます。**
**ソフトウェアを更新するには、「自動更新」、「即時更新」、「予約更新」の3つの方法があります。**

**自動更新：** 新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。
**即時更新：** 更新したいときにすぐ更新を行います。
**予約更新：** アップデートパッケージをインストールする時刻を予約すると、予約した時刻に自動的にソフトウェアが更新されます。

**お知らせ**

- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様のFOMA端末の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がございますので、あらかじめご了承ください。万が一のトラブルに備え、必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

## ご利用にあたって

●ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
●ソフトウェア更新を行う際は、電池を満充電にしておいてください。

●次の場合はソフトウェアを更新できません。
■通話中・圏外にいるとき　■国際ローミング中
■機内モード中　■Wi-Fiネットワークとの接続中
■日付・時刻を正しく設定していないとき
■ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
■ソフトウェア更新に必要な空き容量が十分でないとき

●ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。

●ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能および、その他の機能を利用することはできません（ダウンロード中は音声着信が可能です）。

●ソフトウェアの更新の際には、サーバー（当社のサイト）へSSL／TLS通信を行います。

●ソフトウェア更新は、電波が強く、電波レベルが4本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
※ ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなり、ダウンロードが中止された場合は、再度電波状態のよい場所でソフトウェア更新を行ってください。

●すでにソフトウェア更新済みの場合は、ソフトウェア更新のチェックを行った際に［更新の必要はありません。このままお使いください］と表示されます。

●ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。

●ソフトウェア更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するソフトウェア更新用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。

●ソフトウェア更新に失敗した場合、［書換え失敗しました］と表示され、一切の操作ができなくなる可能性があります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。

●PINコードが設定されているときは、書換え処理後の再起動の途中にて、PINコードを入力する画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。

●ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

## ソフトウェア更新を自動で行う<自動更新>

**新しいソフトウェアを自動でダウンロードし、あらかじめ設定した時間に書換えを行います。**
**お買い上げ時は、自動更新設定が「自動で更新を行う」に設定されています。**
**書換え可能な状態になると通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示され、書換え時刻の確認を行い、書換え時刻の変更や今すぐ書換えするかを選択できます。**
**通知アイコン（ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書換えが行われ、通知アイコン（ソフトウェア更新有）は消去されます。**
**書換え時刻になったとき、電池残量が不足していた場合や、音声通話中の場合はソフトウェア更新を開始せず、翌日の同時刻に再度ソフトウェア更新を行います。**
**自動更新設定が「自動で更新を行わない」になっている場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。**

### 自動更新の設定

**1** ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」

**2** ソフトウェア更新通知があったときの動作を選ぶ

- 自動でソフトウェア更新をするとき：「自動で更新を行う。」
- 自動でソフトウェア更新をしないとき：「自動で更新を行わない。」

### 更新が必要な場合の動作

ソフトウェアが自動でダウンロードされると、通知アイコン(ソフトウェア更新有)が表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。

2「ソフトウェア更新有」をタップする

3 書換え方法を選ぶ

- ソフトウェア更新が必要なときは、書換え時刻が表示されます。

■「OK」

- ホーム画面に戻ります。設定時刻になると書換えを開始します。

**■「開始時刻変更」⇒「時刻を予約してソフトウェアを更新する」（P132）の操作1へ**

- アップデートパッケージのインストールを実行する時刻を設定します。

**■「今すぐ開始」⇒「すぐにソフトウェアを更新する」（P131）の操作1へ**

- 書換えを開始します。
- 書換えが完了すると通知アイコン(ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

**お知らせ**

- 自動更新時刻にソフトウェア更新が起動できなかったときは、通知アイコン(ソフトウェア更新有）が表示されます。

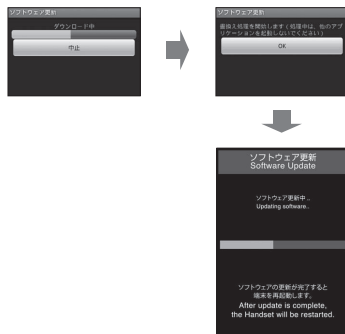
## ソフトウェア更新を起動する<即時更新>

1 ホーム画面で「メニュー」▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

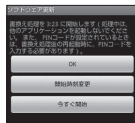
- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください。」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは圏外にいるときには、「ローミング中もしくは圏外時は更新ができません。」と表示されます。
- ソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、「充電不足のため更新ができません。フル充電してから再度更新を実行してください。」と表示されます。

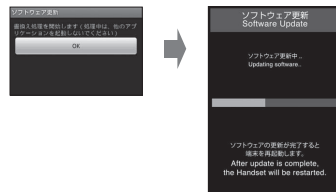
2 表示される画面の指示に従って操作を進める

- 再起動後更新を開始します。
- 更新中は、すべてのボタン操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 更新中に2回自動的に再起動します。

## 3 ホーム画面が表示される

- 通知アイコン☑（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

## すぐにソフトウェアを更新する

## 1 「今すぐ開始」

## 2 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示が約３秒経過すると、自動的に書換えを開始します。
- 書換え中は、すべてのボタン操作が無効となります。書換えを中止することもできません。
- 書換えが終了すると、自動的に再起動します。

## 3 再起動後、自動的にソフトウェア更新が開始される

- 更新中は、すべてのボタン操作が無効になります。更新を中止することもできません。
- 更新を終了すると、約5秒後に自動的に再起動します。

## 4 ホーム画面が表示される

- ソフトウェア更新を終了すると、ホーム画面が表示されます。
- 通知アイコン☑（ソフトウェア更新が完了しました。）が表示されます。通知アイコンは、一度確認すると消去されます。

### ソフトウェア更新終了後の表示について

**ステータスバーに☑が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプすると、通知パネルが表示されます。「ソフトウェア更新が完了しました。」をタップすると、ソフトウェア更新が完了したことを示すメッセージが表示されます。**

## 時刻を予約してソフトウェアを更新する

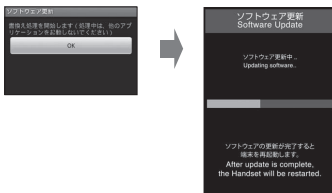
**アップデートパッケージのインストールを別の時間に予約をしたい場合は、ソフトウェア更新を行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。**

### 1 「開始時刻変更」

- 書換え開始時刻設定画面が表示されます。
- 時刻は、端末の時刻に合わせて表示されます。

### 2 希望の時刻を入力 ▶「OK」

- 「＋」／「－」をタップして更新時刻を変更します。

### 予約した時刻になると

### 1 「書換え処理を開始します」と表示される ▶「OK」

- 「書換え処理を開始します」の表示後約３秒経過すると、自動的にソフトウェア更新を開始します。

- ソフトウェア更新の予約した時刻には、電波の十分届くところで待受画面を表示させてください。
- 予約した時刻にソフトウェア更新に必要な電池残量がないときには、翌日の同時刻にソフトウェア更新を行います。
- 予約した時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は、ソフトウェア更新が優先されます。
- ソフトウェア更新の予約時刻になったときにFOMA端末の電源を切った状態の場合は、電源を入れたあと、予約時刻と同時刻になったらソフトウェア更新を行います。

# 主な仕様

■ 本体

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| 品　名 | | L-04C |
| サイズ（H×W×D） | | 約116mm×約58mm×約15.3mm |
| 質　量 | | 約149g（電池パック装着時） |
| メモリ | | ROM　1,024MB<br>RAM　512MB |
| 外部メモリ | | microSD 2GBまで、microSDHC 32GBまでに対応（2011年1月現在） |
| 連続待受時間 | FOMA／3G | 移動時（3G固定）：約300時間 |
| | | 静止時（自動）：約340時間<br>移動時（自動）：約250時間 |
| | GSM | 静止時（自動）：約300時間 |
| 連続通話時間 | FOMA／3G | 約330分 |
| | GSM | 約330分 |
| 充電時間 | | ACアダプタ：約240分<br>DCアダプタ：約240分 |
| 液晶部 | 方式 | TFT 65,536色 |
| | サイズ | 約3.2inch |
| | 画素数 | 153,600画素<br>（320ドット×480ドット） |
| 撮像素子 | 種類 | CMOS |
| | サイズ | 1／5.0inch |
| | 有効画素数 | 約320万画素 |

| 項目 | | 仕様 |
|---|---|---|
| カメラ部 | 記録画素数（最大時） | 約310万画素 |
| | ズーム（デジタル） | 最大約4.0倍（静止画撮影時）<br>最大約4.0倍（動画撮影時） |
| 静止画撮影サイズ | | 2,048×1,536（3M）<br>1,600×1,200（2M）<br>1,280×960（1M）<br>640×480（VGA）<br>320×240（QVGA） |
| 動画記録サイズ | | 640×480（VGA）<br>320×240（QVGA）<br>176×144（QCIF） |
| フレームレート | | 最大24fps |
| 音楽再生 | Windows Media Audio (WMA)ファイル | 連続再生時間<br>約720分（バックグランド再生対応） |
| | MP3ファイル | 連続再生時間<br>約900分（バックグランド再生対応） |
| 動画再生 | WMVファイル | 連続再生時間<br>約180分（ダウンロードタイプ）<br>約180分（ストリーミングタイプ） |
| 無線LAN | | IEEE802.11b／g準拠 |
| Bluetooth | 対応Bluetoothバージョン | Bluetooth標準規格Ver.2.1＋EDRに準拠※1 |
| | 出力 | 出力Bluetooth標準規格Power Class 2 |
| | 見通し通信距離※2 | 約10m以内 |
| | 対応Bluetoothプロファイル※3 | HFP、HSP、OPP※4、SPP、A2DP、AVRCP、PBAP、FTP（Serverのみ） |

※1　本FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。
※2　通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。
※3　Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。
※4　電話帳の転送機能には対応しておりません。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

| 品　名 | 電池パック L10 |
|---|---|
| **使用電池** | リチウムイオン電池 |
| **公称電圧** | 3.7V |
| **公称容量** | 1,350mAh |

## ファイル形式

**本FOMA端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。**

| 種　類 | ファイル形式 |
|---|---|
| **音楽再生** | MP3、AAC、AAC+、eAAC+、WMA、WAV、OGG、AMR、XMF、MIDI |
| **静止画** | JPEG、GIF、PNG、BMP |
| **動画** | MPEG4、H.263、H.264、WMV、AVI、DivX、Xvid |

**静止画は次に示すファイル形式で保存されます。**

| 種　類 | ファイル形式 |
|---|---|
| **静止画** | JPEG |

**■ 静止画の撮影枚数（目安）**

| 解像度 | microSDカード（2GB）に保存できる撮影枚数 |
|---|---|
| **320×240（QVGA）** | 約49,365枚 |

**■ 動画の録画時間（目安）**

| 解像度 | microSDカード（2GB）に保存できる撮影時間 |
|---|---|
| **176×144（QCIF）** | 最大約120分（1件あたり）<br>最大約7,080分（合計） |

# 携帯電話機の比吸収率など

## 携帯電話機の比吸収率（SAR）について

**この機種L-04Cの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。**

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W／kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.667W／kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することが出来るハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本FOMA端末の「仕様」のページをご確認ください）
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2　携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年1月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された局所吸収指針委員会にて審議している段階です。（平成23年1月現在）

## Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver. Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR

are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.71W/kg, and when worn on the body, is 0.35W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements). While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID BEJL04C.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines when used with an accessory designated for this product or when used with an accessory that contains no metal and that positions the handset a minimum of 2.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

## Declaration of Conformity

The product "L-04C" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.839W/kg at the ear, and 1.450W/kg when worn on the body. While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

## Important Safety Information

**AIRCRAFT**
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

**DRIVING**
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

**HOSPITALS**
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

**PETROL STATIONS**
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

**INTERFERENCE**
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

**Pacemakers**
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

**Hearing Aids**
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

**For other Medical Devices:**
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

# 輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

# 知的財産権

## 著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

## 商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「spモード」「spモードメール」「エリアメール」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モー

ド」「mopera」「mopera U」「トルカ」はNTTドコモの商標または登録商標です。

- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Google、モバイルGoogle マップ、Android、Android マーケット、Gmail、Google Calendar、Google Maps、Google Talk、Google Latitude、YouTubeはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- LG On-Screen PhoneはLG Electronics Inc.の日本における登録商標です。
- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。
- Wi-Fi®は、Wi-Fi Alliance®の登録商標です。
- TwitterはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- MySpace、および関連ロゴはMySpace, Inc.の登録商標です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

## その他

- DIVXビデオについて: DivX®は、DivX, Inc.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®（DivX認証）デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
DIVXビデオオンデマンドについて: DivXビデオオンデマンド（VOD）コンテンツを再生するには、このDivX Certified®（DivX認証）デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VOD登録セクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
- 最高320×240のDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®（DivX認証）取得済み。
- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、DivX, Inc.の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合
  - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合

- MPEG-LAよりライセンスをうけた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

| | | | |
|---|---|---|---|
| 4,901,307 | 5,504,773 | 5,109,390 | 5,535,239 |
| 5,267,262 | 5,600,754 | 5,416,797 | 5,490,165 |
| 5,101,501 | 5,511,073 | 5,267,261 | 5,568,483 |
| 5,414,796 | 5,659,569 | 5,056,109 | 5,506,865 |
| 5,228,054 | 5,544,196 | 5,337,338 | 5,657,420 |
| 5,710,784 | 5,778,338 | | |

- 日本語変換は、オムロンソフトウェア（株）のiWnnを使用しています。

# 索引

## ア



## カ



## サ



## タ

## ナ



## ハ



## マ

## ヤ



## ラ



## 英数字

**ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。**

**My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き**

※ ご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※ 「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

# マナーもいっしょに携帯しましょう

**FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。**

## こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を及ぼす恐れがあります。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

## 使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

## プライバシーに配慮しましょう

**カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。**

## こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

● **マナーモード→P62**
ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P55）、転送でんわサービス（P57）などのオプションサービスが利用できます。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収、リサイクルに出しましょう。

## 総合お問い合わせ先
**〈ドコモ インフォメーションセンター〉**

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**151**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

**受付時間　午前9：00～午後8：00（年中無休）**

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

## 海外での紛失、盗難、精算などについて
**〈ドコモ インフォメーションセンター〉（24時間受付）**

**ドコモの携帯電話からの場合**

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6832-6600***（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-04Cからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります（「+」は「0／+」を1秒以上タッチします）。

**一般電話などからの場合**

**〈ユニバーサルナンバー〉**

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8000120-0151***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

**●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
**●お客様が購入されたFOMA端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

## 故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）**113**（無料）

※一般電話などからはご利用いただけません。

■一般電話などからの場合

**0120-800-000**

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

**受付時間　24時間（年中無休）**

## 海外での故障について
**〈ネットワークオペレーションセンター〉（24時間受付）**

**ドコモの携帯電話からの場合**

滞在国の国際電話アクセス番号 **-81-3-6718-1414***（無料）

*一般電話などからかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-04Cからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります（「+」は「0／+」を1秒以上タッチします）。

**一般電話などからの場合**

**〈ユニバーサルナンバー〉**

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 **-8005931-8600***

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

**マナーもいっしょに携帯しましょう。**

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

環境保全のため、不要になった電池はNTT ドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。
Li-ion00

大豆油インキを使用しています。

再生紙を使用しています　**Printed in Korea**

'11.2 (2.1版)
MFL66994401[1.3]